放送を視聴する

ページ

番組を選ぶ

番組の選択手順と操作のしかた

1. 放送の種類(ネットワーク)を選ぶ

放送切換ボタンで、放送の種類(ネットワーク)を選びます。

ボタン	放送の種類
地上A	地上アナログ放送
地上D	地上デジタル放送
BS	BSデジタル放送
CS	110度CSデジタル放送

2. 「テレビ」「ラジオ」「データ」を選ぶ
(デジタル放送の場合)

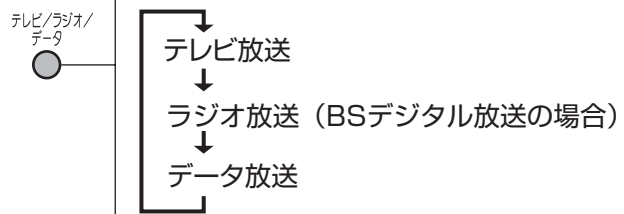
テレビ／ラジオ／データボタンで、メディアを選びます。

・メディアとは、テレビ、ラジオなどの放送媒体を意味します。

※ボタンを押すたびに切り換わります。

デジタル放送の場合は、電子番組表(EPG)を使って番組を選ぶこともできます

- 右記手順 1 ~ 2 の後に電子番組表を表示して、放送中の番組を選びます。

電子番組表(EPG)の表示のしかた、機能、操作方法については、**82**~**86**ページをご覧ください。

3. 視聴したいチャンネルを選ぶ

次のいずれかの方法でチャンネルを選びます。

■チャンネルボタン(数字ボタン)で選ぶ

- チャンネルボタンを押してください。
- チャンネルボタンには、各放送局のチャンネルが登録(設定)されており、ワンタッチ選局できます。
- 登録されているチャンネルは画面で確認できます。デジタル登録ボタンを押すと、チャンネルボタンに登録されている放送局の一覧が画面に表示されます。(**76**ページ参照)

■選局(∧順／∨逆)ボタンで選ぶ

- 視聴したい番組が表示されるまで選局(∧順／∨逆)ボタンを押してください。
- 選局(∧順／∨逆)ボタンを押すたびに、視聴中のネットワーク・メディアのチャンネルが、順方向・逆方向に選局できます。

- デジタル放送はB-CASカード(**54**･**55**ページ)を挿入してご覧ください。挿入しないと視聴できません。
  地上デジタル放送は、地域設定とチャンネル設定(**56**~**61**ページ)を行うとご覧になれます。なお、お住まいの地域で地上デジタル放送開始前は設定しても受信できません。
- データ放送の使いかたは、各放送局の番組の作りかたによって異なります。基本的にはカーソルボタン、決定ボタン、カラーボタンなどで操作します。
- 地上デジタル放送と110度CSデジタル放送には、ラジオ放送がありません。

選局したチャンネルの画面表示例

- BSデジタル放送のテレビ放送「NHK BS1」を選んだとき

- BSデジタル放送のラジオ放送「WINJ」を選んだとき

- BSデジタル放送のデータ放送「ウェザーニュース」を選んだとき

その他の選局方法

3桁入力で選ぶ（デジタル放送の場合）

・視聴したい番組の3桁チャンネル番号を入力して選局できます。
　チャンネル番号表（**77**ページ）を参照してください。

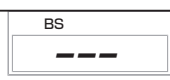
1 **地上D BS CSのいずれかを押し、放送の種類（ネットワーク）を選ぶ**

2 [例] BSデジタル放送の161チャンネル(BS-i)を選ぶとき

① **3桁入力を押す**
・画面右上に3桁入力欄が表示されます。

BS
---

② **数字ボタン 1 6 1 を押す**

BS
16–

・間違った番号を入力した場合は、再度3桁入力ボタンを押すと、初めに入力した番号がクリアされます。

CATVチャンネルを選ぶ

・CATVチェンネルは工場出荷時、スキップ「する」に設定されています。(解除のしかたは**53**ページ)
・本機のCATVチャンネルは、C13～C63チャンネルの範囲で選局できます。
[例] C23を選ぶとき

1 **CATVを押す**

2 **数字ボタン 2 3 を押す**

お好み選局／登録画面を表示して選ぶ

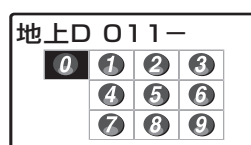
・お好み選局／登録ボタンを押して、登録されているチャンネルを選局します。（**156**ページ「お好みのチャンネルを登録する」を参照してください。）

1 **お好み選局/登録 を押して、お好み選局／登録画面を表示する**

2 **視聴したいチャンネルが登録されているチャンネルボタン（1～12）を押す**
・視聴したいチャンネルが直接、選局できます。

地上デジタルチャンネルの枝番を選んで選局する

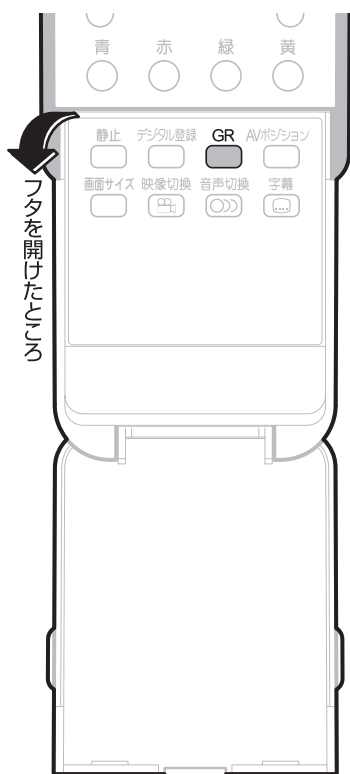
・地上デジタル放送を3桁入力で選局したとき、チャンネル番号の重複する放送局がある場合は、4桁め（枝番）を選んで番組を選局します。

・3桁チャンネル番号が重複している場合は、4桁め（枝番）の選択画面が表示されます。

数字ボタン（1～10/0）で4桁めの数字（枝番）を入力し、選局する

はじめてCSチャンネルを選局するときは

・CSネットワーク情報を取得するため、次の手順で操作してください。
① 放送切換ボタンのCSを押します。そのままで5秒程お待ちください。
② リモコンのチャンネルボタン1を押します。そのままで5秒程お待ちください。
③ 番組表を押して、選局したい放送局のチャンネル番号が表示されることを確認します。
④ 選局したい放送局のチャンネル番号が表示されない場合は、チャンネルボタン1または2を押し、目的のチャンネル番号が表示されるまで、再度5秒程度お待ちください。

ゴーストを軽減する(GR機能)

- ゴースト(電波障害)の発生によって見にくくなった地上アナログ放送チャンネルのゴーストを軽減することができます。(GR機能)
  ※GRはゴーストリダクションの略称です。
- GR機能は、地上アナログ放送の入力信号に対してのみ動作し、チャンネルごとに設定できます。
- GR設定は工場出荷時、地上アナログ放送のすべてのチャンネルが「入」に設定されています。

- つぎのような場合は、ゴースト軽減効果が得られません。
  - 放送局からゴースト除去基準信号が送られていないとき
  - 飛行機などの反射によりゴーストが変動するとき
  - ゴーストの電波が強いとき
  - ビデオデッキなどからの再生映像を見るとき
- GR設定を「入」にしておくと映像が見づらい場合は、「切」にしてください。
- チャンネルを切り換えた直後は、一時的にゴーストが増えることがあります。
- 電波が弱いときにGR機能を働かせた場合は、新たにゴーストがつく場合があります。
- アンテナを正しい向きに設置しないと、ゴーストが軽減できない場合があります。(アンテナは、最も強い電波が来る方向に向けてください。)

1 リモコンフタ内の(GR)を押す

- 画面左下に現在のGR設定が表示されます。

2 GR設定表示が出ている間に再び(GR)を押す

- ボタンを押すたびに「GR:入」⇄「GR:切」と切り換わります。
- 「GR:入」にしても、ゴーストの内容によっては動作に少し時間がかかったり、軽減効果が得られない場合があります。

- GR機能を「入」にすると、チャンネル表示の中に「**GR**」が表示されます。

「ゴースト」について

- ゴーストとは、放送局とテレビアンテナの間に高層ビル等の障害物がある場合など、電波が乱反射することによって発生する現象で、映像がダブって見えたり、ぼやけて見えたりするためにゴースト(幽霊)と呼ばれます。また、工事用のクレーンや天候等が原因で発生したゴーストは、時間の経過とともに大きく変化したり揺れたりします。
- ゴーストは、場所・天候等により発生原因が千差万別であるため、発生原因に対応して完全にゴーストを消すことはできません。

メニュー画面でGR設定をする

［例］ チャンネルボタン⑥に登録されている地上アナログ放送のチャンネルをGR設定する

1
① 地上A を押し、地上アナログ放送を選ぶ

② チャンネルボタン⑥を押し、6チャンネルを選局する

2
メニュー画面から「本体設定」－「チャンネル設定」を選び、決定 を押す

3
「地上アナログ」で 決定 を押す

地上アナログ　　地上アナログ放送の受信チャンネルの設定です。
地上デジタル
BSデジタル

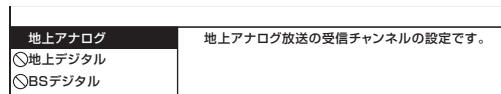
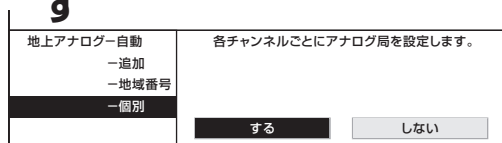
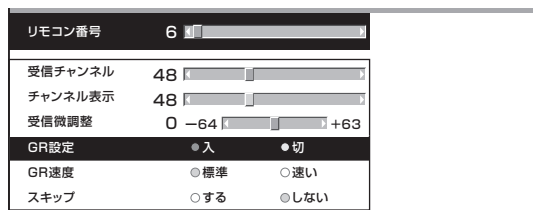
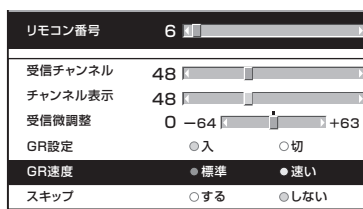
4
① ▲▼で「地上アナログー個別」を選び、決定 を押す

② ◀▶で「する」を選び、決定 を押す

5
① ▲▼で「GR設定」を選ぶ

② ◀▶で「入」を選ぶ

リモコン番号	6	
受信チャンネル	48	
チャンネル表示	48	
受信微調整	0 −64	+63
GR設定	入	切
GR速度	標準	速い
スキップ	する	しない

6
① ▲▼で「GR速度」を選ぶ

② ◀▶で「標準」または「速い」を選ぶ

「標準」……GR効果はゆっくり現れますが、より確実な効果が得られます。

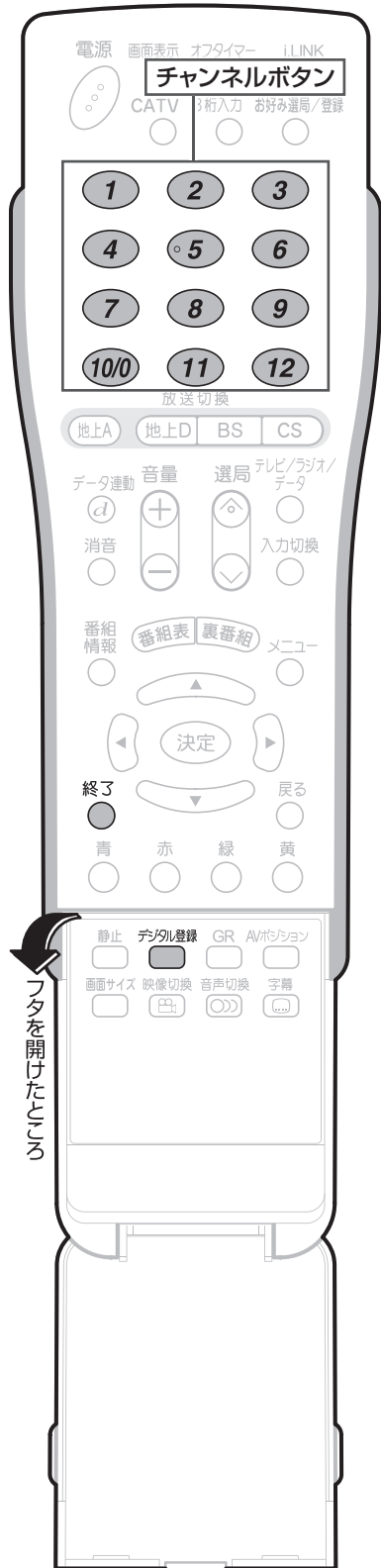
「速い」……GR効果は早く現れますが、確実な効果が得られない場合があります。

操作終了する場合は

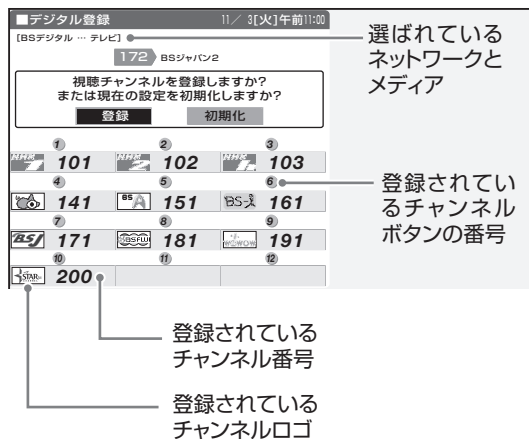
メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

デジタル放送の登録チャンネルを確認する

■ ワンタッチ選局に使うチャンネルボタンに現在登録されているデジタル放送のチャンネルを確認することができます。

デジタル放送を視聴中にリモコンフタ内の デジタル登録 を押す

- 登録されているチャンネル内容の一覧が表示されます。

〈例〉BSデジタル放送の、テレビ放送の一覧

- 確認後、画面表示を消すには、デジタル登録 または 終了 を押します。

- 各デジタル放送のデジタル登録画面は、それぞれ放送を視聴しているときにデジタル登録ボタンを押すと表示されます。
- デジタル登録画面を表示中に、各放送切換ボタンまたはテレビ／ラジオ／データボタンを押すと、ネットワーク·メディアが切り換わり、そのデジタル登録画面が表示されます。

工場出荷時に設定されているデジタルチャンネル一覧

BS（BSデジタル放送）チャンネル

チャンネルボタン	テレビ		ラジオ		データ	
	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号
1	NHK BS1	101	—	—	—	—
2	NHK BS2	102	—	—	ウェザーニュース	910
3	NHK ハイビジョン	103	—	—	—	—
4	BS 日テレ	141	WINJ	333	—	—
5	BS 朝日	151	—	—	—	—
6	BS-i	161	—	—	—	—
7	BS ジャパン	171	—	—	知求チャンネル	999
8	BS フジ	181	—	—	—	—
9	WOWOW	191	—	—	—	—
10/0	スター･チャンネル	200	—	—	—	—
11	—	—	—	—	—	—
12	—	—	—	—	—	—

CS（110度CSデジタル放送）チャンネル

チャンネルボタン	テレビ	ラジオ	データ
	チャンネル番号	チャンネル番号	チャンネル番号
1	100	–	–
2	001	–	–
3	–	–	–
4	–	–	–
5	–	–	–
6	–	–	–
7	–	–	–
8	–	–	–
9	–	–	–
10/0	–	–	–
11	–	–	–
12	–	–	–

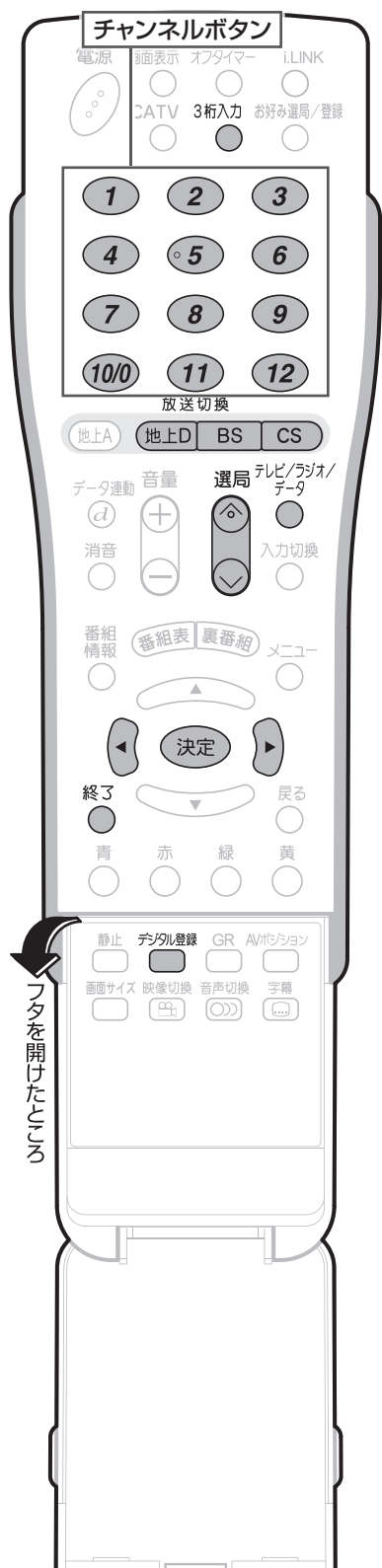
地上デジタルチャンネル

チャンネルボタン	チャンネル名	チャンネル番号
1	NHK総合･東京	011
2	NHK教育･東京	021
3	—	—
4	日本テレビ	041
5	テレビ朝日	051
6	TBS	061
7	テレビ東京	071
8	フジテレビジョン	081
9	東京MXテレビ	091
10/0	—	—
11	—	—
12	放送大学	121

関東の東京で受信できるチャンネルです。

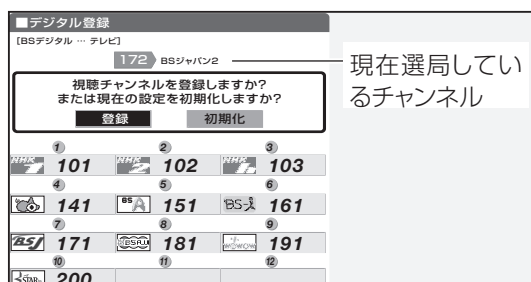
- 上記チャンネルプランは2006年7月現在のもので、変更されることもあります。
- 地上デジタル放送と110度CSデジタル放送には、ラジオ放送がありません。

デジタル放送のお好みのチャンネルを登録する

■ 各デジタル放送ネットワーク（地上D、BS、CS）の各メディア（テレビ／ラジオ／データ）につき、登録したいチャンネルを12局まで、チャンネルボタン（1～12）に登録することができます。

1

① **登録したいチャンネルを選局する**

② **リモコンフタ内の デジタル登録 を押す**

③ **◀▶で「登録」を選び、決定を押す**

・設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「初期化」を選んで決定ボタンを押します。

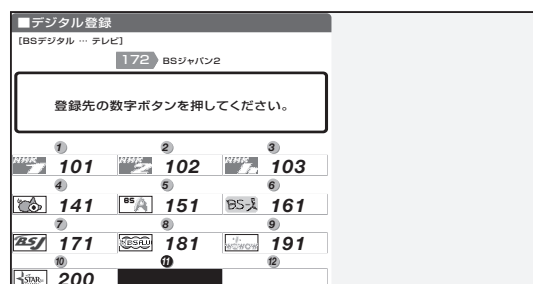
2

登録したいチャンネルボタン（1～12）を押す

[例]「BSジャパン2」（172チャンネル）を11に登録する場合は、チャンネルボタン11を押します。

・登録確認画面が表示されます。

3

デジタル登録 または 終了 を押し、画面表示を消す

・デジタル登録 または 終了 を押さなくても、しばらくすると画面表示は消えます。

複数の映像や音声を切り換える

■ 複数の映像（最大4つ）または音声（最大8つ）がある番組をご覧のとき、映像および音声を切り換えて楽しむことができます。

複数の映像を楽しむ

■ 複数の映像のある番組をご覧のとき、映像切換ボタンを押すと、映像を切り換えることができます。

映像切換 を押し、映像を切り換える

・ボタンを押すたびに映像が切り換わり、チャンネルサインの下に映像表示が出ます。

（画面例）

※番組によって映像の数は異なります。

複数の音声を楽しむ

■ 複数の音声のある番組をご覧のとき、音声切換ボタンを押すと、音声を切り換えることができます。

音声切換 を押し、音声を切り換える

・ボタンを押すたびに音声が切り換わり、チャンネルサインの下に音声表示が出ます。

（画面例）

音声表示

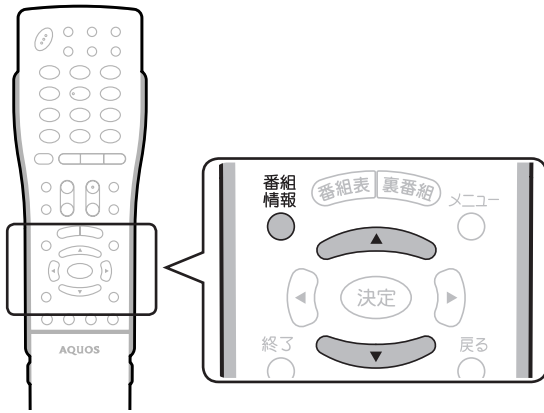
マルチ音声番組のとき　→音声1 → 音声2～8※ →

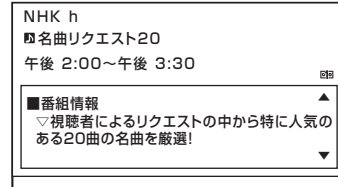
※番組によって音声の数は異なります。

二重音声番組のとき　→主 → 副 → 主/副 →

- マルチ音声番組を受信したときは、前回の選択にかかわらず、「音声1」が選択されます。
- 二重音声番組を受信したときは、前回選択されていた音声が選択されます。
- 録画予約時に「詳細を設定する」を選択していない場合、二重音声の場合は、直前に視聴した音声で録画します。その他の場合は、「映像1」「音声1」で録画します。

視聴中の番組の情報を見る

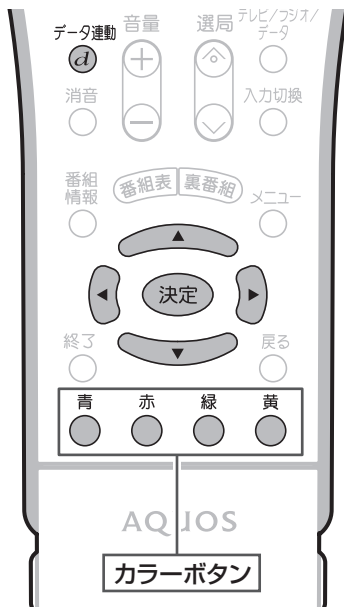
■ 番組視聴中に番組情報ボタンを押すと、画面に番組情報が表示されます。

番組情報 ○を押し、番組情報を表示する

（番組情報の画面例）

- 表示内右側に▲▼マークがある場合は、上下カーソルボタンで情報内容の送り・戻しができます。
- 番組情報表示を消すときは、もう一度番組情報ボタンを押します。

テレビ放送に連動したデータ放送を視聴する

■ テレビ放送に連動したデータ放送がある場合は、データ連動ボタンを押すと、連動データ放送を見ることができます。

おしらせ

- 電源を入れた直後やチャンネル切換えをした直後は、データ連動（*d*）ボタンを押しても連動データ放送画面が表示されないことがあります。この場合は、テレビ放送受信後しばらく（約20秒）待ってから操作してください。（表示されるまでの時間は、放送内容によって異なります。）

データ連動 *d* を押す

- 連動データ放送の画面になります。

（連動データ放送の画面例）

- テレビ放送に戻すときは、もう一度データ連動（*d*）ボタンを押します。

データ放送の基本操作

1 **で項目を選び、決定を押す**

2 **カラーボタンに対応した項目のボタンを押す**

※データ放送は放送局側で制作したメニュー画面により操作が異なりますので、画面の表示に従って操作してください。

電子番組表(EPG)の使いかた

ページ

電子番組表（EPG）について

■ デジタル放送では、電子番組表（EPG）の情報が送信されており、見たい番組を探したり、番組情報を見たり、番組を予約したりするのに、この電子番組表を使います。

視聴中の番組のチャンネル番号を知りたいとき

画面表示 を押します。（番組表を表示していないときに表示できます。）

リモコンのチャンネルボタンの番号

視聴中の番組のチャンネル番号

電子番組表（EPG）を表示する

デジタル放送を視聴中に 番組表 を押します。

以下の操作は、番組表が表示されているときに行います。

デジタル放送の番組を探して 決定 を押す

 で番組表から番組を選べます。

他の放送の種類（ネットワーク）やメディア（「テレビ」「ラジオ」「データ」）の番組を探す

地上D BS CS で放送の種類（ネットワーク）を選びます。

テレビ/ラジオ/データ でメディア（「テレビ」「ラジオ」「データ」）を選びます。

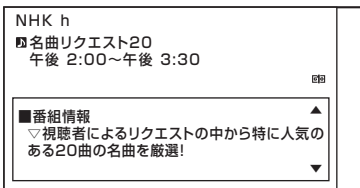
赤 を押して「映画」「音楽」「ドラマ」などのジャンル別に探す

緑 を押して日時を指定して探す

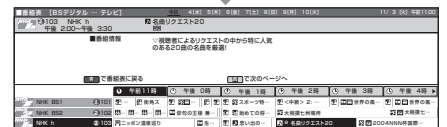
青 を押して番組情報を見る（詳しくは**86**ページ）

放送予定番組の詳しい内容が表示されます。

視聴中の番組の詳しい情報を見たいとき

番組情報 を押します。（詳しくは**80**ページ）

裏番組の情報を知りたいときは、

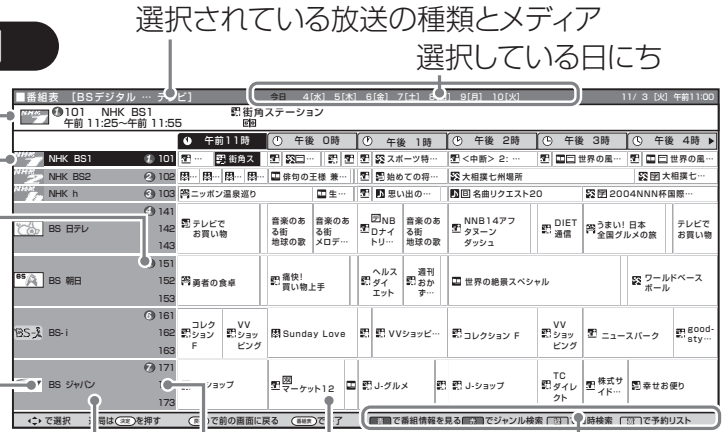
裏番組 を押してから 青 を押します。

（詳しくは**86**ページ）

- 電子番組表を表示できるのはデジタル放送のみです。
- 本書ではおもにBSデジタル放送の電子番組表の画面を表示例にしています。

地上デジタル番組表について

- 地上デジタル放送の電子番組表（EPG）の情報は、送信している各放送チャンネルから取得する必要があります。（**84**ページ）

電子番組表(EPG)の例

- **放送中の番組を選んだとき**
  ⇨ 選んだ番組が選局されます。
- **放送予定の番組を選んだとき**
  ⇨ 予約選択画面になります。（**90**ページ）

電子番組表(EPG)の表示時間は、表示範囲を切り換えて3時間表示（拡大）と6時間表示（広角）が選択できます。（**84**ページ参照）

ジャンル別番組表 （詳しくは**85**ページ）

ジャンル別に一覧表示された番組から、（決定）で選び、（決定）を押す

日時指定した番組表 （詳しくは**85**ページ）

（決定）で日付と時間帯を指定して番組を選び、（決定）を押す

時間帯表示

緑 ○**:日時指定した日の前日の番組表**

黄 ○**:日時指定した日の次の日の番組表**

電子番組表(EPG)に表示されるアイコン

ジャンルを示すアイコン

アイコン	ジャンル	アイコン	ジャンル
	ニュース／報道		映画
	スポーツ		アニメ／特撮
	情報／ワイドショー		ドキュメンタリー／教養
	ドラマ		劇場／公演
	音楽		趣味／教育
	バラエティ		福祉

- ジャンルアイコンの表示はメニューで変更できます。（**84**ページ）

番組情報を示すアイコン

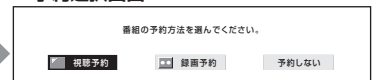
アイコン	内　容
	視聴予約している番組
	録画予約（ビデオ連動予約）している番組
	録画予約（i.LINK予約）している番組
	有料放送、またはPPV（ペイパービュー）番組
	i.LINKによるデジタルコピーが禁止の番組
	i.LINKによるデジタルコピーが1回のみ可能な番組

番組を予約（視聴予約・録画予約）する

放送予定の番組を予約します。

放送予定の番組を選んで、（決定）を押します。

▼予約選択画面

番組の予約方法を選んでください。
視聴予約　録画予約　予約しない

（詳しくは90ページ）

予約を確認する

黄 ○（予約リスト）を押します。

予約済み番組の確認、変更、取り消しができます。

▼予約リスト画面

（詳しくは97ページ）

電子番組表(EPG)を利用するための設定を行う

共通操作

1 **メニュー画面から「デジタル設定」ー「番組表設定」を選び、決定を押す**

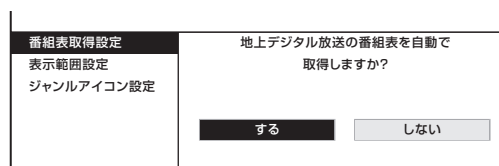
2 **で設定したいメニュー項目を選び、決定を押す**

メニュー項目	設定画面

番組表取得設定

■ 地上デジタル放送の電子番組表(EPG)を取得、表示するときの詳細な設定です。
設定を「する」にしておくと、電源待機中に自動取得し、電子番組表(EPG)の表示が早くなります。

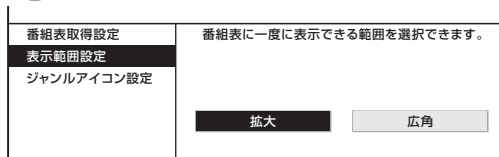
- 番組表取得設定を「する」に設定した場合、リモコンで電源を「切」にしても、電源が切れるまでにしばらく時間がかかることがあります。(本機が放送局の番組情報を取得しているためです。)
  また、本体の電源スイッチで「切」にした場合は、番組情報を取得できません。

3 **で「する」または「しない」を選び、決定を押す**

- 操作終了する場合はメニューまたは終了を押してください。

表示範囲設定

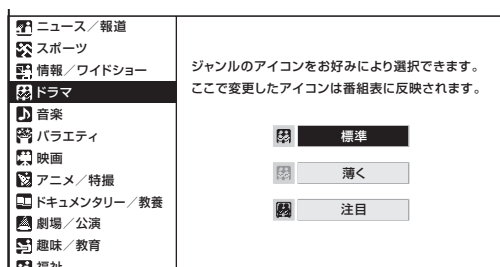
■ 電子番組表(EPG)に一度に表示できる範囲を切り換えて、3時間表示(拡大)と6時間表示(広角)のどちらかを選択できます。
「拡大」:個々の番組を詳細に表示して3時間分表示
「広角」:表示範囲を広角にして6時間分表示

- 工場出荷時は「広角」に設定されています。

3 **で「拡大」または「広角」を選び、決定を押す**

- 操作終了する場合はメニューまたは終了を押してください。

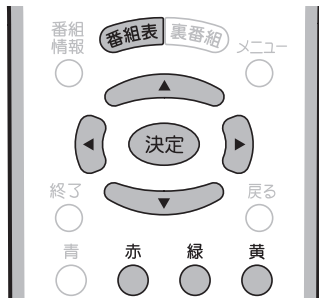
ジャンルアイコン設定

■ 電子番組表(EPG)に表示されるジャンル名に濃淡やマークをつけて識別しやすくできます。

3
① **で識別したいジャンル名を選び、決定を押す**
② **で「標準」「薄く」「注目」のいずれかを選び、決定を押す**

- 操作終了する場合はメニューまたは終了を押してください。

電子番組表(EPG)で番組を探す

見たい番組を探す

■ 電子番組表の中から番組を選んで、視聴または予約することができます。

1 **(番組表)を押し、電子番組表(EPG)を表示する**

・電子番組表の例が**83**ページにあります。

2 **見たい番組を(▲▼◀▶)で選び、(決定)を押す**

・放送中の番組を選んだときは、選んだ番組が表示されます。
・放送予定の番組を選んだときは、予約選択画面になります。

・現在の時間帯より前の番組表は表示できません。

電子番組表の表示内容

・テレビ放送……8日分
・ラジオ放送……3日分
・データ放送……最低1日分
・表示時間………3時間または6時間
※ 電源を入れてからすぐに番組を選んだときは、表示されるまでに時間がかかる場合があります。

・電子番組表(EPG)の表示時間は、表示範囲を切り換えて3時間表示(拡大)と6時間表示(広角)が選択できます。(84ページ参照)

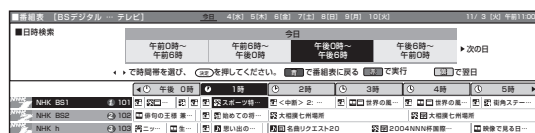
日時を指定して番組を探す

■ 日時を指定して、電子番組表を表示させることができます。

1 ① **(番組表)を押し、電子番組表(EPG)を表示する**
② **緑(日時検索)を押す**

・電子番組表の例が**83**ページにあります。

2 **(◀▶)で時間帯(6時間単位)を選び、(決定)を押す**

・緑ボタンを押すと、前日の電子番組表が表示されます。黄ボタンを押すと、次の日の電子番組表が表示されます。

・指定された日時の電子番組表が表示されます。

3 **(▲▼◀▶)で番組を選び、(決定)を押す**

分類(ジャンル)で番組を探す

■ 番組を分類(ジャンル)別に表示させて、見たい番組を選ぶ方法です。

1 ① **(番組表)を押し、電子番組表(EPG)を表示する**
② **赤(ジャンル検索)を押す**

・電子番組表の例が**83**ページにあります。

2 ① **(▲▼)でジャンルを選ぶ**
② **(◀▶)で時間帯(12時間単位)を選び、(決定)を押す**

3 **見たい番組を(▲▼◀▶)で選び、(決定)を押す**

・黄ボタンを押すと、番組表示を次のページに送ることができます。前のページに戻るときは、緑ボタンを押します。

電子番組表(EPG)で番組の内容を確認する

番組の内容を確認する

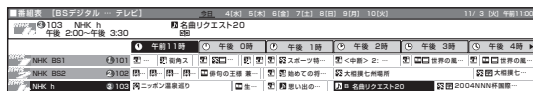
■ 電子番組表で、番組の詳しい情報を見ることができます。

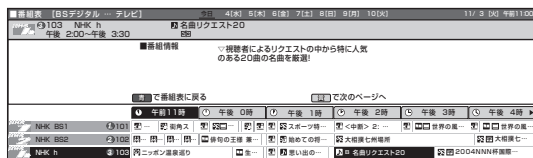
1 **番組表を押し、電子番組表を表示する**

放送中の他の番組(裏番組)を知りたいとき

・気になる裏番組を一覧で確認できます。

裏番組を押し、裏番組表を表示する

2 **内容を確認したい番組を(▲▼◀▶)で選ぶ**

3 **青(番組情報を見る)を押す**

・番組情報が表示されます。

・番組情報案内にしたがって、カラーボタン、テレビ／ラジオ／データボタン、カーソルボタンを使い、希望する情報を選択します。
・選んだ番組を視聴したいときは、決定ボタンを押すと選局できます。(裏番組の情報表示中)

視聴中の番組の情報を見るには

・番組情報を押してください。(80ページ参照)
(電子番組表を表示する必要はありません。)

・地上D･BS･CSのいずれのネットワークについても、また、テレビ･ラジオ･データのいずれのメディアについても、同じように裏番組表を表示することができます。
・裏番組表を表示しているときに放送切換ボタン(地上D･BS･CS)、テレビ／ラジオ／データボタンを押すと、他のネットワークやメディアの裏番組表に切り換えることができます。

デジタル放送の予約と録画

デジタル放送の予約のながれ

本機でできるデジタル放送の予約について

■ デジタル放送の番組を電子番組表（EPG）から予約して視聴したり、外部録画機器に録画できます。
- 予約した時刻になると、予約した番組に自動的に切り換わります。

→**視聴予約**（**90** ページ）

- 予約した時刻になると、本機から録画信号が出力されます。

→**録画予約**（**91** ページ）

■ 録画予約には、接続した録画機器の種類によって 2 通りの方法があります。
- ビデオデッキや DVD レコーダーなどの録画機器に録画したいときは

→**ビデオ連動予約**（**91** ページ）

- i.LINK に対応した D-VHS ビデオデッキ、AV-HDD レコーダー、Blu-ray Disc レコーダーに録画したいときは → **i.LINK 予約**（**94** ページ）

■ 番組の延長や放送時間の変更に追従して、視聴あるいは録画できます。

番組予約（「視聴予約」と「録画予約」）のながれ

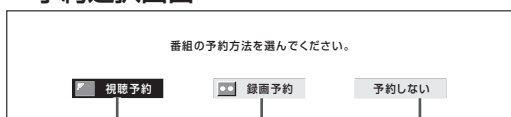
くわしくは
90～96ページ

1 **デジタル放送を視聴中に電子番組表（EPG）を表示させる**

▼電子番組表（EPG）

2 **予約したい番組を選ぶ**
- 日時指定やジャンル検索で選ぶこともできます。

3 **予約の種類を選ぶ**

▼予約選択画面

・録画予約を選択した場合、録画開始 2 分前 (ビデオ連動録画設定（**110** ～ **112** ページ）をシャープ 7、8 に設定している場合に限り、5 分前）になると、選局や番組表などのデジタル放送に関する操作を受け付けなくなります。また、録画予約の実行中もリモコン操作を受け付けません。

「予約しない」を選ぶと、予約しないで番組表に戻ります。

視聴予約

視聴するための予約です。予約した時刻になると、予約した番組に切り換わります。

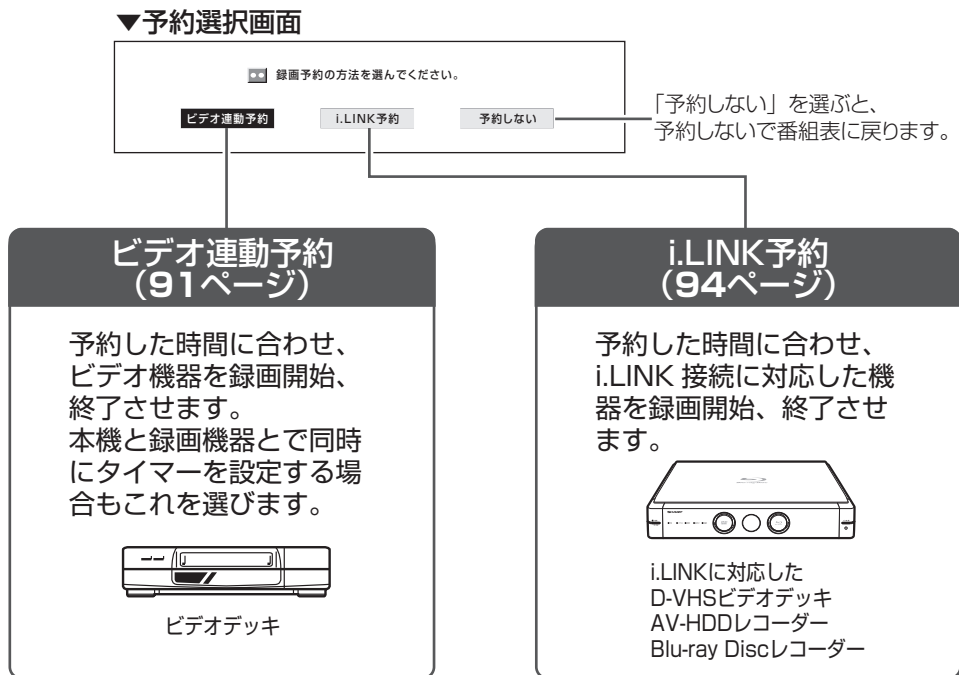
次ページの手順5へ

録画予約

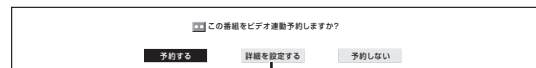
録画するための予約です。予約した時刻になると、予約した番組の録画信号がモニター出力 / 入力 4/ (録画出力) 端子から出力されます。

次ページの手順4へ

4 録画機器を選ぶ（録画予約の場合）

▼予約選択画面

5 「予約する」を選ぶ

• 無料放送や契約済みの番組を簡単予約します。

▼視聴予約の場合　　▼ビデオ連動予約・i.LINK予約の場合

「詳細を設定する」を選んだ場合は

• PPV番組（有料番組）を購入できます。（**96**ページ）
• 複数の映像や音声のある番組を予約したときは、録画する映像・音声を選択したり追加購入の設定ができます。（**93**・**95**ページ）
• i.LINK予約の場合は、録画するi.LINK機器を変更できます。（**95**ページ）
• 予約設定の確認ができます。（**93**・**95**ページ）

6 「戻る」を選び、予約終了

• 予約が設定され、本体前面右下の予約ランプが点灯します。

デジタル放送の録画に関するご注意

• デジタル放送のほとんどの番組には「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が加えられています。この信号とともに録画された番組は、他のデジタル機器へのダビングができません。

• 有料放送を視聴・予約する場合は、有料放送を行うプラットフォームや放送局とあらかじめ受信契約を済ませてください。契約していない有料放送は、番組表から予約しても予約どおりに視聴や録画ができません。
• 番組が開始する 2 分前までに予約を完了してください。開始 2 分前になると、予約ができません。
（ビデオ連動録画設定（**110**〜**112** ページ参照）をシャープ 7、8 に設定している場合に限り、2 分前でなく、5 分前までに予約を完了してください。）

デジタル放送の予約手順

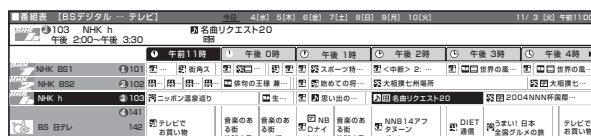
予約操作の前に

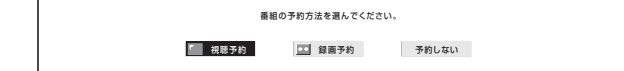
- 録画機器の操作方法については、録画機器の取扱説明書をご覧ください。
- 予約録画する前に、必ず試し録りをしてください。
- 番組が開始する2分前までに予約を完了してください。開始2分前になると、予約ができません。
(ビデオ連動録画設定(**110**〜**112**ページ参照)をシャープ7、8に設定している場合に限り、2分前でなく、5分前までに予約を完了してください。)
- 有料放送を予約する場合は、有料放送のプラットフォームや放送局と、あらかじめ契約をしておく必要があります。契約をしていないと、予約どおりの視聴や録画はできません。
- 前に入れた予約と日時が重なっている場合は、前の予約を破棄して新たな予約をするか、しないかを選択します。
- 最大16番組まで予約できます。すでに16番組を予約していて、新たな予約をしたい場合は、予約の取り消し(**97**ページ)が必要です。

- 番組の始まる2分前(一部の機器では5分前)までに予約して、電源を切るときは、リモコンで電源を切るのね。
- 有料放送は契約してから予約してね。
- 予約できる番組数は16番組までです。

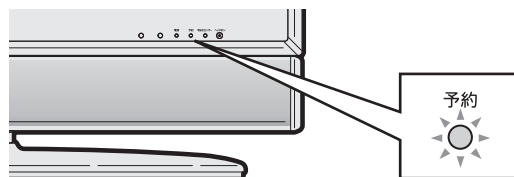
視聴予約する

1 ① 番組表を押し、電子番組表を表示する

② 予約したい番組を で選び、決定を押す

- 予約選択画面になります。
- 翌日以降の番組を予約したいときは、日時指定(**85**ページ)で番組表を表示させると便利です。

2 で「視聴予約」を選び、決定を押す

3 で「予約する」を選び、決定を押す

4 「戻る」で決定を押す

- 視聴予約が設定され、本体前面右下の予約ランプが点灯します。

視聴予約を設定した後に電源を切るときのご注意

- リモコンの電源ボタンで「切」にしてください。本体の電源スイッチでは切らないでください。本体の電源スイッチで「切」にした場合は、予約が実行されません。

ビデオ連動予約する(録画予約)

■ ビデオデッキなどの録画機器を使った録画予約のうち、次の3つの場合は「ビデオ連動予約」を選んで設定します。

- 付属のビデオコントローラーを使い、予約時間に合わせてビデオデッキ(ビデオコントローラー対応)の録画を開始・終了させ、予約したデジタル放送の番組を録画する場合(予約録画の方法 A)
- 外部自動録画(シンクロ予約)機能に対応している録画機器で、予約時間に合わせて録画機器の録画を開始・終了させ、予約したデジタル放送の番組を録画する場合(予約録画の方法 B)
- ビデオコントローラーおよび外部自動録画(シンクロ予約)機能に対応していない録画機器の側で、本機側と同様に日時やチャンネルを予約設定してデジタル放送の番組を録画する場合(予約録画の方法 C)

■ 「i.LINK予約」については、**94**ページをご覧ください。

- ビデオ連動録画する場合は、入力4端子設定を「録画出力」に設定してください。(**114**ページ参照)

1 ビデオデッキの接続と本機側の設定をする

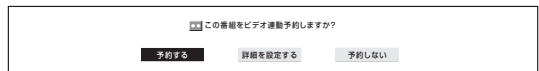
- 予約録画の方法 A の場合、初めてビデオ連動予約を行う場合は、あらかじめ録画機器・ビデオコントローラーの接続(**110**ページ)、およびビデオ連動録画設定(**111**ページ)を済ませておいてください。
- 予約録画の方法 B および 予約録画の方法 C の場合、あらかじめ録画機器との接続を済ませてから、**111**ページ手順**4**のビデオ連動録画の設定で、「ビデオコントローラーを使用しない」を選んで(決定)を押します。(ビデオ機器との接続については**108**ページ)
- デジタル固定を「する」に設定しておくと、ビデオ連動録画の設定ができません。設定前にデジタル固定を「しない」に設定してください。(**115**ページ)

2 電子番組表から予約したい番組を選び、(決定)を押す(90ページ手順1参照)

3 (◀▶)で「録画予約」を選び、(決定)を押す

4 (◀▶)で「ビデオ連動予約」を選び、(決定)を押す

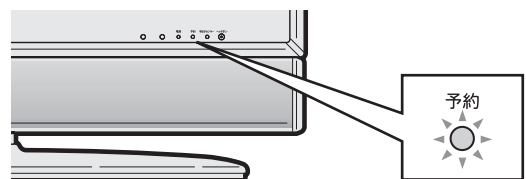
- 「i.LINK予約」については、**94**ページをご覧ください。

5 (◀▶)で「予約する」を選び、(決定)を押す

- 無料放送や契約している有料放送が予約できます。

「詳細を設定する」を選び、(決定)を押したときは

- 映像・音声の詳細の予約設定ができます。視聴制限や購入金額制限の設定によって視聴や購入が制限されている番組の場合は、暗証番号入力画面が表示されます。(**93**・**96**ページ)

6 「戻る」で(決定)を押す

- 番組表に戻ります。通常画面に戻すには(番組表)を押します。
- ビデオ連動予約が設定され、本体前面右下の予約ランプが点灯します。

次ページへつづく

7 予約録画の方法 A の場合

予約操作が完了したら、本機をリモコンで電源「切」(待機状態)にする

- 予約開始時刻になると、ビデオコントローラーからビデオデッキに、電源「入」と録画開始の信号が出ます。また、本機のモニター出力/入力4/(録画出力)端子から映像と音声が出力されます。
  これに連動してビデオデッキ側で録画が始まります。
- 予約終了時刻になると、ビデオコントローラーからビデオデッキに、電源「切」の信号が出ます。これに連動してビデオデッキの電源が切れます。

7 予約録画の方法 B の場合

① **予約操作が完了したら、本機をリモコンで電源「切」(待機状態)にする**

② **録画機器の外部自動録画(シンクロ予約)を設定し、録画の準備をすませて、録画機器のリモコンで電源を「切」にする**

- 予約開始時刻になると、本機のモニター出力/入力4/(録画出力)端子から録画機器の外部自動録画(シンクロ予約)機能に対応した入力端子に向けて映像と音声が出力されます。これに連動して録画機器側で録画が始まります。
- 予約終了時刻になると、本機の録画出力が停止します。これに連動して録画機器の電源が切れます。

7 予約録画の方法 C の場合

① **予約操作が完了したら、本機をリモコンで電源「切」(待機状態)にする**

② **録画機器側の設定をする**

- 録画のための接続をし、録画機器のタイマー予約などの予約録画機能で、本機で設定した予約と同じ日付・時刻に設定し、予約するチャンネルは外部入力に設定します。
- 予約開始時刻になると、本機の電子番組表で予約した番組の映像・音声が本機のモニター出力/入力4/(録画出力)端子から出力されます。同時に、録画機器側で設定した予約によって、録画機器側の予約録画が始まります。

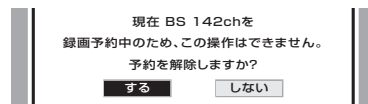
録画予約を設定した後に電源を切るときのご注意

- リモコンの電源ボタンで「切」にしてください。本体の電源スイッチでは切らないでください。本体の電源スイッチで「切」にした場合は、予約が実行されません。

- デジタル放送をビデオデッキで録画する場合は、「デジタル固定」または「ビデオ連動予約」で録画することをおすすめします。
- テレビの画面が消えている場合は、デジタル音声出力(光)端子からは、出力されません。MDへ予約録音する場合は、視聴予約を設定してください。
- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 番組開始の2分前から予約準備が始まります。ビデオ連動録画設定(**110**～**112**ページ)をシャープ7、8に設定している場合に限り、5分前から予約の準備が始まります。
- 録画予約が設定されている場合は、デジタル固定が解除されます。
- 予約した番組が始まるとモニター出力/入力4/(録画出力)端子から映像と音声が出力され、番組が終了すると出力も終了します。(本体の電源が切れていると、出力されません)。
- ラジオ放送をMDで録音するときは、デジタル音声出力(光)端子の設定を「PCM」にしてください。(**131**ページ)
- 有料の放送や番組は、契約しないと予約録画しても録画出力信号が出ません。

実行中の録画予約を解除するには

- 選局、メニュー操作などのデジタルに関するリモコン操作をしてください。そのとき画面に表示される「予約を解除しますか?」の選択項目の「する」を左右カーソルボタンで選び、決定ボタンを押すと予約を解除できます。

現在 BS 142chを
録画予約中のため、この操作はできません。
予約を解除しますか?
する　しない

ビデオ連動予約の詳細設定

■ 映像·音声の詳細の予約設定ができます。
視聴年齢制限のある番組や非契約の有料番組を予約したとき、B-CASカード未挿入で有料番組を予約したときは、メッセージが表示されます。設定を済ませてから、PPV番組の購入予約ができます。(詳しくは**96**ページ)

■ 以下の操作は、**91**ページ手順**5**で「詳細を設定する」を選び、(決定)を押した後からの説明です。

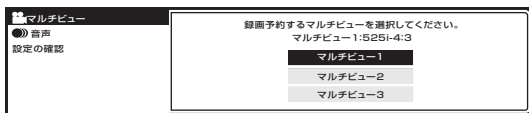
映像の種類を選択する

・映像の種類はつぎのとおりです。それぞれ、表示のあるときのみ選択できます。

「マルチビュー」… いろいろな角度から見た映像
「映像」……… 映像(最大4つ)

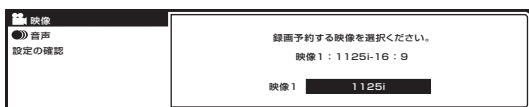
マルチビュー番組を選んでいるとき

① で「マルチビュー」を選び、(決定)を押す

② でマルチビューの種類を選び、(決定)を押す

副映像のある番組を選んでいるとき

① で「映像」を選び、(決定)を押す

② で映像の種類を選び、(決定)を押す

・映像の数は、番組によって異なります。

・予約を完了するときは、右の「予約設定を確認する」に進みます。

音声の種類を選択する

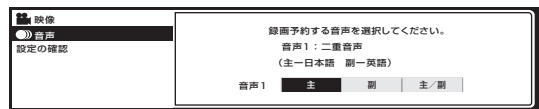
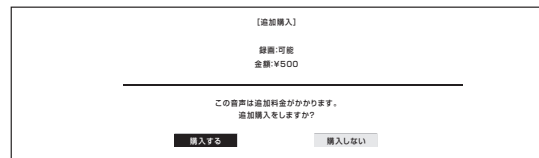
・音声の種類はつぎのとおりです。それぞれ、表示のあるときのみ選択できます。

「音声」……… 音声(最大8つ)
「二重音声」… 主音声と副音声

1

① で「音声」を選び、(決定)を押す

② で音声の種類を選び、(決定)を押す

・音声の数は、番組によって異なります。

・映像·音声の購入に追加料金が必要なときは、追加購入のための画面が表示されます。

・「購入する」または「購入しない」を選び、(決定)を押します。
・予約を完了するときは、次の「予約設定を確認する」に進みます。

予約設定を確認する

1 で「設定の確認」を選び、(決定)を押す

2

① 画面に表示された設定内容を確認する

② 「確認」で(決定)を押す

・番組表に戻ります。通常画面に戻すには(番組表)を押します。
・録画予約が設定されました。(**92**ページ手順**7**を行ってください。)
・「予約しない」を選んで(決定)を押すと、予約を中止して番組表に戻ります。

デジタル放送の予約手順（つづき）

i.LINK予約する（録画予約）

■ i.LINK予約とは、本体背面のi.LINK端子に接続したD-VHSビデオデッキなどのi.LINK機器を予約時間に合わせて録画開始・終了させ、予約したデジタル放送の番組を録画する方法です。

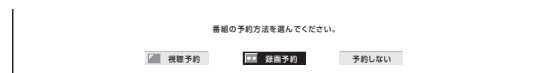
1 **i.LINK機器の接続（118ページ）とi.LINK設定（120・121ページ）を行う**

2 **電子番組表から予約したい番組を選び、決定を押す（90ページ手順1参照）**

3 **◀▶で「録画予約」を選び、決定を押す**

番組の予約方法を選んでください。
視聴予約　録画予約　予約しない

4 **◀▶で「iLINK予約」を選び、決定を押す**

録画予約の方法を選んでください。
ビデオ連動予約　i.LINK予約　予約しない

- 「ビデオ連動予約」については**91**ページをご覧ください。

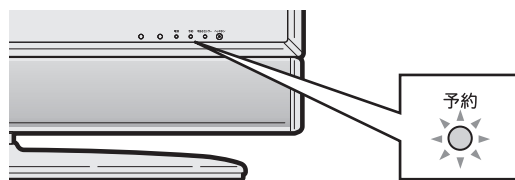
5 **◀▶で「予約する」を選び、決定を押す**

この番組をi.LINK録画予約しますか?
予約する　詳細を設定する　予約しない

- 無料放送や契約している有料放送が予約できます。

「詳細を設定する」を選び、決定を押したときは
- 追加購入する映像・音声の組合せを選んだり、使用するi.LINK機器を変更できます。視聴制限や購入金額制限の設定によって視聴や購入が制限されている番組の場合は、暗証番号入力画面が表示されます。（**95•96**ページ）

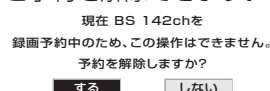
6 **「戻る」で決定を押す**

- i.LINK予約が設定され、本体前面右下の予約ランプが点灯します。

ご注意

録画予約を設定した後に電源を切るときのご注意
- リモコンの電源ボタンで「切」にしてください。本体の電源スイッチでは切らないでください。本体の電源スイッチで「切」にした場合は、予約が実行されません。

- i.LINK予約をするときは、i.LINK機器を本機と1対1で接続してください。複数のi.LINK機器を接続すると、i.LINK予約の実行に失敗することがあります。
- i.LINK機器によっては、i.LINK録画機器側で接続するテレビの設定が必要な場合があります。
- テレビの画面が消えている場合は、デジタル音声出力（光）端子からは、出力されません。MDへ予約録音する場合は、視聴予約を設定してください。
- あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 番組が開始する2分前までに予約を完了してください。開始2分前になると、予約ができません。（ビデオ連動録画設定（**110**～**112**ページ参照）をシャープ7、8に設定している場合に限り、2分前でなく、5分前までに予約を完了してください。）
- 録画予約が設定されている場合は、デジタル固定が解除されます。
- 予約した番組が始まるとモニター出力／入力4／（録画出力）端子から映像と音声が出力され、番組が終了すると出力も終了します。（本体の電源が切れていると、出力されません）。
- ラジオ放送をMDで録音するときは、デジタル音声出力（光）端子の設定を「PCM」にしてください。（**131**ページ）
- 有料の放送や番組は、契約しないと予約録画しても録画出力信号が出ません。

実行中の録画予約を解除するには
- 選局、メニュー操作などのデジタルに関するリモコン操作をしてください。そのとき画面に表示される「予約を解除しますか？」の選択項目の「する」を左右カーソルボタンで選び、決定ボタンを押すと予約を解除できます。

現在 BS 142chを
録画予約中のため、この操作はできません。
予約を解除しますか?
する　しない

i.LINK予約の詳細設定

■ 追加購入する映像･音声の組合せを選んだり、使用するi.LINK機器を変更することができます。視聴年齢制限のある番組や非契約の有料番組を予約したとき、B-CASカード未挿入で有料番組を予約したときは、メッセージが表示されます。設定を済ませてから、PPV番組の購入予約ができます。(詳しくは**96**ページ)

■ 以下の操作は、**94**ページ手順**5**で「詳細を設定する」を選び、決定を押した後からの説明です。

追加購入グループを選択する

・追加購入する映像･音声の組合せ(グループ)が複数あるときのみ必要な手順です。

1 ① **で「追加購入グループ」を選び、決定を押す**

② **で購入グループを選び、決定を押す**

2 **で「購入する」または「購入しない」を選び、決定を押す**

・予約を完了するときは、右の「予約設定を確認する」に進みます。

使用するi.LINK機器を変更する

・使用するi.LINK機器を変えたいときのみ必要な手順です。

1 **で「録画連動機器の変更」を選び、決定を押す**

2 **で、使用するi.LINK機器を選び、決定を押す**

・予約を完了するときは、次の「予約設定を確認する」に進みます。

・i.LINK予約をするときは、i.LINK機器を本機と1対1で接続してください。複数のi.LINK機器を接続すると、i.LINK予約の実行に失敗することがあります。

予約設定を確認する

1 **で「設定の確認」を選び、決定を押す**

2 ① **画面に表示された設定内容を確認する**

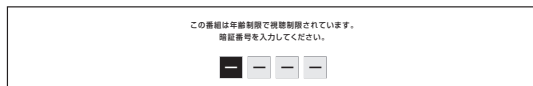
② **「確認」で決定を押す**

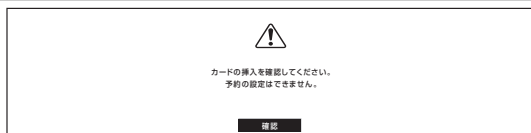
・番組表に戻ります。通常画面に戻すには番組表を押します。
・録画予約が設定されました。
・「予約しない」を選んで決定を押すと、予約を中止して番組表に戻ります。

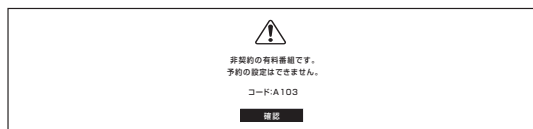
デジタル放送の予約手順（つづき）

詳細設定時のメッセージについて

■ ここでは詳細設定を選んだときに表示されるメッセージについて説明します。

視聴年齢制限のある番組を予約したとき

- 暗証番号入力画面が表示されます。
- 数字ボタン（1～10/0）で暗証番号を入力してください。（**162**ページ参照）

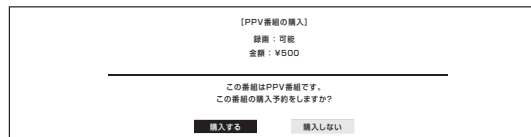
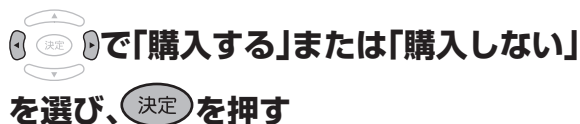
B-CASカード未挿入で有料番組を予約したとき

- 「カードの挿入を確認してください。予約の設定はできません。」のメッセージが表示されます。B-CASカードを挿入（**55**ページ参照）してから、予約をしなおしてください。

非契約の有料番組を予約したとき

- 「非契約の有料番組です。予約の設定はできません。」のメッセージが表示されます。「確認」で決定ボタンを押してください。

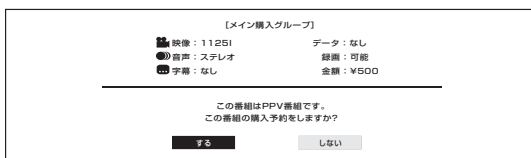
PPV番組（有料番組）を予約したとき

- PPV番組（「番組単位」で購入予約が必要な有料番組のことで、「ペイ・パー・ビュー」とも言います）を選んでいるときのみ必要な手順です。

ビデオ連動予約の場合

で「購入する」または「購入しない」を選び、決定を押す

- 「購入しない」を選んだときは、番組表に戻ります。

i.LINK予約の場合

で「する」または「しない」を選び、決定を押す

- 「しない」を選んだときは、番組表に戻ります。

デジタル放送の電子番組表からの録画予約、視聴予約について

● **電子番組表から予約した番組の放送時間が変更された場合、本機は変更された放送時間に合わせて、録画あるいは視聴できます。**

［例］・録画予約したスポーツ中継が延長された場合 → スポーツ中継が終了するまで録画します。
・録画予約したドラマがスポーツ中継の延長で放送時間が遅れた場合 → 遅延した放送時間で録画します。
※ただし、放送局からの情報により、番組の時間変更に対応できない場合もあります。

● **録画予約した番組が録画されていなかった場合は、受信機レポート（164ページ）を確認してください。**

- 「予約の実行に失敗しました。」というレポートがある場合は、予約の実行に失敗しています。
- レポートに「前の予約番組が延長されたため、予約の開始ができませんでした。」または「番組放送時間が変更されました。」と書かれている場合は、番組の放送時間の変更により録画ができなかった事例です。
- レポートに「予約の開始時間に電源が切れていました。」と書かれている場合は、本体天面の電源を切ったり、電源コードを抜いたりして、予約開始時間に電源が入らなかった事例です。録画予約した場合は、必ず、リモコンで電源を切ってください。
- 受信機レポートがない場合は、予約の実行は成功しています。

● **ビデオ連動予約の場合は、下記の点を確認してください。**

- **ビデオデッキの電源状態の確認**
  録画予約を設定したら、ビデオデッキの電源が「切」であることを確認してください。電源が「入」の状態であったり、ビデオデッキがタイマー録画の状態であるときは、本機で録画予約を設定しても、予約した番組を録画することができません。
- **ビデオデッキの設定の確認**
  接続したビデオデッキの入力端子が本機の録画出力（モニター出力／入力4／（録画出力）端子）から録画する状態になっていることを確認してください。ビデオデッキの内蔵チューナーから録画する設定になっていると、予約した番組を録画することができません。
  また、ビデオテープが入っていない場合やテープ残量が録画時間分ない場合も、予約した番組を正しく録画することができません。
- **ビデオコントローラーの取り付け位置の再確認**
  110～**112**ページの手順でビデオデッキの電源が「入」になることを確認してください。

予約の確認・取り消し・変更をする

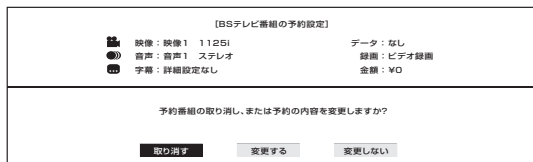
予約を確認したいとき

■ 電子番組表から予約リストを表示させ、予約の確認、取り消しや変更をすることができます。

1 ① 番組表を押し、電子番組表を表示する
② 黄(予約リスト)を押し、予約リストを表示する

▼予約リストの例

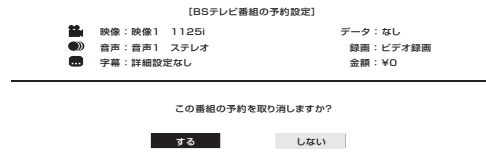
- 予約リストで現在の予約内容を確認します。
- 表示内右側に▲▼マークがある場合は、上下カーソルボタンで予約リストの送り・戻しができます。

2 ▲▼で確認したい予約を選び、決定を押す

- 予約した番組の設定内容が表示されます。

予約を取り消したいとき

1 ① 番組表を押し、電子番組表を表示する
② 黄(予約リスト)を押し、予約リストを表示する

2 ▲▼で取り消したい予約を選び、決定を押す

3 ◀▶で「取り消す」を選び、決定を押す

4 ◀▶で「する」を選び、決定を押す

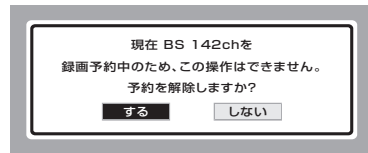
[BSテレビ番組の予約設定]
映像：映像1 1125i　データ：なし
音声：音声1 ステレオ　録画：ビデオ録画
字幕：詳細設定なし　金額：¥0

この番組の予約を取り消しますか?

する　しない

実行中の録画予約を解除するには

- 選局、メニュー操作などのデジタルに関するリモコン操作をしてください。そのとき画面に表示される「予約を解除しますか？」の選択項目の「する」を左右カーソルボタンで選び、決定ボタンを押すと予約を解除できます。

現在 BS 142chを
録画予約中のため、この操作はできません。
予約を解除しますか?
する　しない

予約を変更したいとき

1 ① 番組表を押し、電子番組表を表示する
② 黄(予約リスト)を押し、予約リストを表示する

2 ▲▼で変更したい予約を選び、決定を押す

3 ◀▶で「変更する」を選び、決定を押す

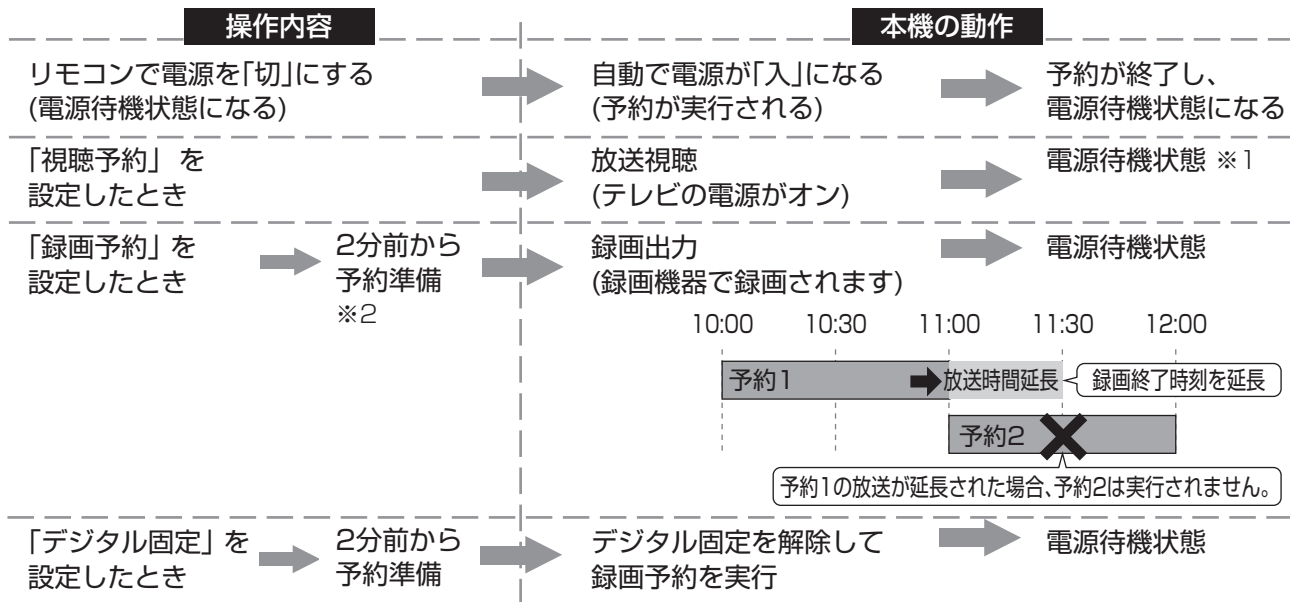
- 予約選択画面になります。

4 予約操作をやりなおす

- ビデオ予約のときは**91**ページ手順**3**、i.LINK予約のときは**94**ページ手順**3**からやりなおします。

予約動作や出力信号について

電源待機状態からの予約動作について

・デジタル放送を予約したときは、設定や条件によって動作が異なります。

※1 視聴予約実行中に何らかのボタン操作をすると、視聴予約は終了します。この場合、予約した番組が終了しても電源待機状態にはなりません。

※2 ビデオ連動録画設定(**110**〜**112**ページ)をシャープ7、8に設定している場合に限り、5分前から予約の準備が始まります。

録画出力／モニター出力から出力される信号について

・モニター出力／入力4／(録画出力)端子は、出力用と入力用に使い分けることができます。切り換えは、メニュー画面の「機能切換」ー「入力4端子設定」で行います。(**114**ページ参照)
・モニター出力／入力4／(録画出力)端子は、本機背面にあります。(**100**ページ参照)
・「録画出力」に設定したときと「モニター出力」に設定したときとでは、出力される信号が異なります。

入力4端子設定 ／ 視聴画面	デジタル固定、録画予約ともしていない場合		デジタル固定または録画予約している場合
	モニター出力	録画出力	
地上アナログ放送	地上アナログ放送	デジタル放送 (最後に視聴したチャンネル)	デジタル放送 (設定したチャンネル)
デジタル放送 (地上デジタル、BS、CS)	デジタル放送 (視聴画面と同じチャンネル)	デジタル放送 (視聴画面と同じチャンネル)	デジタル放送 (設定したチャンネル)
映像入力 (ビデオ 1、2、3)	ビデオ 1、2、3 入力	デジタル放送 (最後に視聴したチャンネル)	デジタル放送 (設定したチャンネル)
S2 入力 (ビデオ 3)	S2 入力 (ビデオ 3) ただし、S 端子からのみの出力になります。	デジタル放送 (最後に視聴したチャンネル)	デジタル放送 (設定したチャンネル)
D4 入力	映像は出力されません	デジタル放送 (最後に視聴したチャンネル)	デジタル放送 (設定したチャンネル)
i.LINK 入力	i.LINK 入力	i.LINK 入力	デジタル固定：設定できません 録画予約時：デジタル放送
電源スタンバイ時	出力されません	出力されません	デジタル放送 (設定したチャンネル)

・有料放送を視聴･予約する場合は、有料放送を行うプラットフォームや放送局とあらかじめ受信契約を済ませてください。契約していない有料放送は、番組表から予約しても予約どおりに視聴や録画ができません。

録画や再生などの機器の接続

他の機器の接続について

AQUOS接続クイックガイドの手順6

接続できる機器

■ 本機には入力1～6端子(うち入力4は出力端子にも設定できます)やi.LINK(TS)端子、デジタル音声出力(光)端子などがあり、以下のように様々な機器と接続できます。

➡ 映像･音声･信号の流れ

▼本体背面

i.LINK(TS)端子
- D-VHSビデオデッキ
- AV-HDDレコーダー
- Blu-ray Disc レコーダー
- ハイビジョンビデオカメラ

118ページ

ハイビジョン映像の録画･再生用端子

入力5(HDMI 端子)

HDMI 対応機器

104ページ

高画質映像などの入力端子

入力1･入力2 モニター出力／入力4／(録画出力)

ビデオデッキ

HDD/DVDレコーダー

102ページ

モニター出力／入力4／(録画出力) 入力4端子の設定で変更します。

入力1･入力2 高画質映像などの入力端子

入力3

ビデオカメラ

102ページ

一時的につないで見るときに便利な端子

コントロール(RS-232C) 端子

パソコンで本機を制御するときの接続端子

PC(パソコン)

138ページ

ビデオ連動録画用

ビデオコントロール端子

ビデオコントローラー

110ページ

モニター音声出力端子

DVI対応パソコンなどの入力端子

デジタル音声出力(光)端子

シアターシステム

130ページ

入力6(DVI-I 端子)

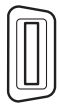
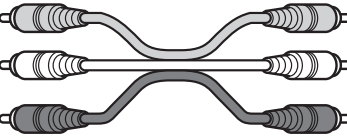
DVI対応機器(パソコンなど)

106ページ

接続した機器を使うときは

- 入力1端子に接続した機器の再生画像を見たいときは、リモコンの 入力切換 ボタンまたは本体天面の入力切換ボタンを押し、入力切換メニューで｢入力1｣を選びます。

- i.LINK機器を使うときは、リモコンの i.LINK を押します。

接続した機器の名前を表示させるには

- 入力切換メニューの入力1～6の表示は変更することができます。(**117**ページ)
  (例:入力1の表示をビデオに変更した場合)

- i.LINK機器の名前は変更できません。

本機の接続端子と接続の目やす

■ 本機の各接続端子と、各端子に接続するケーブル(市販品)です。

	① 端子の形と呼び方	② 端子の詳細と接続ケーブル		画質など
入力1・2	D(4)端子		・ビデオ機器側のD端子は、D1〜4の種類がありますが、1〜4の番号のいずれでも接続できます。	高精細な映像入力に対応。 D4:高精細映像 D3:高精細映像 D2:高画質映像 D1:標準映像 (数字が大きい順に高精細に対応)
	白 赤 左-音声-右 音声端子		・D端子は映像専用端子のため、音声は別に接続します。	
入力3・4	S(2)端子		・ビデオ機器側のS端子は、S,S1,S2の種類がありますが、いずれの種類にも接続できます。	高画質な映像入力に対応。
	白 赤 左-音声-右 音声端子		・S端子は映像専用端子のため、音声は別に接続します。	
入力5	HDMI端子 (ハイディフィニション・マルチメディア・インターフェイス)		・映像と音声が1本のケーブルで接続できます。	高精細な映像入力に対応。
入力6	DVI-I端子		・映像専用端子 ※DVI対応のパソコンなどを接続します。	高精細な映像入力に対応。
	白 赤 左-音声-右 音声端子		・音声は別に接続します。	
i.LINK	i.LINK端子		・映像と音声が1本のケーブルで接続できます。	デジタル放送などハイビジョン映像に対応。
入力1〜4	黄 白 赤 映像・音声端子		・映像と音声をそれぞれ別に接続します。	標準映像 (525i)
コントロール			・パソコンで本機を制御するときの接続端子	—

① **接続するビデオ機器側の端子の形を確認する**
※ビデオ機器側の端子の番号は必ずしも本機のものと同じではありません。

② **本機とビデオ機器を専用のケーブルで接続する**
※接続ケーブルは付属しておりません。市販品をお求めください。

■ 本機はビデオ入力端子6系統を備えており、ビデオやDVDプレーヤーなどの外部再生機器を6台まで接続することができます。(HDMI接続のしかた…**104**ページ。i.LINK接続のしかた…**118**ページ)

■ 接続する機器に応じて、それぞれの端子に合う接続ケーブルをご用意ください。

■ 接続上のご注意

- 接続をするときは、本機や接続する機器の保護のため電源を切ってください。
- 接続ケーブルのプラグは奥まで完全に差し込んでください。不完全な接続は、画像や音声にノイズや雑音が出る原因となります。
- 接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っぱらずにプラグを持って抜いてください。
- 複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源を切っておいてください。
- 接続した機器と本機の画像や音にノイズや雑音が出るときは、お互いを十分に離してください。

ビデオ機器やDVDプレーヤーなどの接続のしかた

■ DVDプレーヤーなどに、D端子、S端子などの高画質映像に対応した出力端子がついている場合は、その出力端子に合った接続をお選びください。より高画質な映像を楽しむことができます。

- 音声ケーブルはそれぞれの音声端子(左／右)に接続してください。
- D端子ケーブルは入力1・2のD4映像入力端子に、S端子ケーブルは入力3・4のS2映像入力端子に、映像・音声ケーブルは入力1〜4の映像・音声入力端子に接続できます。
- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。

- D4 端子、S2 端子を使うときは、同じ入力の映像端子に接続する必要はありません。
- D4 端子、S2 端子などは高精細・高画質な画質で入力された映像を同じ画質で再現するための端子です。標準画質で入力された映像は同じ標準画質になります。

映像は映像端子とS映像端子のどちらか1つをつなぐ

▼入力3端子部

▼本体背面

出力 / S映像 / 映像 / 左－音声－右

S (S1、S2) 映像出力端子へ

S2映像入力端子へ

S端子ケーブル (市販品)

映像·音声ケーブル (市販品)

黄 / 白 / 赤

入力3 / S2映像 / 映像 / 左－音声－右

S端子付きの機器

・S2端子は映像用です。音声ケーブルも接続してください。

映像·音声(左／右)出力端子へ

映像·音声(左／右)入力端子へ

▼入力1・2・4端子部

出力 / 左－音声－右 / D映像 / Y / PB / PR / 左－音声－右

・D4端子は映像用です。音声ケーブルも接続してください。

音声ケーブル(市販品)

D映像出力端子へ

D4映像入力端子へ

D端子ケーブル (市販品)

コンポーネント出力端子へ

または

D4映像入力端子へ

D-コンポーネント変換ケーブル (市販品)

音声ケーブル(市販品)

D端子またはコンポーネント端子付きの機器

音声(左／右)出力端子へ

音声(左／右)入力端子へ

入力1 / 入力2 / 出力/入力4 (録画出力) / S2映像

・モニター出力／入力４／(録画出力) 端子を入力として使用するときは、入力４端子設定を「入力」に設定します。(**114** ページ)

S2映像入力端子について

- S2映像入力端子は、映像端子(ビデオ映像端子)に対し、より高画質な映像で再生するためにS端子ケーブルを使って外部機器を接続するときの端子です。
- 本機は、画面サイズ制御信号(フルモード制御信号、レターボックス制御信号)の入った映像が入力3、入力4のS2映像端子から入力されると、自動的に最適な画面サイズで映し出すように設定することができます。(S2対応…**144**·**145**ページ)
- 本機のS2映像端子に外部機器のS映像出力端子を接続しても、映像を楽しむことができます。(S端子接続の場合、画面サイズ制御信号には対応していません。)

D4映像入力端子について

- 本機のD4映像入力端子は、D1(525i)、D2(525p)、D3(1125i)、D4(750p)の映像の入力に対応しています。
- D4端子を使用するときは、接続端子の種類に応じた画面サイズの判定の設定を行ってください。(D端子識別…**144**·**145**ページ)

ビデオ機器やDVDプレーヤーなどの再生映像を見る

■ 各入力端子に接続した外部再生機器の映像を楽しむことができます。

■ また本体背面の入力1または入力2のD4映像端子にDVDプレーヤーなどの機器を接続して、より高画質の映像を楽しむことができます。
入力5のHDMI端子に接続するときは、**104**ページをご覧ください。

- 詳しくは、ビデオ機器やDVDプレーヤーの取扱説明書を併せてお読みください。
- 入力4端子設定(**114**ページ)を「モニター出力(固定または可変)」に設定した場合、D4映像端子から入力された映像信号は、モニター出力から出力されません。(音声は出力されます。)
- DVDプレーヤーなどの機器を接続するときは、本機に直接接続してください。ビデオデッキを通して本機で映像を見ると、コピーガード機能の働きにより、映像が正常に映らないことがあります。

入力選択の設定について

- 接続されている映像用端子と、入力選択の設定で選択されている端子が異なり、映像が表示されない場合は、その旨のメッセージが画面に表示されます。このときは、外部機器を接続している入力の入力選択設定を行ってください。(**116**ページ参照)

[例] 入力1に接続したビデオ機器の再生映像を見る

1 ビデオ機器の準備をする

① **本機背面の入力1にビデオ機器を接続し、電源を入れる**

② **再生したいビデオテープを入れる**

2 入力切換を押し、入力切換メニューを表示する

- 入力切換メニュー表示中につぎの操作を行います。

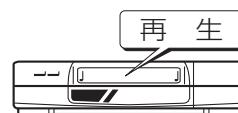
3 ① 入力切換 または 上下ボタン を押し、「入力1」を選ぶ

- 入力1～入力4は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。
- i.LINKは、機器を接続、選択しているときのみ選べます。

※入力4は、入力4端子設定を「入力」にしているときのみ選択できます。(**114**ページ参照)

② **決定を押す**

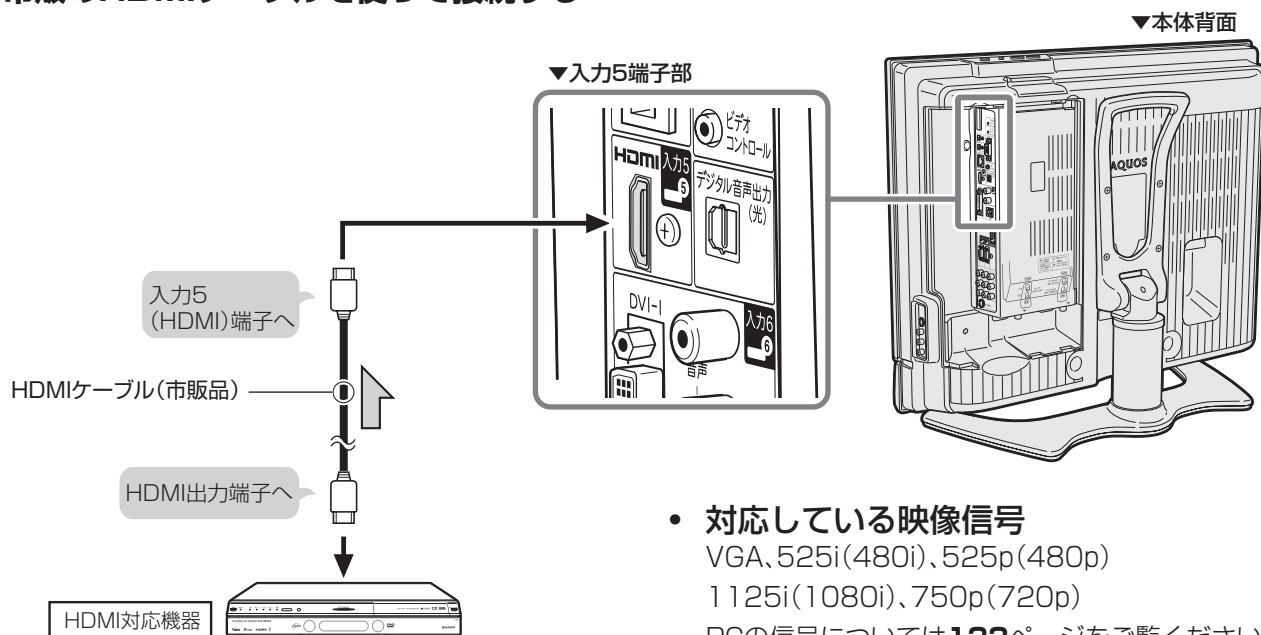
- 決定ボタンを押さなくても、しばらくすると入力切換メニューは消えます。

4 ビデオ機器を再生状態にする

HDMI対応機器の映像を見る

HDMI端子付き機器の接続のしかた

■ HDMI端子は、映像と音声の信号を1本のケーブルでつなぐことができる新しい規格の専用端子です。
■ HDMI対応機器の映像や音声を楽しむときは、入力切換で「入力5」を選びます。
■ HDMI対応機器を接続せず、「入力5」を飛ばして入力切換をしたいときは、「入力スキップ設定」を「する」に設定します。（工場出荷時はHDMI対応機器を接続していなくても「入力5」が選べるようになっています。）

■ HDMI出力端子付きビデオ機器との接続

市販のHDMIケーブルを使って接続する

- **対応している映像信号**
  VGA、525i（480i）、525p（480p）
  1125i（1080i）、750p（720p）
  PCの信号については**133**ページをご覧ください。
- **対応している音声信号**
  種類：リニアPCM
  サンプリング周波数：48kHz／44.1kHz／32kHz

- HDMI、HDMIロゴおよび高品位マルチメディアインターフェイスは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。

・HDMI入力では、HDMIケーブルによっては、映像にノイズが発生する場合があります。HDMI認証ケーブルを使用してください。

HDMI対応機器の映像を見る

■「入力5」に接続したHDMI対応機器の映像を見るための手順です。

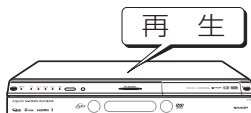
1 HDMI対応機器の準備をする
① 本機背面の入力5端子にHDMI対応機器を接続し、電源を入れる
② 再生したいディスクを入れる

2 入力切換を押し、入力切換メニューを表示する

3 入力切換メニュー表示中に、入力切換または(▲▼)を押し、「入力5」を選ぶ

- 入力1～入力4は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。
- i.LINKは、機器を接続、選択しているときのみ選べます。

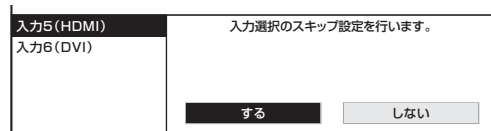
※入力4は、入力4端子設定を「入力」にしているときのみ選択できます。（**114**ページ参照）

4 HDMI対応機器を再生状態にする

HDMI対応機器を接続しないとき（入力スキップ設定）

■「入力5」を飛ばして入力切換ができます。（工場出荷時は、HDMI対応機器を接続していなくても「入力5」を選べるようになっています。）

1 メニュー画面から「本体設定」ー「入力スキップ設定」を選び、決定を押す

2 (▲▼)で「入力5（HDMI）」を選び、決定を押す

3 (◀▶)で「する」を選び、決定を押す

- 「する」に設定すると入力切換ボタンを押したとき、次のような表示になります。

入力切換
テレビ
入力1
入力2
入力3
⊘ 入力4
⊘ 入力5
入力6
i.LINK

- 入力5に⊘が表示され、入力5を飛ばして入力切換ができます。

- 「入力5」のスキップを解除するには、メニュー画面から「本体設定」ー「入力スキップ設定」ー「入力5（HDMI）」ー「しない」を選んでください。

操作終了する場合は

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

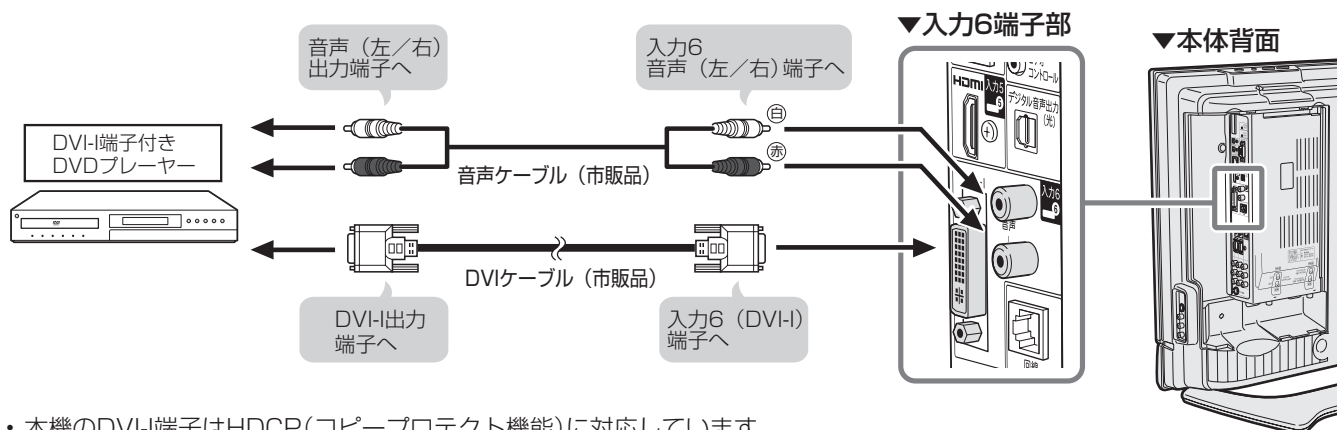
- 1つ前に戻る場合は戻るを押してください。

DVI対応機器の映像を見る

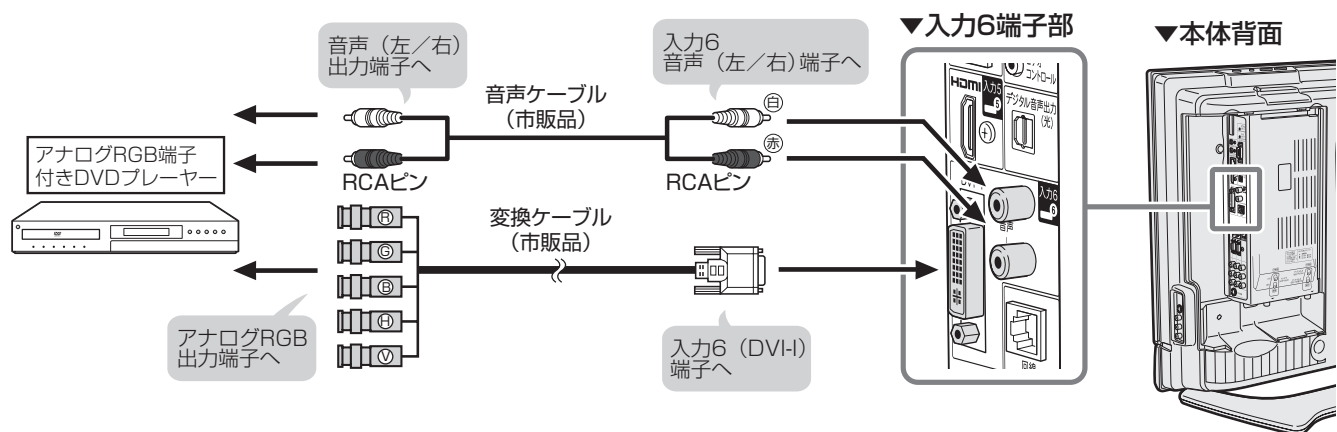
DVI対応機器の接続のしかた

■ DVI対応機器を接続するときは、DVIケーブル(市販品)をご使用ください。DVIケーブルは映像用のケーブルです。DVIケーブルを接続するときは、音声ケーブルも接続してください。
■ DVI対応機器の映像や音声を楽しむときは、入力切換で「入力6」を選びます。
■ DVI対応機器を接続せず、「入力6」を飛ばして入力切換をしたいときは、「入力スキップ設定」を「する」に設定します。(工場出荷時はDVI対応機器を接続していなくても「入力6」が選べるようになっています。)

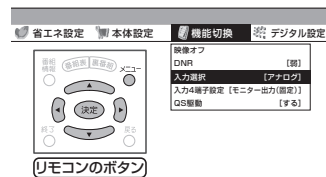
■ DVI-I出力端子付きビデオ機器との接続

市販のDVIケーブルを使って接続する

・本機のDVI-I端子はHDCP(コピープロテクト機能)に対応しています。

■ アナログRGB出力端子付きビデオ機器との接続

市販の変換ケーブルを使って接続する

入力6に接続した機器に合わせて端子を設定する

・DVI対応AV機器の入力対応信号は、525p、1125i、750pです。
・対応した信号で正しく表示されない場合は、右の手順に従い、接続した信号に合わせて、入力6を「アナログ」または「デジタル」に設定してください。通常は「自動」のままでかまいません。

① 入力切換 を押し、「入力6」を選ぶ
②メニュー画面から「機能切換」―「入力選択」を選び、決定を押す

③ で接続した信号を選び、決定を押す

DVI対応機器の映像を見る

■「入力6」に接続したDVI対応機器の映像を見るための手順です。

1 DVI対応機器の準備をする
① 本機背面の入力6端子にDVI対応機器を接続し、電源を入れる
② 再生したいディスクを入れる

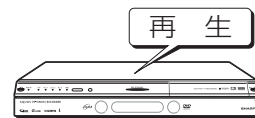
2 入力切換を押し、入力切換メニューを表示する

3 入力切換メニュー表示中に、入力切換または▲▼を押し、「入力6」を選ぶ

- 入力1〜入力4は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。
- i.LINKは、機器を接続、選択しているときのみ選べます。

入力切換
テレビ
入力1
入力2
入力3
入力4
入力5
入力6
i.LINK

※入力4は、入力4端子設定を「入力」にしているときのみ選択できます。（**114**ページ参照）

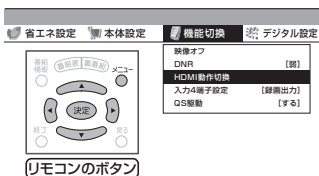
4 DVI対応機器を再生状態にする

表示状態が最適にならないときは

■ DVI対応機器をHDMI（入力5）端子に接続した場合、「HDMI動作切換」を設定してください。

信号種類の設定

- **RGB:**赤(R)緑(G)青(B)で映像を表示する形式
- **YCbCr:**明暗を表す輝度信号(Y)と色を表す色差信号(CbCr)で映像を表現する形式

① 入力切換を押し、「入力5」を選ぶ

②メニュー画面から「機能切換」ー「HDMI動作切換」を選び、決定を押す

③▲▼で「信号種類」を選び、決定を押す

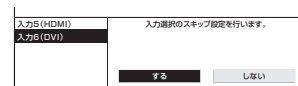
④▲▼で設定値を選び、決定を押す

DVI対応機器を接続しないとき（入力スキップ設定）

- 「入力6」を飛ばして入力切換ができます。（工場出荷時は、DVI対応機器を接続していなくても「入力6」を選べるようになっています。）

① メニュー画面から「本体設定」ー「入力スキップ設定」を選び、決定を押す

② ▲▼で「入力6（DVI）」を選び、決定を押す

③ ◀▶で「する」を選び、決定を押す

- 「入力6」のスキップを解除するには、メニュー画面から「本体設定」ー「入力スキップ設定」ー「入力6（DVI）」ー「しない」を選んでください。

操作終了する場合は

メニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は戻るを押してください。

デジタル放送の番組をビデオデッキで録画する

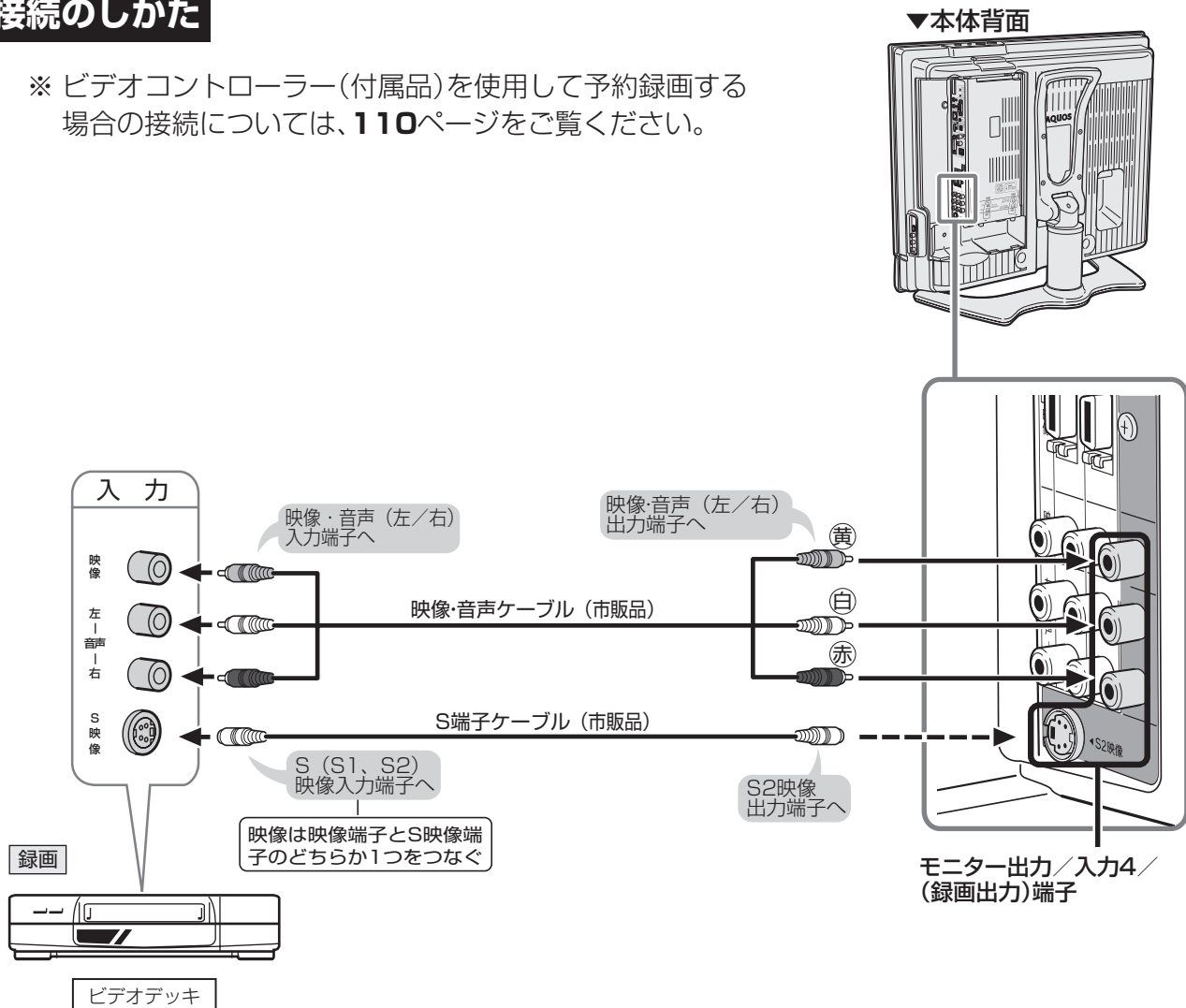
接続について

■ お持ちのビデオデッキなどにデジタルチューナーが付いていない場合、本機背面のモニター出力／入力4／（録画出力）端子にビデオデッキなどの録画機器を接続して、デジタル放送を録画することができます。録画予約を設定した場合、モニター出力／入力4／（録画出力）端子から自動的に録画出力信号が出力されます。

録画出力について

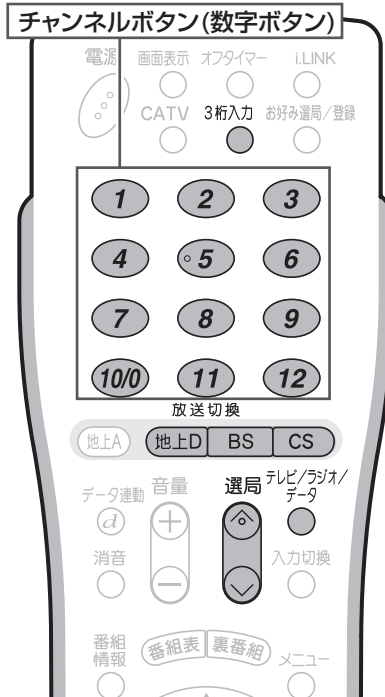
- 電子番組表(EPG)で録画予約した内容が、予約した時刻にモニター出力／入力4／(録画出力)端子から出力されるためには、あらかじめ入力4端子設定で「録画出力」に設定しておく必要があります。(**114**ページ)

接続のしかた

※ ビデオコントローラー（付属品）を使用して予約録画する場合の接続については、**110**ページをご覧ください。

- モニター出力／入力4／（録画出力）端子からは、デジタル放送のハイビジョン画質（1125i）の映像を標準画質（525i）に変換して出力します。したがって、**接続された録画機器では標準画質で録画されます。**
- ハイビジョン画質で録画するときは、D-VHSビデオデッキ･AV-HDDレコーダー･Blu-ray Discレコーダーなどのi.LINK機器をi.LINK接続して行ってください。（**118**～**129**ページ参照）
- 番組により、録画･録音が制限されている場合などがあります。
- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。

録画の操作について

■ デジタル放送は、チャンネルを固定して録画することができます。（デジタル固定…**115**ページ）

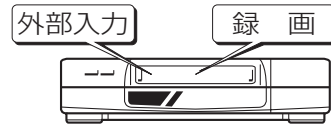
■「デジタル固定」を「する」にしておくと、リモコンで電源を切ってもモニター出力／入力4／（録画出力）端子から映像と音声が出力されますので、録画を続けることができます。

［例］NHKハイビジョンの番組を録画するとき

1 **入力4を「録画出力」に切り換える**

• 入力4を「録画出力」に切り換えるための「入力4端子の設定」を行ってください。（**114**ページ）

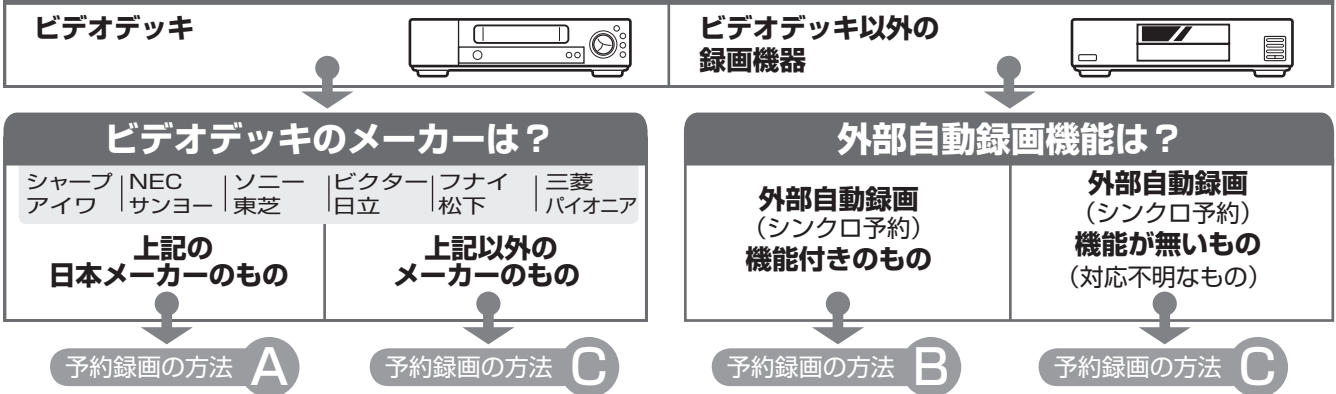
2 **① BS を押し、BSデジタル放送（テレビ）を受信する**

② チャンネルボタン 3 を押し、NHKハイビジョンを選局する

3 **ビデオデッキを外部入力に切り換え、録画のボタンを押す**

• 録画が始まります。

• あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

ビデオ連動予約のタイプ別接続について

■ 録画予約から「ビデオ連動予約」（**91**ページ）を選ぶときは、下の図にしたがって接続方法を選びます。

予約録画の操作の前に、「ビデオコントローラーを使うための設定」が必要です。（**111** ページ）

付属のビデオコントローラーを使って予約する場合（ビデオ連動録画）（**110**ページ）

録画機器がビデオコントローラー、外部自動録画（シンクロ予約）機能に対応していない場合（**113**ページ）

録画機器の外部自動録画（シンクロ予約）機能を使う（**113** ページ）

録画機器がビデオコントローラー、外部自動録画（シンクロ予約）機能に対応していない場合（**113** ページ）

• 録画機器の操作方法については、録画機器の取扱説明書をご覧ください。
• 予約録画する前に、必ず、試し録りをして、正しく録画されることを確認してください。
　このとき、予約録画の方法 A、予約録画の方法 B でうまくいかないときには、予約録画の方法 C を行ってください。

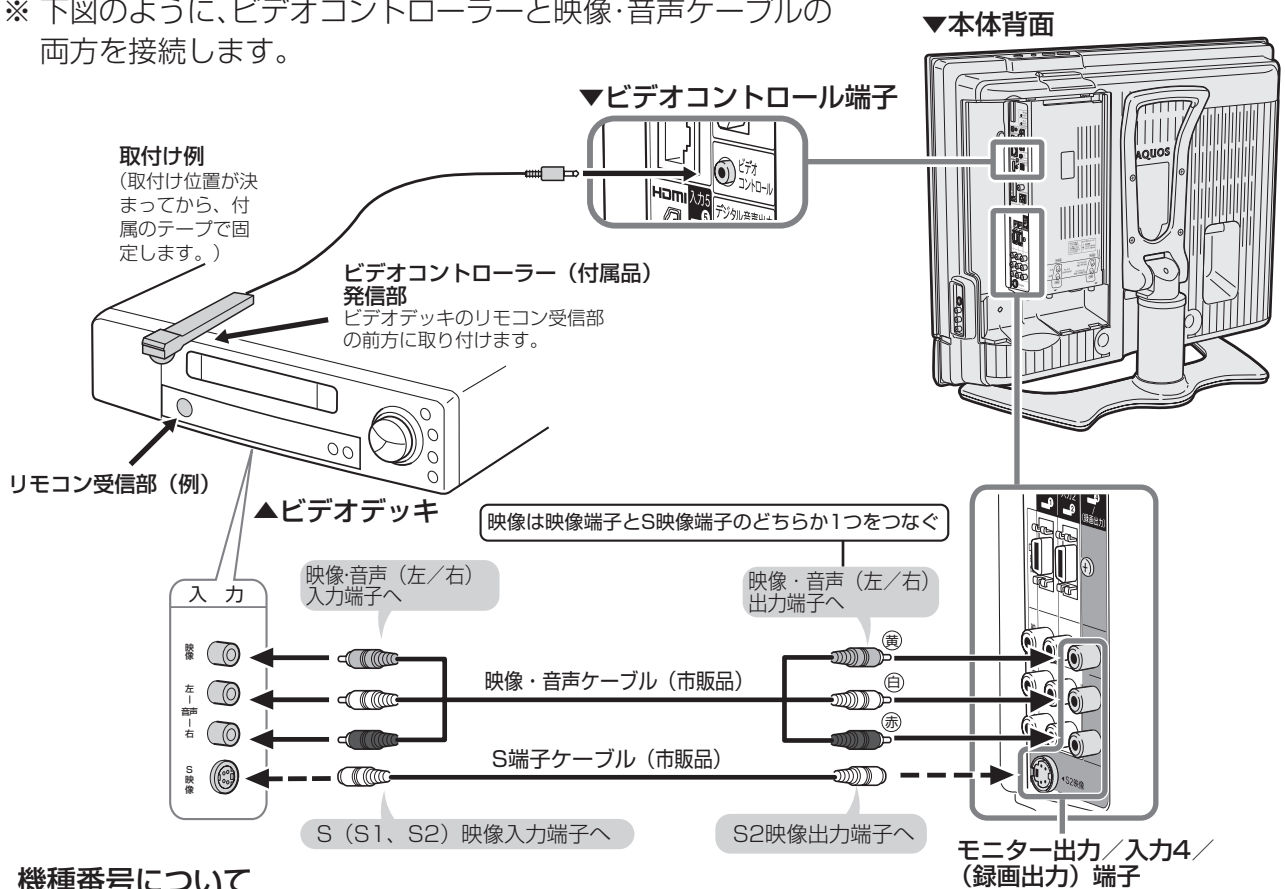
• i.LINK予約の接続については**118**ページをご覧ください。

ビデオ予約をするための接続と設定

ビデオコントローラーを使って予約する場合（予約録画の方法 A の場合）の接続

付属のビデオコントローラーを使うと、予約した時刻にビデオコントローラーからビデオデッキにリモコン信号が送信され、ビデオデッキの電源の入／切や録画の開始／停止を行い、本機の予約機能と連動して**デジタル放送の番組**を録画（ビデオ連動録画）することができます。この場合、ビデオデッキの予約設定は必要ありません。（録画可能なテープなどの基本的な準備は必要です。）

※ ビデオデッキの機種によっては、リモコン信号が異なるため動作しない場合があります。そのときは、ビデオコントローラーは使用できません。また、ビデオデッキ内蔵型テレビにも録画できません。

※ 下図のように、ビデオコントローラーと映像･音声ケーブルの両方を接続します。

機種番号について

■ メーカーにより複数のリモコン信号を採用しており、つぎの機種番号で区分されます。

メーカー	機種番号
シャープ	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8
アイワ	1, 2, 3, 4
N E C	1, 2, 3, 4
サンヨー	1, 2, 3, 4
ソニー	1, 2, 3, 4, 5, 6
東　芝	1, 2, 3, 4, 5, 6
ビクター	1, 2, 3, 4
日　立	1, 2, 3
フナイ	1
松　下	1, 2, 3, 4, 5, 6
三　菱	1, 2, 3, 4
パイオニア	1, 2, 3

工場出荷時の設定：未設定

※入力4端子の設定について

• ビデオ連動録画をするときは、メニューで入力4端子設定を「録画出力」に設定してください。（**114**ページ）

ビデオコントローラー取付けの際のご注意

• リモコン受信部の位置は、ビデオデッキのメーカーや機種によって異なります。一般的には、液晶表示部に隣接して丸いものがうすく見えます。
• ビデオコントローラーの発信部がビデオデッキのリモコン受信部に確実に向いていることをご確認ください。
• ビデオコントローラーを取り付けるときは、はじめから任意の位置に固定しないで、**111**･**112**ページ「ビデオコントローラーを使うための設定をする」のテストでビデオデッキの電源が「入」になる位置を探し、その位置に固定してください。

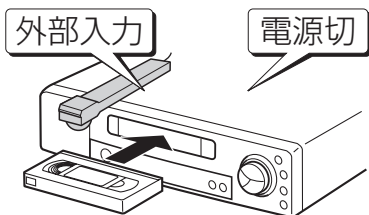
ビデオコントローラーを使うための設定をする

- ビデオ連動録画設定が必要なのは初回のみです。(ただし接続している機器を変更したときは、再度設定が必要になります。)
- ビデオ連動録画できるのは、デジタル放送のみです。地上アナログ放送、CATV放送などはビデオ連動録画ができません。

操作の前に

- **録画出力信号について**
  ビデオ連動録画設定で、リモコン信号が異なり動作しない場合でも、モニター出力／入力4／(録画出力)端子からは、映像と音声信号が出力されます。(この場合は録画する機器側にもタイマー予約を設定し、録画予約設定を行ってください。)
- **ビデオデッキの準備について**
  ビデオデッキ側は起動時に選局しているチャンネルの映像を録画しますので、外部入力チャンネルに切り換えた上でビデオのリモコンで電源を「切」にして待機してください。他のチャンネルでのタイマー録画が先に実行されると外部チャンネルが変更されてしまい、他のチャンネルが録画されます。
- **本機の設定について**
  「デジタル固定」を「する」に設定しておくと、ビデオ連動録画の設定ができません。設定前に「デジタル固定」を「しない」にしてください。(**115**ページ)

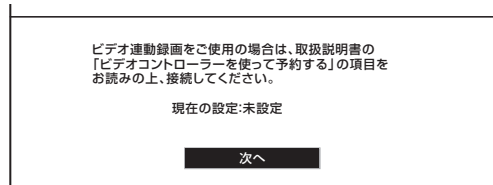
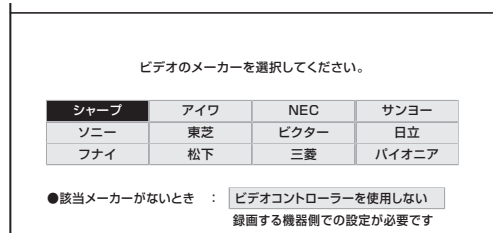
1 ビデオデッキの準備をする

① 本機につなぐ(**110**ページ参照)
② ビデオコントローラーを取り付ける (**110**ページ参照)
③ 本機とつないだ外部入力に切り換える
④ 録画用ビデオテープを入れる
⑤ ビデオのリモコンで電源を「切」にする

2 メニュー画面から「デジタル設定」ー「ビデオ連動録画設定」を選び、決定を押す

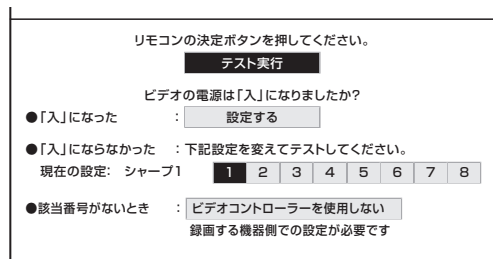
3 ビデオコントローラーの接続を確認し、「次へ」で決定を押す

4 お使いのビデオデッキのメーカーを◀▶▲▼で選び、決定を押す

ビデオのメーカーを選択してください。

シャープ	アイワ	NEC	サンヨー
ソニー	東芝	ビクター	日立
フナイ	松下	三菱	パイオニア

●該当メーカーがないとき　：　ビデオコントローラーを使用しない
録画する機器側での設定が必要です

- 該当するビデオメーカーがない場合や外部自動録画機能(シンクロ予約機能)を使用して録画する場合は、「ビデオコントローラーを使用しない」を選択してください。

⇨ 予約録画の方法 B または 予約録画の方法 C に進みます。(**113**ページ)

5 「テスト実行」で決定を押し、テストを開始する

テストの結果

- ビデオデッキの電源が「入」になったとき(正常)
  ⇨手順**8**の②に進みます。
- ビデオデッキの電源が「入」にならなかったとき
  ⇨ビデオデッキの接続、ビデオコントローラーの取付け、メーカーを確認し、手順**6**に進みます。

- ビデオコントローラーの取付け位置が適切でないために、ビデオデッキの電源が「入」にならないことがあります。その場合は、手順**6**・**7**でテストをくり返しながらビデオデッキの電源が「入」になる位置を見つけ、その位置にビデオコントローラーを固定してください。

次ページへつづく

6 ① （↑↓）でカーソルを機種番号の欄に移動する

② （←→）でメーカーの機種番号を選び、（決定）を押す

• **110**ページ左下にある「機種番号について」の表を参考に機種番号を選んでください。機種番号が複数あるメーカーの場合は、お使いのビデオデッキが操作できるようになるまで手順**6**・**7**をくり返してください。

7 （決定）を押し、テストを実行する

• テストの結果、該当する機種番号がない場合は、「ビデオコントローラーを使用しない」を選択して、ビデオ連動予約を行う際はビデオデッキにもタイマー予約を設定してください。

8 ① ビデオデッキの電源が「入」になったことを確認する

② 「設定する」で（決定）を押す

• これでビデオ連動録画の設定は完了です。

操作終了する場合は

（メニュー）または（終了）を押し、通常画面に戻す

• 1つ前に戻る場合は（戻る）を押してください。

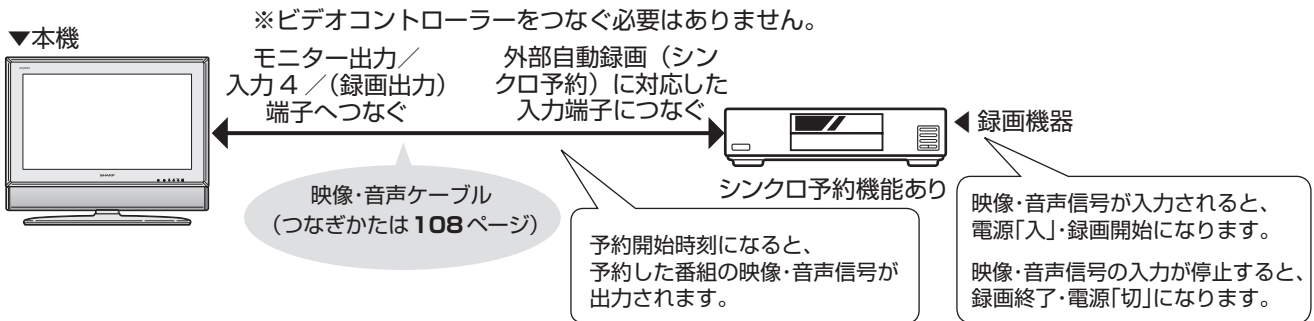
設定が終了したら、再度ビデオデッキの電源を「切」にします。（ビデオのリモコンで切ります。）

• 予約した時刻になると、ビデオコントローラーからの信号によってビデオデッキの電源が入り、録画が開始されます。
• 録画予約を設定する前に、モニター出力／入力4／（録画出力）端子を「録画出力」に設定してください。（**114**ページ）
• 録画予約のしかたについては、**91**ページをご覧ください。

• ビデオコントローラーのテストで、どの機種番号を選んでもビデオデッキの電源が「入」にならない場合は、ビデオコントローラーの発信部がビデオデッキのリモコン受信部に確実に向いているか、再度ご確認ください。

外部自動録画(シンクロ予約)機能を使用する場合(予約録画の方法B)の接続

■ お持ちの録画機器に外部録画機能(シンクロ予約機能)が付いている場合、ビデオコントローラーをつながずに予約録画することができます。
■ シンクロ予約とは、録画機器側で録画出力信号を受信すると、これに連動して電源が入り、録画を開始する機能です。(詳しくは録画機器の取扱説明書をご覧ください。)

接続のしかた

接続が終了したら、**111**ページの手順**4**で「ビデオコントローラーを使用しない」に設定してから、本機の録画予約を設定し、本機の電源を「切」にします。(リモコンで切ります。)そして録画機器の外部自動録画(シンクロ予約)を設定し、録画の準備をすませて、録画機器のリモコンで録画機器の電源を「切」にします。

- 予約開始時刻になると、本機のモニター出力／入力4／(録画出力)端子から映像と音声が外部自動録画(シンクロ予約)機能に対応した入力端子へ出力されます。これに連動して録画機器側で録画が始まります。
- 録画予約を設定する前に、モニター出力／入力4／(録画出力)端子を「録画出力」に設定してください。(**114**ページ)
- 録画予約のしかたについては、**91**ページをご覧ください。

- 録画機器の外部自動録画(シンクロ予約)を設定しているときに本機の電源を入れると、モニター出力／入力4／(録画出力)端子から信号が出力されるため、録画機器で録画が始まります。不要な録画を避けるためには、録画予約が終了したあとは、録画機器の外部自動録画(シンクロ予約)を「しない」状態にしてください。

録画機器がビデオコントローラー・外部自動録画(シンクロ予約)機能に対応していない場合(予約録画の方法C)の接続

■ お持ちの録画機器がビデオコントローラーおよび外部自動録画(シンクロ予約)機能に対応していないなど、予約録画の方法A・予約録画の方法Bが使えない場合でも、本機側と合わせて録画機器側でも日時やチャンネルを予約設定しておけば録画が可能になります。

接続が終了したら、**111**ページの手順**4**で「ビデオコントローラーを使用しない」に設定してから、本機の録画予約を設定し、本機の電源を「切」にします。(リモコンで切ります。)そして録画機器のタイマー予約などの予約録画機能で、本機で設定した予約と同じ日付・時刻に設定し、予約するチャンネルは本機と接続した外部入力に設定します。

- 録画機器との接続については、**108**ページをご覧ください。
- 録画機器の操作方法については、録画機器の取扱説明書をご覧ください。
- 予約開始時刻になると、本機の電子番組表で予約した番組の映像・音声がモニター出力／入力4／(録画出力)端子から出力されます。同時に、録画機器側で行った設定により、録画機器側の予約録画が始まります。
- 録画予約を設定する前に、モニター出力／入力4／(録画出力)端子を「録画出力」に設定してください。(**114**ページ)
- 録画予約のしかたについては、**91**ページをご覧ください。

他の機器を使って録画するための設定

入力4端子を出力用または入力用に設定する

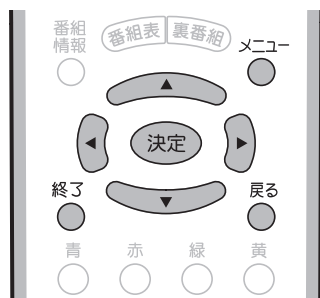
■ 本機背面のモニター出力／入力4／(録画出力)端子は、出力用と入力用に使い分けることができます。

操作の前に

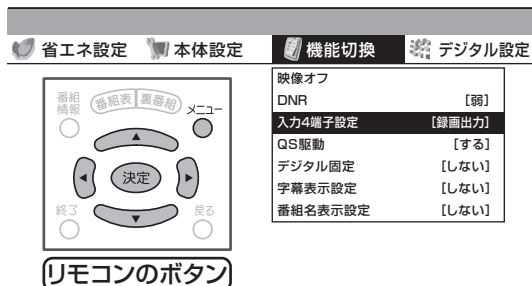
他の機器を接続して録画するときの設定

- **録画出力**(工場出荷時の設定)
  デジタル放送を録画するときに選びます。
- **モニター出力(固定)**
  音声出力端子から出力される音量レベルは一定で、スピーカーの音量を調整しても端子の出力レベルは変化しません。
- **モニター出力(可変)**
  スピーカーからは音声が出ません。音声出力端子から出力される音量レベルを、音量ボタンで調整することができます。

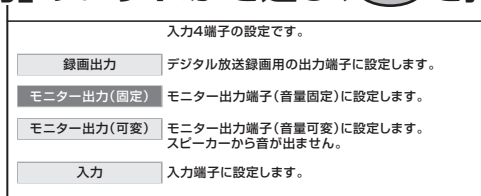
ビデオやDVDを見るときの設定

- **入力**
  ビデオ再生機器をつなぐなど、入力端子として使うときに選びます。

•モニター出力／入力4／(録画出力)端子から出力される映像信号について

出力	「モニター出力」設定時		
	予約録画もデジタル固定もしていないとき		予約録画実行中またはデジタル固定中 「録画出力」設定時
	S2	映像	S2／映像
地上アナログ放送	×	○	×
デジタル放送	○	○	○
ビデオ入力	×	○	×
D4入力	×	×	×

1 **メニュー画面から「機能切換」ー「入力4端子設定」を選び、(決定)を押す**

2 **で「録画出力」「モニター出力(固定)」「モニター出力(可変)」「入力」のいずれかを選び、(決定)を押す**

入力4端子の設定です。

録画出力	デジタル放送録画用の出力端子に設定します。
モニター出力(固定)	モニター出力端子(音量固定)に設定します。
モニター出力(可変)	モニター出力端子(音量可変)に設定します。スピーカーから音が出ません。
入力	入力端子に設定します。

- 「モニター出力」に設定すると、音量を調整したとき、次のような音量表示が画面に表示されます。

「モニター出力(固定)」にしたときの音量表示

30

「モニター出力(可変)」にしたときの音量表示

30

おしらせ

- 「モニター出力(可変)」に設定し、モニター音声出力レベルを調整する場合は、スピーカーの音量を変えるときと同じように、音量(大／小)ボタンで調整します。
- 「モニター出力(固定)」「モニター出力(可変)」のいずれを選んだ場合でも、ヘッドホン端子からの音声出力は可能です。
- 「モニター出力(固定)」または「モニター出力(可変)」に設定しているとき、予約録画の実行またはデジタル固定をすると、録画出力信号が出力されます。
- 「モニター出力(可変)」に設定しているとき、音声調整の設定はできません。

操作終了する場合は

(メニュー)または(終了)を押し、通常画面に戻す

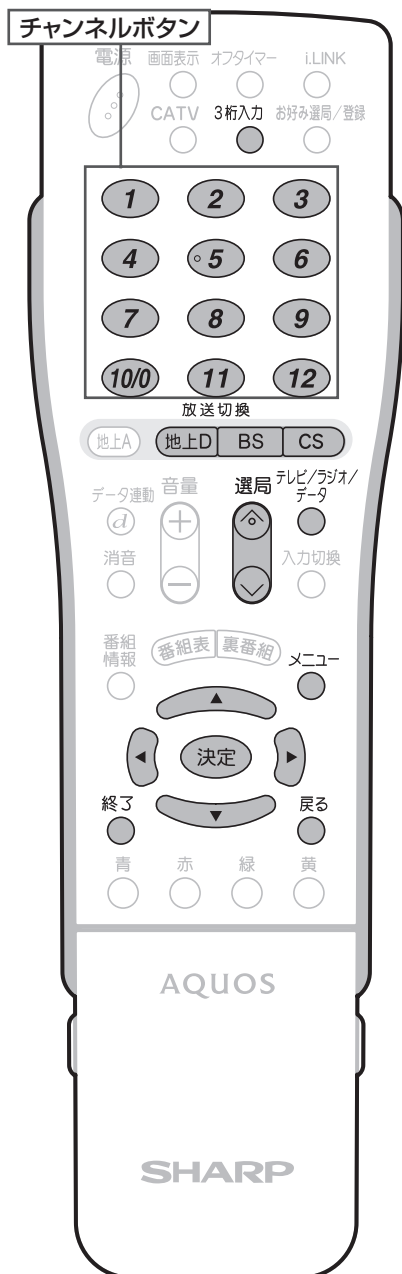
- 1つ前に戻る場合は(戻る)を押してください。

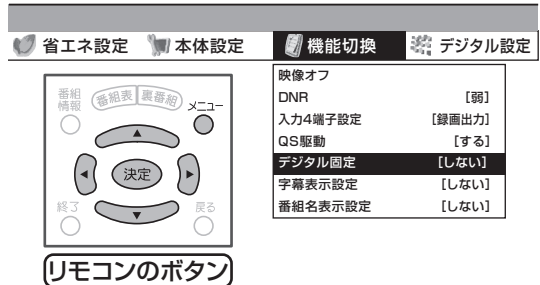
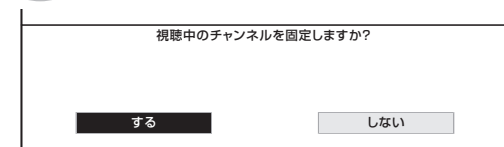
デジタル固定の設定

■「デジタル固定」とは、現在受信しているデジタル放送のチャンネルに固定する機能です。

操作の前に

こんなときに便利です

- デジタル放送の番組を録画しているとき、誤ってチャンネルを変えてしまうのを防ぐことができます。
- デジタル放送の番組を録画しながら他のチャンネルを視聴したりすることができます。
- デジタル固定を「する」に設定しているときは、リモコンで電源を「切」(電源待機状態)にしても、モニター出力／入力4／(録画出力)端子からデジタル放送の映像・音声が出力されますので、録画を続けることができます。

1 固定したいデジタル放送のチャンネルを選局する

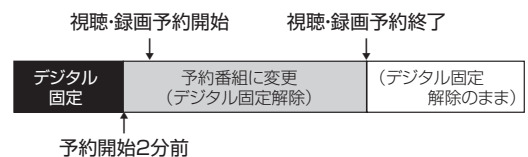
2 メニュー画面から「機能切換」ー「デジタル固定」を選び、決定を押す

3 で「する」を選び、決定を押す

- 視聴中のデジタル放送のチャンネルに固定されます。

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

おしらせ

- デジタル固定中に視聴・録画予約時間の2分前(ビデオ連動録画設定(**110**〜**112**ページ)をシャープ7、8に設定している場合に限り、5分前)になると、デジタル固定が自動的に解除されます。また、視聴・録画予約が終了してもデジタル固定は解除されたままとなります。

- 予約録画実行中やi.LINK入力時は、デジタル固定にできません。
- デジタル放送をビデオデッキで録画する場合は、「デジタル固定」または 予約録画の方法 A (**91**・**110**ページ)で録画することをおすすめします。

入力選択の設定

■ 入力1〜4に外部機器を接続しているとき、複数の映像用端子(例えば、入力1では「D4映像」「映像」の2種類)のどれを使用するかを設定することができます。
■ 工場出荷時の状態では、入力1〜4は「自動」に設定されています。通常の使用方法の場合、特に設定を変更する必要はありません。

入力選択の項目について

■ 入力1〜4のそれぞれにつき、選択できる入力項目はつぎのとおりです。

入力1　入力2

自動
D端子
ビデオ映像

入力3　入力4

自動
S端子
ビデオ映像

■ 入力6の入力選択については、**106**ページを参照してください。

映像入力端子選択の優先順位について

・入力1〜4の入力選択を「自動」に設定したときは、つぎの優先順位で映像入力端子が選択されます。

入力1・入力2　D端子→ビデオ映像
入力3・入力4　S端子→ビデオ映像

［例］外部機器を入力1に接続しているとき、D4映像端子からの入力を選択する

1 入力切換 で「入力1」を選ぶ

・入力1〜入力4は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。
・i.LINKは、機器を接続、選択しているときのみ選べます。

入力切換
テレビ
入力1
入力2
入力3
入力4
入力5
入力6
i.LINK

※入力4は、入力4端子設定を「入力」にしているときのみ選択できます。(**114**ページ参照)

2 メニュー画面から「機能切換」ー「入力選択」を選び、決定を押す

・テレビ、入力5、i.LINK入力のとき、「入力選択」はメニューに表示されません。

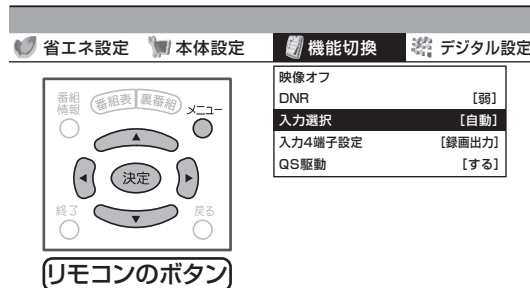
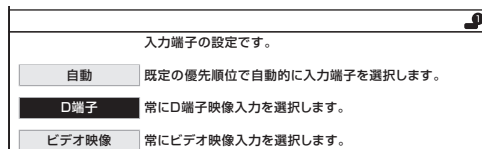
映像オフ	
DNR	[弱]
入力選択	[自動]
入力4端子設定	[録画出力]
QS駆動	[する]

3 決定 で「D端子」を選び、決定を押す

入力端子の設定です。

自動	既定の優先順位で自動的に入力端子を選択します。
D端子	常にD端子映像入力を選択します。
ビデオ映像	常にビデオ映像入力を選択します。

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

・1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

外部機器のなまえを表示させる

■ 入力1～6に接続している外部機器に合わせて、入力切換メニューや画面表示(チャンネルサイン)に表示される機器の名称を選択することができます。
■ 機器の名称をおこのみの名称に変更することもできる「ユーザー設定」があります。

表示できる名称について

入力1／入力2

入力1　※	ビデオ1　※	ビデオ
コンポーネント1　※	コンポーネント	D端子1　※
D端子	CATV	CS
DVD	ゲーム	ムービー
D-VHS	HDD	DVR
BD		

※「入力2」選択時は、入力2　ビデオ2　などの表示になります。

入力3／入力4

入力3　※	ビデオ3　※	ビデオ
CATV	CS	DVD
ゲーム	ムービー	D-VHS
HDD	DVR	BD

※「入力4」選択時は、入力4　ビデオ4　の表示になります。

入力5

(自動)入力5　※	入力5	ビデオ5
ビデオ	HDMI	DVD
DVR	HDD	BD

※(自動)入力5に設定し、入力5(HDMI)端子にAQUOSレコーダーを接続すると、「AQUOSレコーダー」の表示になります。
・ 他メーカーの機器を接続した場合は、表示の内容が変わることがあります。

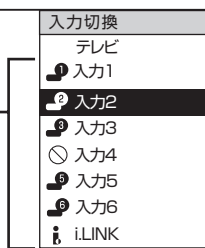
入力6

入力6	ビデオ6	ビデオ
DVI-I	DVD	PC

ゲーム機との接続について
・ ゲームの種類の中で、ピストルを使ったシューティングゲームはできません。

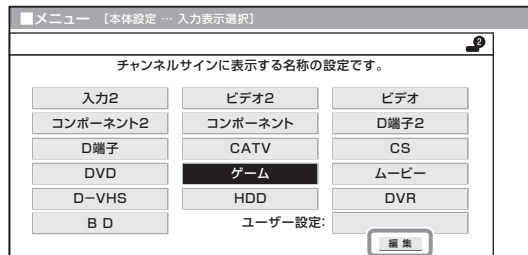
[例] 入力2の表示を「ゲーム」に変える

1 入力切換で「入力2」を選ぶ

• 入力1～入力4は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。
• i.LINKは、機器を接続、選択しているときのみ選べます。

※入力4は、入力4端子設定を「入力」にしているときのみ選択できます。(**114**ページ参照)

2 メニュー画面から「本体設定」－「入力表示選択」を選び、決定を押す

• テレビ入力およびi.LINK入力のとき、「入力表示選択」はメニューに表示されません。

3 で「ゲーム」を選び、決定を押す

ユーザー設定について
• おこのみで機器の名称を入力したいときは、「編集」を選んで決定します。文字入力のしかたについては、**168**ページをご覧ください。
• 入力できる文字数は、全角で5文字まで、半角で10文字までです。

4 メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

• 入力切換ボタンを押すと、入力切換メニューに「2ゲーム」が表示されます。

i.LINK機器を使う

i.LINK(アイリンク)について

■ i.LINKは、i.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのマルチメディア系のデータ転送や、接続した機器の操作ができるシリアル転送方式のインターフェースで、i.LINKケーブル1本で接続することができます。
i.LINKは、IEEE1394の呼称で、IEEE(米国電子電気技術者協会)によって標準化された国際標準規格です。現在、100Mbps/200Mbps/400Mbpsの転送速度があり、それぞれS100/S200/S400と表示されます。本機では最大400Mbpsの転送が可能です。

本機に接続できるi.LINK機器について

■ 本機が対応しているi.LINK機器

- D-VHSビデオデッキ(D-VHS)
- AV-HDDレコーダー(AV-HDD)
- Blu-ray Discレコーダー(BD)
- HDV方式ハイビジョンビデオカメラ(HDV)

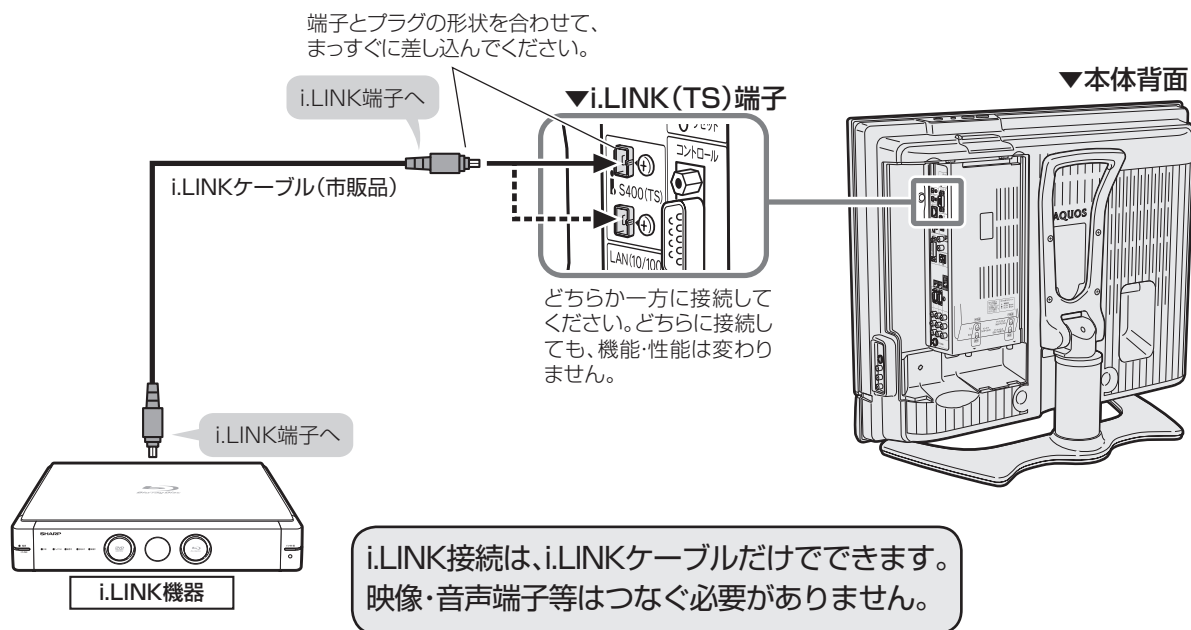
※上記のi.LINK機器でも、機器によっては機器の認識やコントロール、録画や再生ができない場合があります。

※DVDレコーダーやDV機器、PC(パソコン)、PC周辺機器などは、仕様が異なりますので接続できません。

i.LINKで録画できる内容について

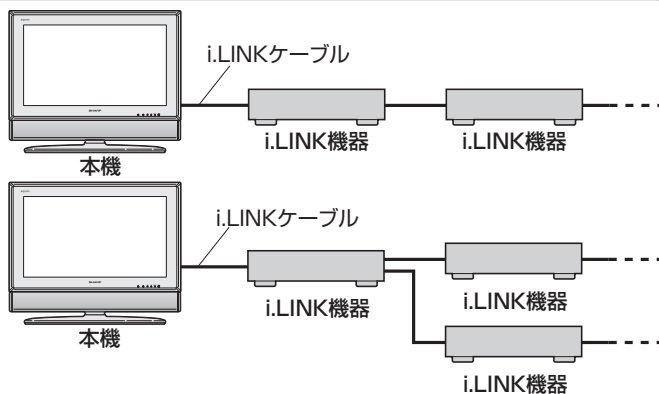
■ 本機とi.LINK機器をi.LINK接続して録画できるのは、**デジタル放送のみ**です。それ以外のテレビ(地上アナログ放送)、外部入力(入力1〜6)は、i.LINK録画ができません。また、ハイビジョンビデオカメラでは、本機のデジタル放送をi.LINK録画することができません。

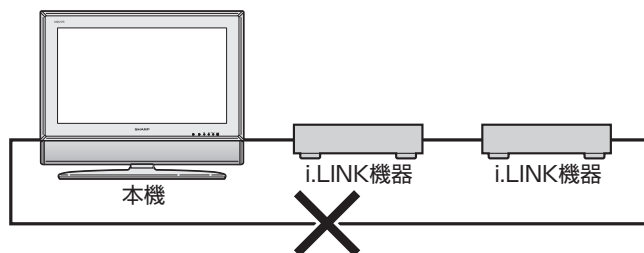
i.LINK接続のしかた

[例] 接続するi.LINK機器が1台の場合

- 接続の際は、「S400」タイプのi.LINKケーブルをご使用ください。

i.LINK機器(D-VHS／AV-HDD／BD)が2台以上のとき

■ i.LINKケーブルを使い、デイジー･チェーン(数珠つなぎ)で接続します。この接続では、i.LINK機器を最大16台までつなぐことができます。

■ i.LINK端子が3つ以上ある機器の場合は、分岐をしてつなぐこともできます。分岐接続する場合は、i.LINK機器を最大62台までつなぐことができます。

接続に関するご注意

- 一部のi.LINK機器では、その機器の電源が切られているとデータを中継できない場合があります。この場合は、その機器を終端に接続してください。
- 図のようなループ(輪)接続をしないでください。
- i.LINK機能使用中は、使用していないi.LINK機器であっても、ケーブルを抜いたり、電源を切ったりしないでください。映像･音声が乱れることがあります。
- DVDレコーダーやDV機器、PC(パソコン)、PC周辺機器など、本機が対応していない機器を同時に接続していると、誤動作することがあります。
- 接続したi.LINK機器の認識やコントロール、録画･再生が正しくできなくなったときは、i.LINKケーブルの抜き差しを行うことで、復帰する場合があります。
- 複数のi.LINK機器を接続して使用する場合、接続機器の仕様や相互接続性により、動作が安定しない場合があります。この場合、使用していない機器の接続を外したり、接続のしかたを変更すると安定する場合があります。

i.LINK機器を操作するための準備について

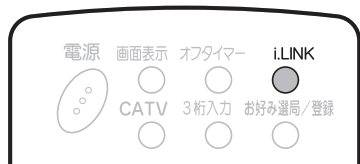
i.LINK操作パネルを表示させる

■i.LINK操作パネルからi.LINK機器を操作するための準備です。

1 本機のi.LINK端子にi.LINK機器を接続し、i.LINK機器の電源を入れる

2 本機の電源を入れる

3 i.LINK を押して、i.LINK操作パネルを表示する

- 詳しくは121ページの「i.LINK機器の選択」をご覧ください。

i.LINK自動切換を設定する

■i.LINKで接続した録画機器を再生状態にしたとき、自動的に入力が「i.LINK」に切り換わるように設定することができます。

1 メニュー画面から「デジタル設定」ー「i.LINK設定」を選び、決定を押す

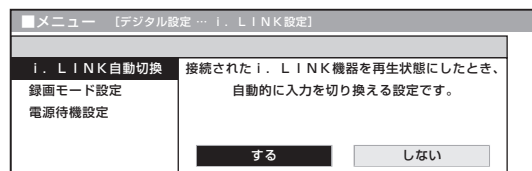
2 で「i.LINK自動切換」を選び、決定を押す

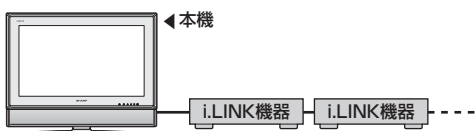
3 で「する」を選び、決定を押す

■メニュー ［デジタル設定 … i．ＬＩＮＫ設定］

ｉ．ＬＩＮＫ自動切換
録画モード設定
電源待機設定

接続されたｉ．ＬＩＮＫ機器を再生状態にしたとき、自動的に入力を切り換える設定です。

する　しない

i.LINK設定について

- 複数のi.LINK機器をi.LINKケーブルで接続した場合、本機の「電源待機設定」を「しない」に設定して電源を待機状態（電源ランプ赤色点灯）にすると、本機を中継して接続されているi.LINK機器間のデータのやりとりができなくなります。本機をi.LINK機器の中間に接続している場合は、本機の「電源待機設定」を「する」に設定するか、下図のように本機をi.LINK機器の末端に接続してください。

- 現在発売されているi.LINK機器のほとんどは、記録している映像･音声の伝送レートを自動認識し録画モードを制御するため、**本機の「録画モード設定」は通常「しない」に設定してください。**
- i.LINK機器の種類や、i.LINK機器で記録しようとしている放送の内容によっては、本機から録画モードを正常に制御できない場合があります。この場合は、本機の「録画モード設定」を「しない」に設定してください。
- 本機の電源が待機状態（電源ランプ赤色点灯）のときは、外部機器からのi.LINK制御コマンドを受けつけることができません。これは「電源待機設定」を「する」に設定しても同じです。外部機器から本機をi.LINK制御する場合は、本機の電源を「入」（電源ランプ緑色点灯）にしてから行ってください。

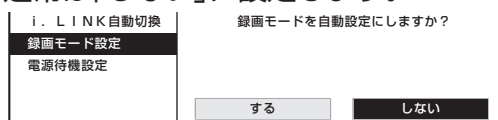
1 メニュー画面から「デジタル設定」ー「i.LINK設定」を選び、決定を押す

録画モードの設定

- 本機には、録画時にi.LINK機器の録画モードを自動的に制御する機能があり、その機能を有効に「する」か「しない」かを選ぶことができます。

2 ① **で「録画モード設定」を選び、決定を押す**

② **で「する」または「しない」を選び、決定を押す**

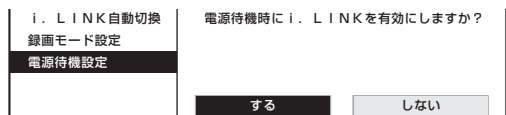
- 通常は「しない」に設定します。

i.LINK電源待機の設定

- 本機では、i.LINK電源待機の設定により電源待機時の消費電力を少なくすることができます。
- i.LINK機器を接続していない場合は、消費電力が小さくなる「しない」を選択してください。

2 ① **で「電源待機設定」を選び、決定を押す**

② **で「する」または「しない」を選び、決定を押す**

「する」……電源待機時にもi.LINK回路を通電し、データの中継ができるようにします。

「しない」…電源待機時の消費電力を少なくします。ただし、データの中継はできません。

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

i.LINK機器の選択と解除について

■ i.LINK機器を選択したり解除するには、機器選択画面から操作を選びます。

i.LINK機器の選択

・本機からi.LINK機器を操作するためには、使用するi.LINK機器を選択する必要があります。
・最大16台のi.LINK機器から、使用する1台を選択できます。
・接続されたi.LINK機器は、自動的に機器選択画面のリストに登録されます。

1 i.LINK ◯ **を押し、i.LINK操作パネルを表示する**

・「操作できるi.LINK機器がありません。」のメッセージが表示されたときは、i.LINK機器が正しく接続されているか確認してください。(**118**ページ参照)
・i.LINK機器が選択されていないときは、機器選択画面になります。手順3に進んでください。

2 で「機器選択」を選び、決定を押す

・機器選択画面が表示されます。

現在選択されている機器のマーク

使用する機器を選んでください

	機器名	メーカー	形名
01	D-VHS	○○	○○○○
02	D-VHS	○○	○○○○
03	D-VHS	○○	○○○○
04	BD	○○	○○○○

3 操作したい機器を

で選び、

を押す

使用する機器を選んでください

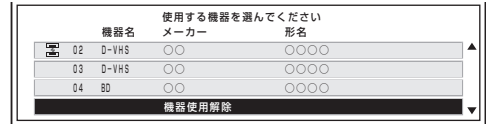
	機器名	メーカー	形名
01	D-VHS	○○	○○○○
02	D-VHS	○○	○○○○
03	D-VHS	○○	○○○○
04	BD	○○	○○○○

・選んだi.LINK機器の操作パネルが表示されます。

i.LINK機器の使用解除

・登録されたi.LINK機器の使用を解除できます。
・i.LINK機器の使用を解除することにより、その機器を別のi.LINK機器から使用できるようになります。

1 「i.LINK機器の選択」の手順1・2を行う

2 で、リストの一番下にある「機器使用解除」を選び、決定を押す

・i.LINK機器の使用が解除されます。

・本機で使用しているi.LINK機器を他のi.LINK機器で使用するためには、本機の機器選択画面から「機器使用解除」を行ってください。

i.LINK機器の登録削除

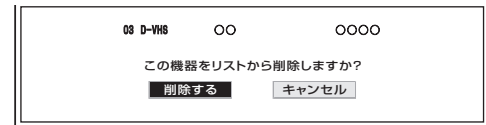
・機器選択画面に登録されているi.LINK機器を、リストから削除できます。
・接続されているi.LINK機器は、削除できません。

1 「i.LINK機器の選択」の手順1・2を行う

2 削除したいi.LINK機器を

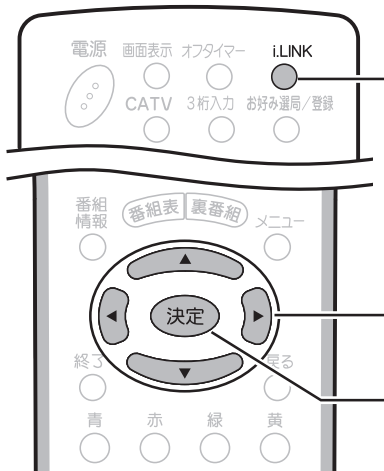
で選び、決定を押す

3 で「削除する」を選び、

を押す

• 選んだi.LINK機器がリストから削除されます。
• 削除しないときは、「キャンセル」を選んで決定ボタンを押します。

・本機で認識することができない機器は、機器選択画面のリストに表示されません。
・接続したi.LINK機器によっては、メーカー名や機器名が正しく表示されないことがあります。
接続したi.LINK機器のメーカー名や機器名が正しく表示されない場合は、i.LINKケーブルを抜き、「i.LINK機器の登録削除」の手順により、一度登録されているi.LINK機器を削除してからi.LINKケーブルを接続し直してください。
・機器選択画面のリスト項目に⃠マークがついているi.LINK機器は、本機が対応していない機器であり、使用することができません。

i.LINK機器の操作のしかた

基本操作

■ i.LINKに対応した録画機器の操作ができます。画面にi.LINK操作パネルを表示させ、パネル上のボタンで操作します。

■ 操作を始める前に、**120**･**121**ページの設定を済ませておいてください。

■ 本機で操作するi.LINK機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

1 **i.LINKボタンを押し、i.LINK操作パネルを表示する**

• 操作パネルを終了するときも、このボタンを押します。

2 **操作したい機能をカーソルボタンで選ぶ**

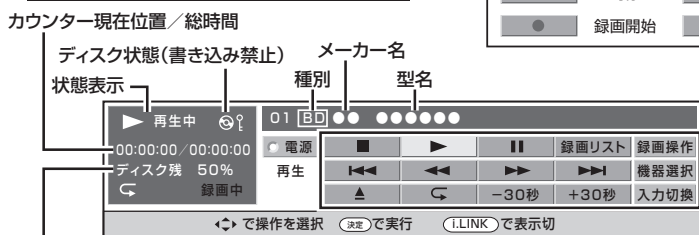
3 **決定ボタンを押し、選んだ機能を実行する**

i.LINK操作パネルの見かた

D-VHSの操作パネル

▼操作ボタンの機能

ボタン	機能	ボタン	機能	ボタン	機能
■	停止	⏮	1つ前に戻って頭出し	機器選択	機器選択画面へ
▶	再生	◀◀	巻戻し	入力切換	入力切換え i.LINK入力とその前の画面（テレビまたは外部入力）との切換えに使用します。
❚❚	一時停止	▶▶	早送り		
●	録画開始	⏭	1つ先に進んで頭出し	電源	電源の入／切

AV-HDD･BDの操作パネル

▼操作ボタンの機能

ボタン	機能	ボタン	機能	ボタン	機能	ボタン	機能
■	停止	⏮	1つ前に戻って頭出し	▲	イジェクト（BDの場合のみ、AV-HDDは非表示）	機器選択	機器選択画面へ
▶	再生	◀◀	巻戻し再生（押すごとに早さが変わります）	リピート	リピート設定（リピート状態では再生状態のときに1つの番組を繰り返し再生します）	入力切換	入力切換え i.LINK入力とその前の画面（テレビまたは外部入力）との切換えに使用します。
❚❚	一時停止	▶▶	早送り再生（押すごとに早さが変わります）	−30秒	30秒後戻し	録画操作	録画操作パネルへ
録画リスト	録画リスト画面へ	⏭	1つ先に進んで頭出し	+30秒	30秒先送り	電源	電源の入／切

録画中表示:録画中の再生操作パネルで表示されます。

• IEEE1394は、米国電子電気技術者協会（IEEE）によって標準化された国際標準規格です。
• i.LINK（アイリンク）とi.LINKロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
• 著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー･プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA（The Digital Transmission Licensing Administrator）というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。このDTLAのコピー･プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像、音声、データにおいて、i.LINKでのデジタルコピーができない場合があります。また、DTLAのコピー･プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、映像、音声、データのやりとりができない場合があります。

D-VHSビデオで録画・再生する

デジタル放送を録画する

■ 以下の操作をする前に、**120**･**121**ページの設定を済ませてください。
■ 本機で操作するi.LINK機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

1 録画したいデジタル放送の番組を選局する

2 i.LINK を押し、i.LINK操作パネルを表示する

3 (上下左右ボタン)で ● (録画ボタン)を選び、決定 を押す

・録画が開始します。
・録画を止めるときは、■(停止ボタン)を選んで決定ボタンを押します。

• 録画中は、リモコンまたは本体天面の入力切換ボタンで「i.LINK」を選ぶことはできません。

録画した番組を再生する

1 i.LINK を押し、i.LINK操作パネルを表示する

2 開始地点まで巻き戻し、(上下左右ボタン)で ▶ (再生ボタン)を選び、決定 を押す

・再生が開始します。
・再生中に特殊再生するときは、▶▶(早送りボタン)、◀◀(巻戻しボタン)、❚❚(一時停止ボタン)を選び、決定ボタンを押します。
・停止するときは、■(停止ボタン)を選んで決定ボタンを押します。

デジタル放送をi.LINKで録画予約したい場合は、**94**･**95**ページをあわせてご覧ください。

おしらせ

D-VHSビデオデッキの録画、再生について

• D-VHSビデオデッキによっては、本機のi.LINK操作パネル上の操作ボタンで操作できなかったり、D-VHSビデオデッキが再生している映像･音声を視聴することができない場合があります。
• D-VHSビデオデッキによっては、VHSテープやS-VHSテープ、またはアナログで記録されているD-VHSテープの再生映像･音声を本機のi.LINK入力で視聴することができない場合があります。この場合は、D-VHSビデオデッキのアナログ出力を本機のアナログ外部入力(入力1〜4)に接続し、本機を外部入力に切り換えてから視聴してください。
• D-VHSビデオデッキのタイマー録画予約中に本機のi.LINK操作パネルで操作すると、タイマー録画予約に失敗することがありますので、D-VHSビデオデッキのタイマー録画予約中はi.LINK操作パネルを操作しないでください。
• 本機のi.LINK操作パネルの録画ボタンによる録画では、本機が受信しているデジタル放送の映像･音声がD-VHSビデオデッキに記録されます。
• 本機で受信しているデジタル放送の映像･音声をD-VHSビデオデッキで記録するときは、D-VHSテープを使用してください。VHSテープやS-VHSテープでは記録することができません。
• 番組の内容によっては、D-VHSビデオデッキで録画･録音ができない場合があります。
• 使用しているD-VHSビデオデッキによっては、特殊再生時(送り再生や戻し再生など)に、映像･音声が出なかったり、映像の品位が悪くなる場合があります。

ハイビジョンビデオカメラで撮影・再生する

ハイビジョンビデオカメラの映像・音声をAQUOSで楽しむ

■ HDV方式のハイビジョンビデオカメラには、「HDVフォーマット」の信号だけでなく、「DVフォーマット」の信号も扱えるものがあります。本機で視聴することができる信号は「HDVフォーマット」で撮影された信号のみです。

本機に接続したハイビジョンビデオカメラの操作パネル

ハイビジョンビデオカメラをビデオモードにしたときの操作パネル

ハイビジョンビデオカメラをカメラモードにしたときの操作パネル

・操作できるボタンは接続している機器により異なります。ボタンが表示されていても、操作できない場合があります。
・ビデオモードとカメラモードの切換えは、ハイビジョンビデオカメラ側の操作により行います。

操作ボタンの機能

ボタン	機能	ボタン	機能	ボタン	機能
■	停止	▶	再生	❚❚	一時停止
◀◀	巻戻し	▶▶	早送り	●	撮影

※ 入力切換ボタンについて

・i.LINK操作パネルの入力切換ボタンは、i.LINK入力とその前の画面（テレビまたは外部入力）との切り換えを行います。

i.LINK自動切換を「する」に設定している場合は、

・ハイビジョンビデオカメラを選択した状態で再生を開始すると自動的にi.LINK入力になります。
・ハイビジョンビデオカメラを選択した状態でハイビジョンビデオカメラをカメラモードに切り換えると、自動的にi.LINK入力になります。

※ 撮影ボタンについて

・i.LINK操作パネルの撮影ボタンは、ハイビジョンビデオカメラのカメラで映している映像・音声の撮影（録画）を開始します。
・本機でテレビや外部入力を視聴しているときは、撮影ボタンは無効になります。

・本機で受信している放送または外部入力をハイビジョンビデオカメラで録画することはできません。
・電子番組表（EPG）から録画予約するとき、ハイビジョンビデオカメラを録画連動機器として選択することはできません。
・ハイビジョンビデオカメラが「DV互換モード」に設定されていると、i.LINK機器選択の画面（**121**ページ）でハイビジョンビデオカメラを選択することができません。詳しくはハイビジョンビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。
・i.LINK操作パネルでハイビジョンビデオカメラの電源操作はできません。
・ハイビジョンビデオカメラの電源が「切」のときは、本機からハイビジョンビデオカメラの操作はできません。

再生する

■ ハイビジョンビデオカメラを本機とi.LINK接続し、本機から操作して再生する手順です。

1 **① ハイビジョンビデオカメラを本機に接続する**
② ハイビジョンビデオカメラを「ビデオモード」にする

- ハイビジョンビデオカメラが「カメラモード」になっていると、ハイビジョンビデオカメラの映像を本機で見ることができません。

2 **リモコンのi.LINKを押し、i.LINK操作パネルを表示する**

3 **決定でi.LINK操作パネル上の ▶（再生ボタン）を選び、決定を押す**

- 再生が始まります。
- 再生中に特殊再生するときは、▶▶（早送りボタン）、◀◀（巻戻しボタン）、II（一時停止ボタン）を選んで、決定を押します。
- 停止するときは、■（停止ボタン）を選んで決定を押します。

- 「DVフォーマット」で撮影された信号は、本機で視聴することができません。
- 「HDVフォーマット」と「DVフォーマット」が混在したテープを使用した場合などにDVフォーマットの信号が本機に入力されることがあります。この場合、「この信号を本機で再生することはできません。HDV機器の設定を確認してください。」というメッセージが表示されます。
- 本機からハイビジョンビデオカメラの頭出し操作はできません。

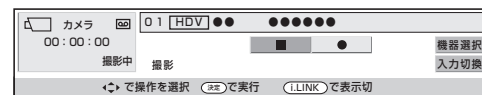
撮影する

■ ハイビジョンビデオカメラを本機とi.LINK接続し、本機から操作して撮影する手順です。

1 **① ハイビジョンビデオカメラを本機に接続する**
② ハイビジョンビデオカメラを「カメラモード」にする

- ハイビジョンビデオカメラを「ビデオモード」から「カメラモード」に切り換えると、自動的にi.LINK入力に切り換わります。

2 **リモコンのi.LINKを押し、i.LINK操作パネルを表示する**

3 **決定でi.LINK操作パネル上の ●（撮影ボタン）を選び、決定を押す**

- 撮影が始まります。
- 停止するときは、■（停止ボタン）を選んで決定を押します。

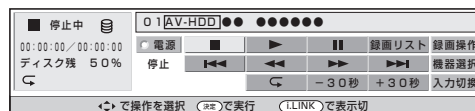
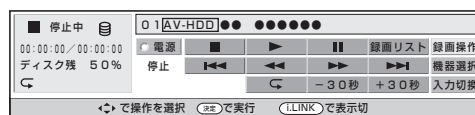
- ハイビジョンビデオカメラによっては、静止画を記録する機能として「フォトモード」を備えたものがあります。ハイビジョンビデオカメラが「フォトモード」になっていると、本機のi.LINK操作パネルでハイビジョンビデオカメラを操作することができません。詳しくはハイビジョンビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。
- ハイビジョンビデオカメラによっては、カメラモードで撮影していない状態のまましばらく放置すると、自動的に待機状態に移行し、i.LINKからの制御を受け付けなくなる機器があります。この場合、本機のi.LINK操作パネルでハイビジョンビデオカメラを操作することはできませんので、ハイビジョンビデオカメラ本体を直接操作してください。
- 本機で受信している放送または外部入力をハイビジョンビデオカメラで録画することはできません。

AV-HDDやBlu-ray Disc レコーダーで録画・再生する

デジタル放送を録画する

■ AV-HDDやBlu-ray Discレコーダーでデジタル放送を録画・再生するための手順です。
■ 以下の操作をする前に、**120**･**121**ページの設定を済ませてください。
■ 本機で操作するi.LINK機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

1 **録画したいデジタル放送の番組を選局する**

2 **i.LINK を押し、i.LINK操作パネルを表示する**

3 **で 録画操作 (録画操作ボタン)を選び、決定 を押す**

4 **で ● (録画ボタン)を選び、決定 を押す**

・録画が開始します。
・録画を止めるときは、録画停止 (録画停止ボタン)を選んで決定ボタンを押します。

・録画中はi.LINK操作パネルの再生ボタンと録画リストボタン、および入力切換ボタンを操作できません。また、リモコンまたは本体天面の入力切換ボタンで｢i.LINK｣を選ぶことはできません。

録画した番組を再生する

・ディスク機器の場合、録画が終了すると録画リストが作成されますので、複数の録画番組から再生したい番組を選ぶことができます。(**127**ページ)

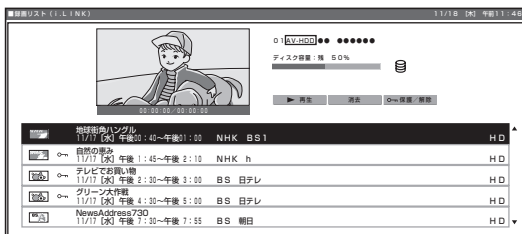
デジタル放送を i.LINK で録画予約したい場合は、**94**・**95** ページをあわせてご覧ください。

録画した番組を再生する

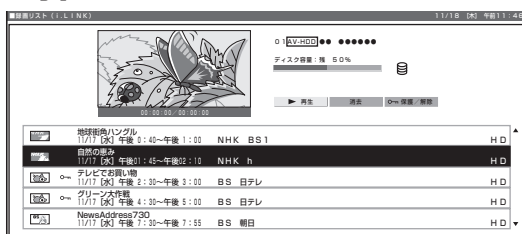
■ ディスク機器の場合、録画リストから再生する番組を選ぶことができます。

1 i.LINK を押し、i.LINK操作パネルを表示する

■ 停止中
00:00:00／00:00:00
ディスク残 50%
01 AV-HDD ●● ●●●●●●
電源 ■ ▶ ❚❚ 録画リスト 録画操作
停止 ⏮ ◀◀ ▶▶ ⏭ 機器選択
－30秒 ＋30秒 入力切換
で操作を選択 決定で実行 i.LINKで表示切

2 で 録画リスト (録画リストボタン)を選び、決定を押す

・録画リストが表示されます。
・録画中は、i.LINK操作パネルの録画リストボタンを操作できません。録画リストボタンの操作は、録画を停止してから行ってください。

3 ① で再生したいタイトルを選び、決定を押す

② で「再生」を選び、決定を押す

・再生中に特殊再生するときは、▶▶(早送りボタン)、◀◀(巻戻しボタン)、❚❚(一時停止ボタン)を選び、決定ボタンを押します。
・停止するときは、■(停止ボタン)を選んで決定ボタンを押します。

おしらせ

AV-HDDレコーダー(i.LINK)の録画、再生について

- AV-HDDレコーダーによっては、本機のi.LINK操作パネル上の操作ボタンで操作できなかったり、AV-HDDレコーダーが再生している映像・音声を視聴できない場合があります。
- 本機のi.LINK操作パネルの録画ボタンによる録画では、本機が受信しているデジタル放送の映像・音声がAV-HDDレコーダーに記録されます。
- 番組の内容によっては、AV-HDDレコーダーで録画・録音ができない場合があります。
- AV-HDDレコーダーによっては、特殊再生時(送り再生や戻し再生)に、映像・音声が出なかったり、映像の品位が悪くなる場合があります。
- AV-HDDレコーダーによっては、録画中の再生、および録画中の録画リスト画面の表示などの機能を操作できない場合があります。
- AV-HDDレコーダーによっては、他のi.LINK機器に切り換えたときに自動的に再生を停止する場合があります。
- AV-HDDレコーダーによっては、機器の動作モードがD-VHSモードのとき、AV-HDDレコーダーはD-VHSビデオデッキとして認識されます。

Blu-ray Discレコーダー(i.LINK)の録画、再生について

- Blu-ray Discレコーダーによっては本機のi.LINK操作パネル上の操作ボタンで操作できなかったり、Blu-ray Discレコーダーが再生している映像・音声を視聴できない場合があります。
- 本機のi.LINK操作パネルの録画ボタンによる録画では、本機が受信しているデジタル放送の映像・音声がBlu-ray Discレコーダーに記録されます。
- 番組の内容によっては、Blu-ray Discレコーダーに録画・録音ができない場合があります。
- Blu-ray Discレコーダーによっては、特殊再生時(送り再生や戻し再生)に、映像・音声が出なかったり、映像の品位が悪くなる場合があります。
- Blu-ray Discレコーダーによっては、録画中の再生、および録画中の録画リスト画面の表示などの機能を操作できない場合があります。
- Blu-ray Discレコーダーによっては、他のi.LINK機器に切り換えたときに自動的に再生を停止する場合があります。
- Blu-ray Discレコーダーが搭載しているチューナーやアナログ外部入力をBlu-ray Discレコーダー単体で記録した場合、Blu-ray Discレコーダーの設定によっては、音声がAC3フォーマットで記録されることがあります。本機はAC3フォーマットに対応していないため、このようなコンテンツを本機とi.LINK接続して再生した場合、音声が出力されません。

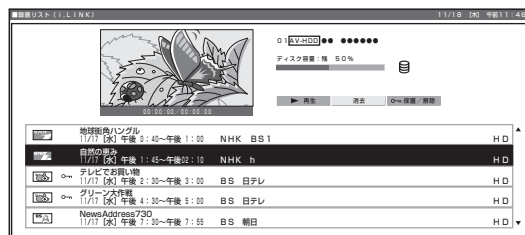
録画した番組の消去・保護について

■ 録画リストから録画番組の保護や消去の操作ができます。

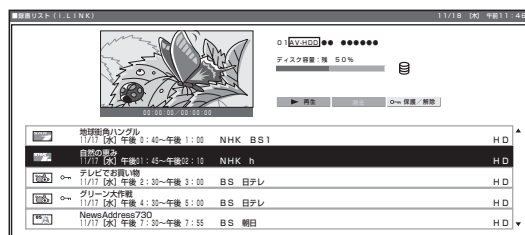
録画した番組を消去する

1 127ページの手順1・2を行い、録画リストを表示する

2 (▲▼)で消去する番組を選び、(決定)を押す

3 (◀▶)で「消去」を選び、(決定)を押す

録画した番組を保護する

1 127ページの手順1・2を行い、録画リストを表示する

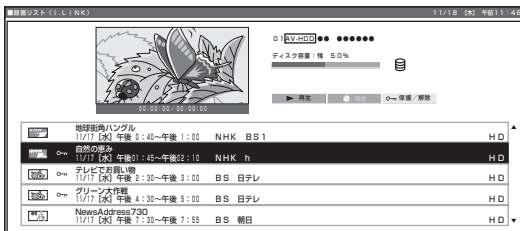
2 (▲▼)で消去禁止(保護)する番組を選び、(決定)を押す

3 (◀▶)で「保護/解除」を選び、(決定)を押す

・選んだタイトルに鍵マークが表示され、消去禁止(保護)されたことが分かります。

保護を解除する

1 **127ページの手順1･2を行い、録画リストを表示する**

2 **鍵マークのあるタイトルを選び、決定を押す**

3 **◀▶で「保護／解除」を選び、決定を押す**

・選んだタイトルの鍵マーク表示が消え、保護が解除されたことが分かります。

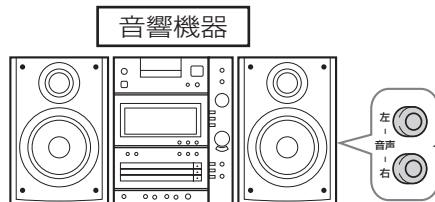
録画リストについて

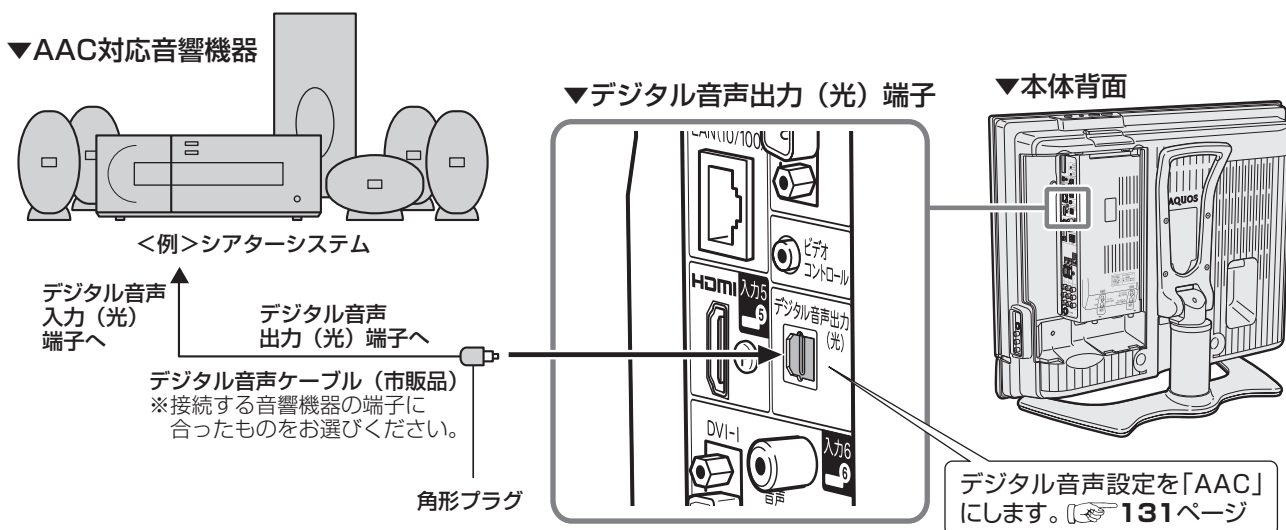
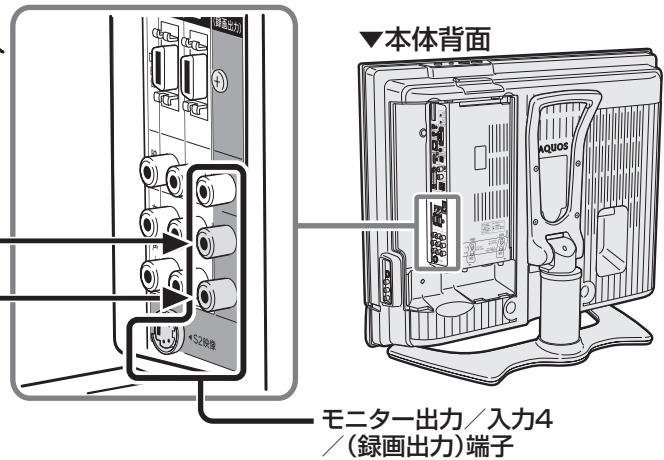
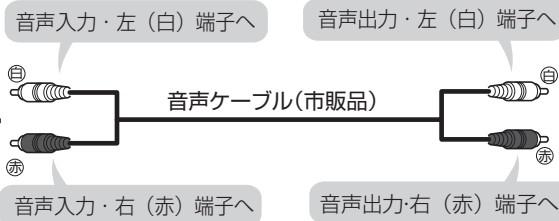
- 接続している機器によっては、再生小画面にカーソルで選択している番組の映像･音声が表示されない場合があります。
- 録画中に録画リストを表示することはできません。
- タイトルに表示されている番組情報（番組名や日時）は、録画開始した時点の放送の番組情報から取得して記録したものを表示しています。
- 複数の番組を続けて録画した場合には、最初に録画開始した時点の番組情報が表示されます。
- 録画リストに表示される再生小画面では、データ放送の操作はできません。
- 選局直後に録画開始した場合、タイトルの番組情報が記録されない場合があります。
- 他の機器で録画した番組の場合、タイトルの番組情報が正しく表示されない場合があります。
- 本機には、録画したタイトルを編集する機能はありません。
- Blu-ray Discレコーダーによっては、録画したタイトルを編集する機能があり、編集されたタイトルには、プレイリストマーク「★」が表示されます。（編集されたタイトルは、「プレイリスト」と呼ばれます。）
- プレイリストの場合、本機による消去と保護／解除ができません。

音響機器をつないで音声を楽しむ

アナログ音声の音響機器を接続する

■ 本体背面のモニター出力／入力4／(録画出力)端子(「モニター出力(固定または可変)」に設定時)は、録画機器をつなぐ使いかた(**108**ページ参照)以外に、お手持ちの音響機器をつないで音声を楽しむなどの使いかたができます。

- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。
- モニター出力の音声端子(「モニター出力」に設定時)から出力される音声の出力レベルを「固定」にするか「可変」にするか選択することができます。操作のしかたなど、詳しくは**114**ページをご覧ください。

デジタル音声(光)の音響機器を接続する

■ 本機のデジタル音声出力(光)端子は、MPEG2 AAC音声フォーマットを出力することができます。AAC対応の音響機器を接続すると、サラウンド放送の番組を迫力ある音声で楽しめます。

デジタル音声出力(光)端子の設定について

■ 本機背面のデジタル音声出力(光)端子の出力信号形式を、接続する音響機器に合わせて選択できます。

- 接続する機器がAAC／PCMの自動切換えに対応していない場合は、機器側の設定を手動で切り換えてください。
- 「AAC」に設定した場合でも、地上アナログ放送(VHF、UHF)やCATV放送の音声、ビデオ入力の音声は、「PCM」で出力されます。
- 「AAC」に設定した場合、字幕放送や一部のデータ放送の音声が出力されません。

- 詳しくは、接続する音響機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続する前に本機と音響機器の電源を切ってください。
- 本機では通常、デジタル音声出力の内容はスピーカー音声出力の内容と同じです。
- テレビの画面が消えている場合は、デジタル音声出力(光)端子からは出力されません。

1 メニュー画面から「デジタル設定」ー「デジタル音声設定」を選び、決定を押す

2 接続する機器に合わせて「PCM」または「AAC」を▲▼で選び、決定を押す

「PCM」… 音声AACに対応していない音響機器に接続するとき
視聴音声と同じもの(主、副、または主／副)が出力されます。

「AAC」… 音声AAC対応のAVアンプなどに接続するとき
主と副の両方の音声(主／副)が同時に出力されます。

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は戻るを押してください。

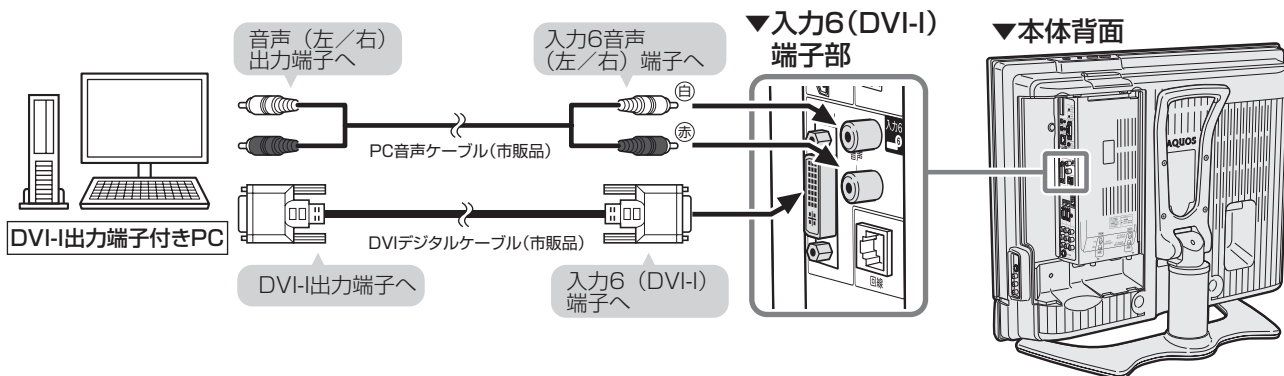
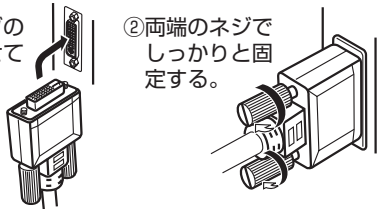
録画や再生などの機器の接続

音響機器をつないで音声を楽しむ

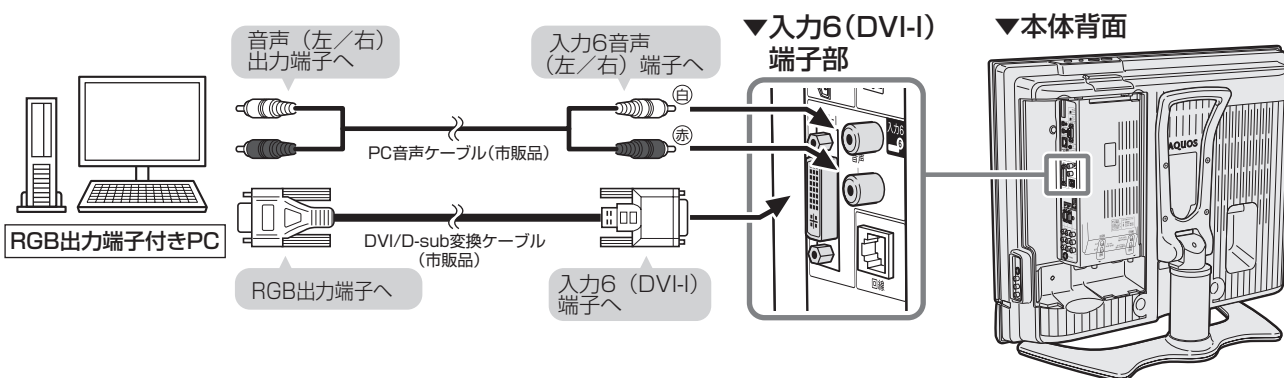
PC(パソコン)の画面を表示する

接続について

DVI-I出力端子付きPCとの接続(デジタル接続)

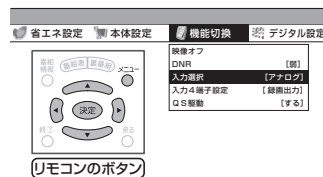
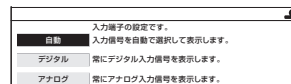
■ DVI-I出力端子付きPCの画像と音声を入力します。

DVIデジタルケーブルの取扱いについて

・本機のDVI-I端子はHDCP(コピープロテクト機能)に対応しています。

RGB出力端子付きPCとの接続(アナログ接続)

■ RGB出力端子付きPCの画像と音声を入力します。

入力6に接続した機器に合わせて端子を設定する

- PC接続時の入力対応信号については、**133**ページの「PC入力対応表」をご覧ください。
- 対応された信号で正しく表示されない場合は、右の手順に従い、接続した信号に合わせて、入力6を「アナログ」または「デジタル」に設定してください。通常は「自動」のままでかまいません。

① 入力切換 を押し、「入力6」を選ぶ
②メニュー画面から「機能切換」ー「入力選択」を選び、

決定 を押す

③ で「入力6」に接続した機器を選び、決定 を押す

PC入力対応表

■ 本機が対応しているPC入力です。

解像度		水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	VESA規格
VGA	720×400	31.5	70	
	640×480	31.5	60	○
		37.9	72	○
		37.5	75	○
SVGA	800×600	35.1	56	○
		37.9	60	○
		48.1	72	○
		46.9	75	○
XGA	1024×768	48.4	60	○
		56.5	70	○
		60	75	○
WXGA	1360×768	47.7	60	○
SXGA	1280×1024	64	60	○

- PC接続時の表示設定は、自動同期調整で最良に近い状態に設定されます。(自動同期調整……**135**ページ参照)
- PC入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。画面サイズの種類については、**134**ページ「**PC入力の画面サイズの種類と切換えについて**」をご覧ください。
- 左記対応表の信号についても対応していない場合があります。

入力解像度の選択について

■ PC入力時、入力信号によっては画面が正しく表示されない(縦横比が正しく表示されない、一部が切れるなどの)場合があります。この場合、入力解像度を手動で選択してください。

■ 入力された信号が下記の解像度の場合は自動的に判別ができません。このときは、「入力解像度」の設定で、どの信号(解像度)として表示するかを手動で選択します。一度選択すると、それ以降、同じ信号が入力されたとき、最後に選択した信号(解像度)として表示します。

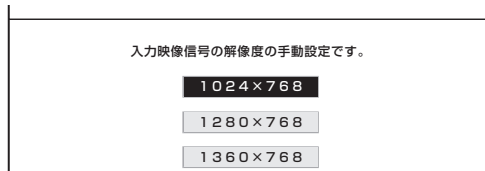
1024×768　1280×768　1360×768

※ 垂直ライン数(非表示期間を含む)が特殊な一部の信号の場合は、解像度を正しく判別できないことがあります。

1 入力切換 **をくり返し押し、入力6(PC入力)にする**

2 **メニュー画面から「本体設定」ー「入力解像度」を選び、**決定**を押す**

3 **で入力解像度を選び、**決定**を押す**

(画面例)

操作終了する場合は

メニュー **または** 終了 **を押し、通常画面に戻す**

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

PC入力の画面サイズの種類と切換えについて

■ PC(パソコン)を接続しているときの画面サイズの種類と切換え方法です。

Dot by Dot(ドット・バイ・ドット)とは

・接続したPC(パソコン)からの入力信号の解像度どおりのパネル画素数で表示する機能です。(**133**ページ「**PC入力対応表**」参照)

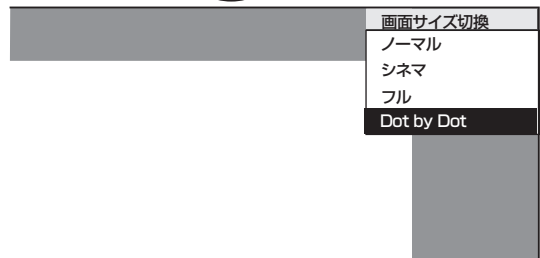
・縦横比16:9の映像が入力されたときの表示サイズについては、**「入力解像度の選択について」**(**133**ページ)をご参照ください。

●操作を行う前に、本機とPC(パソコン)を接続しておいてください。(**132**ページ参照)

1 **入力切換を押し、入力6(PC入力)を選ぶ**

2 **画面サイズを押し、画面サイズ切換メニューを表示する**

・メニュー表示中につぎの操作を行います。

3 **画面サイズまたは◀▶で、お好みの画面サイズを選び、決定を押す**

・PC信号がSXGAのときは「Dot by Dot」は選べません。

■**つぎの画面サイズから選択できます。**(入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。)

入力信号	ノーマル	シネマ	フル	Dot by Dot
4:3映像 640×480、800×600 1024×768 1280×1024など	入力信号の縦横比をくずさずに、画面いっぱいに映します。	入力信号の縦横比をくずさずに、画面の左右いっぱいまで拡大して映します。映像の上下が切れます。	画面いっぱいに映します。	入力信号の解像度どおりのパネル画素数で映します。
16:9映像 1280×768 1360×768など			画面いっぱいに映します。	入力信号の解像度どおりのパネル画素数で映します。

自動同期調整で最適な画面にする

■「自動同期調整」は、PC(パソコン)をアナログ接続しているときにメニューで選ぶことができます。

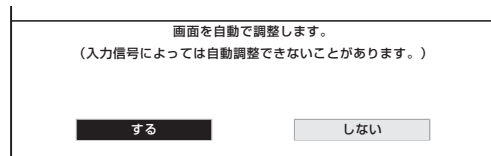
「自動同期調整」とは

・最適なコンピューター画面表示を得るための調整機能です。自動的にクロック周波数、クロック位相などが調整されます。

● 操作を行う前に、本機とPC(パソコン)を接続しておいてください。(**132**ページ参照)

1 入力切換を押し、入力6(PC入力)を選ぶ

2 メニュー画面から「本体設定」ー「自動同期調整」を選び、決定を押す

3 ◀▶で「する」を選び、決定を押す

• 「自動同期調整中」が表示され、自動同期調整が実行されます。
• 自動調整が終了すると、「映像を調整しました。」と表示されます。
正常に終了しないと、何も表示されずメニューに戻ります。

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

• 1つ前に戻る場合は戻るを押してください。

・つぎのような映像信号では自動調整により最適な画面にならないことがあります。
ー動きのある映像
ー画面全体が1色になっているなど、起伏の少ない映像
・映像信号、PCによっては自動調整だけでは最適な画面にならないことがあります。その場合は、手動で調整してください。(**136**ページ参照)
・入力信号によっては、入力解像度を手動で選択する必要がある場合があります。(**133**ページ参照)

PC(パソコン)の画面を表示する(つづき)

手動で最適な画面に調整する

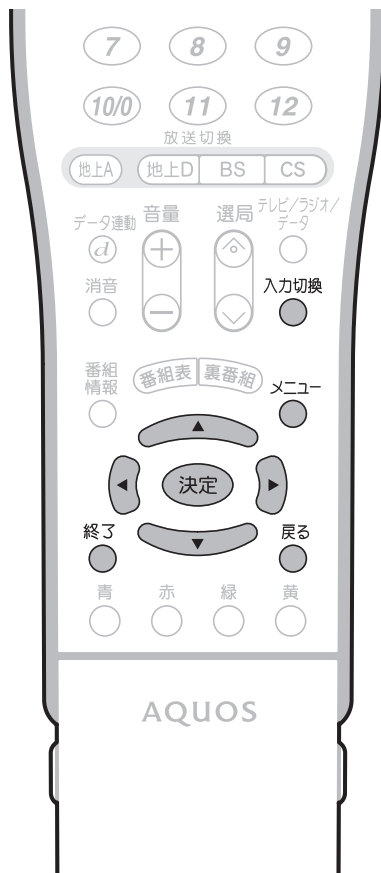
■「画面調整」は、PCを接続しているときにメニューで選ぶことができます。

「画面調整」とは

- コンピューター画面の表示位置や映り具合を最適化するための機能で、つぎの調整項目があります。
  「水平位置」…… 画像が右寄り、または左寄りの状態にあるときに調整します。
  「垂直位置」…… 画像が上がり過ぎ、または下がり過ぎの状態にあるときに調整します。
  「クロック周波数」… 縦じま状のチラツキがあるときに調整します。※
  「クロック位相」… 文字などを表示したときに、映像のチラツキが出たり、コントラストがつかないときに調整します。※

※「クロック周波数」、「クロック位相」は、PCからアナログ信号を入力している場合のみ設定できます。

工場出荷時の設定に戻したいとき

おしらせ

- 手順**3**の①で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。

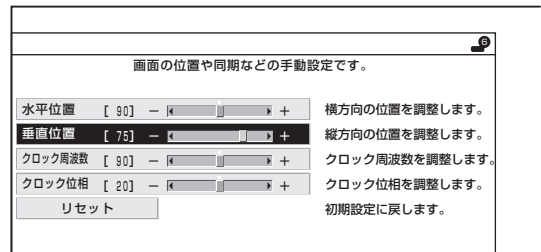
[例] 画面の垂直位置を調整する

1 ① **本機とPC(パソコン)の接続を確認する(132ページ参照)**

② **入力切換を押し、入力6(PC入力)を選ぶ**

2 **メニュー画面から「本体設定」ー「画面調整」を選び、決定を押す**

3 ① **▲▼で「垂直位置」を選ぶ**

② **◀▶で適切な位置に調整する**

各項目の調整範囲

項目	範囲
水平位置	0 ～ 180
垂直位置	0 ～ 100
クロック周波数	0 ～ 180
クロック位相	0 ～ 40

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

省エネ機能を設定する

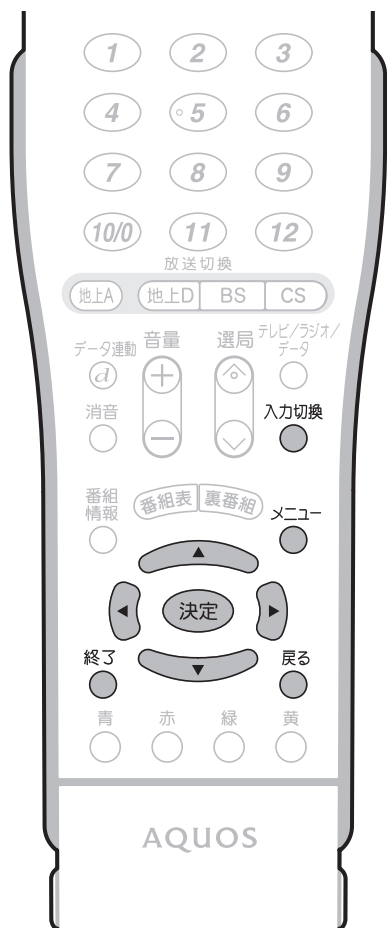
■ PC入力のとき、映像信号がなくなってからしばらくすると自動的に電源が切れるように設定することができます。(パワーマネージメント)

※「パワーマネージメント」は、入力6を選択しているときに選ぶことができます。

しない
パワーマネージメントを行いません。

モード1
無信号になったとき、約8分後に自動的に電源が切れる機能です。
電源が切れる5分前から、画面左下に残り時間が表示されます。

パワーマネージメント　残り　5分

モード2
無信号の状態が8秒続くと、自動的に電源が切れる機能です。
この機能で電源が切れたときは、PCの映像信号が入力されると電源が入ります。

[例]　パワーマネージメントを「モード1」に設定する

1 ① **本機とPC(パソコン)の接続を確認する(132ページ参照)**
② **入力切換を押し、入力6(PC入力)を選ぶ**

2 **メニュー画面から「省エネ設定」ー「パワーマネージメント」を選び、決定を押す**

3 **で「モード1」を選び、決定を押す**

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

• 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

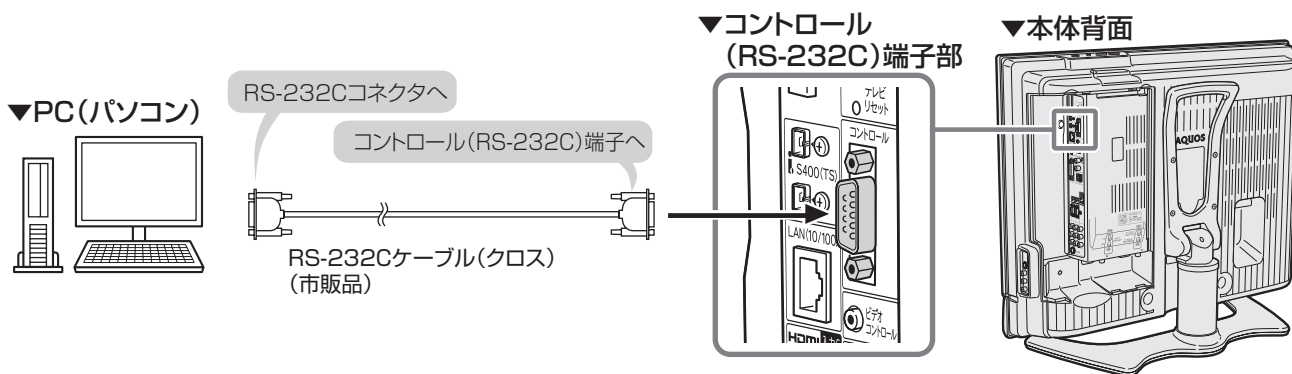
おしらせ

• パワーマネージメントを「モード２」に設定しているとき、コンセントを抜くなどして電源をしゃ断すると、再度電源を復帰させても正常に機能しない場合があります。このときは、リモコンの電源ボタンを押してください。
• デジタルPC入力時、パワーマネージメントを「モード２」に設定した場合、スタンバイ状態に入った後に映像信号が入力されても自動復帰しないことがあります。

PC(パソコン)による本機の制御について

この操作システムはPC(パソコン)を使い慣れたかたのご利用をお願いいたします。

■ターミナルソフトなどを利用して、RS-232Cコネクタでつないだ PC(パソコン)から本機を制御することができます。チャンネル切換え、入力切換え、音量調整などの操作を行うことができます。
■接続には、市販のRS-232Cケーブル(クロス)をご用意ください。

接続のしかた

通信仕様

■PC側のRS-232C通信仕様を、本機の通信仕様に合わせてください。
■本機の仕様は、以下のとおりです。

ボーレート	9600bps
データ長	8ビット
パリティ	なし

ストップビット	1ビット
フロー制御	なし

通信手順

■PCからRS-232Cコネクタを通じて、制御コマンドを送信します。本機は、送られたコマンドに応じて動作し、レスポンスメッセージをPC側に送ります。
■複数のコマンドを同時に送信しないでください。正常時のレスポンス(OK)を受けとってから、つぎのコマンドを送信するようにしてください。

コマンド(PCから本機へ)

レスポンス(本機からPCへ)

・正常時

・異常発生時(通信エラーまたはコマンドに誤りがあったとき)

RS-232Cコマンド一覧

■下の表に掲載されている以外のコマンドについては動作保証範囲外です。

機　能		“A”part	“B”part	Part動作説明	備　考
電源		POWR	0		スタンバイへ移行
入力切換	トグル	ITGD	−※1※2	（トグル）	トグルで入力切換(入力切換ボタンと同じ)
	テレビ	ITVD	−		テレビに入力切換(チャンネルはそのまま[ラストメモリー])
	入力1〜6	IAVD	1〜6※2	（入力端子番号）	入力1〜入力6に入力切換
	i.LINK	LINK	−		i.LINKに入力切換
	放送切換（デジタル）	IDEG	−	（トグル）	デジタル放送のネットワーク切換
チャンネル切換	地上アナログ	CAIR	1〜20	テレビのチャンネル番号	UV表示でなかったら入力切換含む(リモコン番号選択)
	CATV	CATV	13〜63	CATVのチャンネル番号	CATV表示でなかったら入力切換含む
	BSデジタル3桁入力	CBSD	0〜999	BSデジタルチャンネル番号	デジタル放送表示でなかったら入力切換含む
	CS1デジタル3桁入力	CCSD	0〜999	CS1デジタルチャンネル番号	デジタル放送表示でなかったら入力切換含む
	CS2デジタル3桁入力	CCSD	0〜999	CS2デジタルチャンネル番号	デジタル放送表示でなかったら入力切換含む
	地上デジタル	CTBD	0〜999	地上デジタルチャンネル番号	枝番入力が必要な場合にはラスト枝番、同一チャンネル選択時は順に枝番を選択
	選局順	CHUP	−	テレビのチャンネル番号＋1	リモコン選局順と同じ動作(入力切換含む)
	選局逆	CHDW	−	テレビのチャンネル番号−1	リモコン選局逆と同じ動作(入力切換含む)
入力選択	入力1	INP1	0	自動	入力切換含む。入力5、入力6以外で有効
	入力2	INP2	1	D端子	入力1、入力2のみ有効
	入力3	INP3	3	S端子	入力3、入力4のみ有効
	入力4	INP4※3	4	ビデオ映像	入力5、入力6以外で有効
	入力5	INP5	5	デジタル	入力6のみ有効
	入力6	INP6	6	アナログ	入力6のみ有効
AVポジション		AVMD	0	（トグル）	現在選択できるものの中でトグル動作
			1	標準	
			2	映画	
			3	ゲーム	
			4	AVメモリー	
			5	ダイナミック固定	
			6	ダイナミック	
			7	PC	
音量		VOLM	0〜60	音量値	
位置調整・画面調整	水平位置	HPOS	−10〜+10	移動値	テレビ／AV入力時
			0〜180	移動値	PC入力時
	垂直位置	VPOS	−20〜+20	移動値	テレビ／AV入力時
			0〜100	移動値	PC入力時
	クロック周波数	CLCK	0〜180	移動値	PC入力時のみ有効
	クロック位相	PHSE	0〜40	移動値	PC入力時のみ有効
画面サイズ		WIDE	0	（トグル）	
			1	ノーマル	(AV系／PC系)
			2	スマートズーム	(AV系)
			3	ワイド	(AV系)
			4	シネマ	(AV系／PC系)
			5	フル	(AV系／PC系)
			6	フル1	(AV系1125i)
			7	フル2	(AV系1125i)
			8	アンダースキャン	(AV系1125i以上)
			9	Dot by Dot	(PC系)
消音		MUTE	0	（トグル）	消音オン、オフのトグル
			1	消音	
			2	消音解除	
サラウンド		ACSU	0	（トグル）	トグル動作
			1	入	
			2	切	
音声切換		ACHA	−	（トグル）	
オフタイマー		OFTM	0	解除	
			1	オフタイマー30分	
			2	オフタイマー1時間	
			3	オフタイマー1時間30分	
			4	オフタイマー2時間	
			5	オフタイマー2時間30分	

※1 “B”part欄の「−」はスペースを意味します。
※2 入力4は、入力4端子設定が「入力」に設定されているときのみ有効。
※3 入力4端子設定が「入力」に設定されているときのみ有効。

通信内容

■ 通信設定

ボーレート	9600bps
データ長	8ビット
パリティ	なし

ストップビット	1ビット
フロー制御	なし

■コマンド形式

アスキー8文字+CR

"A" part......コマンド(テキスト4文字)
"B" part......引数(0〜9、ー、空白、?)

■ 引数

"B"partには左詰めで入力し、残りはスペースで埋めます。(必ず4文字になるようにしてください。)
設定可能範囲外の場合、「ERR」が返ります。(「返り値」参照)
表中で引数が「ー」になっているものは、数値であれば何を書いてもかまいません。

0			

0	0	0	9

ー	3	0	

1	0	0	

0	0	5	5

いくつかのコマンドは、引数に「?」を与えることにより、現在の設定値を返します。

?			

?	?	?	?

■ 返り値

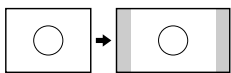
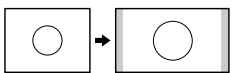
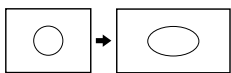
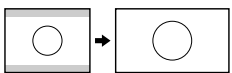
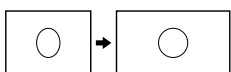
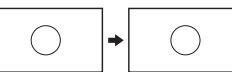
コマンドの実行が終了したら、下記戻り値を返します。

O	K	(CR)

コマンドが実行できなかったり、コマンド表になかったりした場合は、下記戻り値を返します。

E	R	R	(CR)

画面や映像・音声の調整

ページ

画面サイズを設定する前に

画面サイズについて

■ 手動でお好みの画面サイズを選べるだけでなく、放送やソフトの内容によって画面サイズが自動的に切り換わるように設定することができます。

■ つぎの6つの画面サイズから選択できます。

ノーマル	スマートズーム
通常のテレビ(4:3サイズ)の映像をそのまま映します。	通常の4:3映像をより自然に拡大して映します。
ワイド	**シネマ**
通常の4:3映像を画面いっぱいに映します。	シネスコまたは16:9サイズの映画ソフトを画面いっぱいに映します。
フル	**アンダースキャン**
16:9から4:3に圧縮された映像をもとの16:9に戻して画面いっぱいに映します。	入力信号どおりの映像で映します。 16:9　16:9

画面サイズの設定には手動と自動があります。
- 手動で選ぶ→画面サイズボタンで切り換えます。
- 自動設定→オートワイド機能で設定します。

■ 選択できる画面サイズは、映像の種類によって異なります。

映像の種類	選択できる画面サイズ
525i 地上アナログ放送 ビデオ映像など 525p	→ノーマル →スマートズーム →ワイド →シネマ →フル →(ノーマルへ戻る)
1125i ハイビジョン	→フル1(1080i)※ →フル2(1035i)※ →アンダースキャン →スマートズーム →ワイド →シネマ →(フル1へ戻る)
750p ハイビジョン	→フル →アンダースキャン →スマートズーム →ワイド →シネマ →(フルへ戻る)

画面表示▶

映像の種類

※1080iと1035iは、本機の画面表示(チャンネルサイン)ではどちらも「1125i」と表示されます。

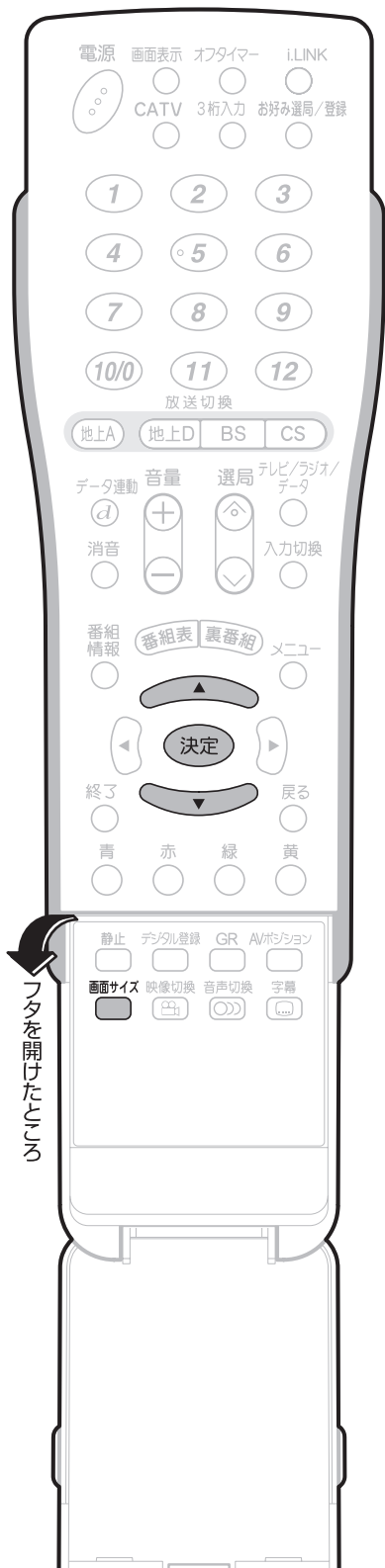
オートワイド機能について

- 画面サイズ制御信号を識別して、ディスプレイに表示される画面サイズを自動で設定する機能です。
  (☞**144**ページ)

- 本機の画面サイズ切換え機能を使うとき、テレビ番組やビデオソフトなど、オリジナル映像の画面比率と異なる画面サイズを選択すると、本来の映像とは見えかたが変わります。この点にご留意の上、画面サイズをお選びください。
- ワイド映像でない通常(4:3)の映像を、画面サイズ切換え機能を利用して画面いっぱいに表示してご覧になると、画像周辺部分が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像をご覧になるときは、画面サイズを「ノーマル」にしてください。
- 画面サイズ変更前の映像信号の縦横比によっては、「シネマ」に切り換わっても画面の上下に黒い帯が残る場合があります。
- 市販ソフトによっては、字幕など画像の一部が欠けることがあります。このようなときは、画面サイズ切換え機能で最適なサイズに切り換え、位置調整(**146**ページ)で垂直位置を調整してください。このとき、ソフトによっては画面の端や上部にノイズや曲がりが生じることがありますが、故障ではありません。
- テレビを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等にて、画面サイズ切換機能(オートワイド機能を含む)を利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

画面サイズを設定する

画面サイズを手動で設定する（テレビ／ビデオ入力時）

■ 本機は手動でお好みの画面サイズを選ぶことができます。

1 **リモコンフタ内の画面サイズを押し、画面サイズ切換メニューを表示する**

• 表示中につぎの操作を行います。

2 **画面サイズまたは▲▼で、お好みの画面サイズを選ぶ**

• 映像の種類により、表示される画面サイズの種類は異なります。

3 **決定を押す**

自動的に最適な画面サイズに設定する(オートワイド機能)

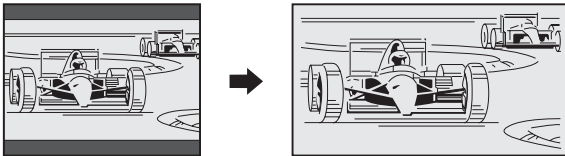
■ オートワイドとは、受信している放送や外部入力されたソフトの映像を自動的に最適な画面サイズに切り換える機能です。

■ オートワイド機能には4つの項目があります。詳しくは次のページをご覧ください。各項目はメニューの操作で設定します。

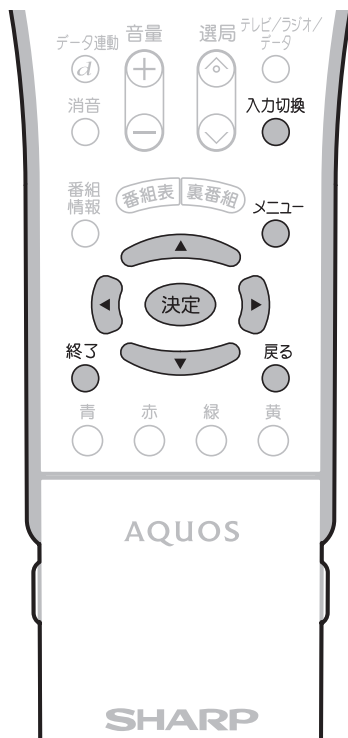
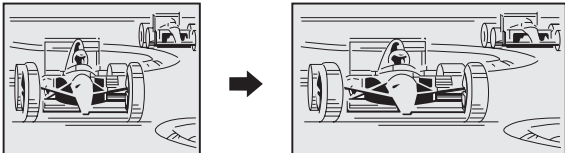
※ オートワイド機能は、デジタル放送視聴時には選択できません。

オートワイド機能を働かせたときの画面表示例

上下に黒い帯の入った映像

・映像判別　・D端子識別
・S2対応　・HDMI識別

横方向に圧縮された映像(スクイーズ映像)

・S2対応　・D端子識別　・HDMI識別

1

•「S2対応」を設定する場合は

入力切換を押し、S端子ケーブルを接続している入力(3または4)を選びます。

•「D端子識別」を設定する場合は

入力切換を押し、D端子ケーブルまたはD-コンポーネント変換ケーブルを接続している入力(1または2)を選びます。

•「HDMI識別」を設定する場合は

入力切換を押し、入力5を選びます。

2 メニュー画面から「本体設定」ー「オートワイド」を選び、決定を押す

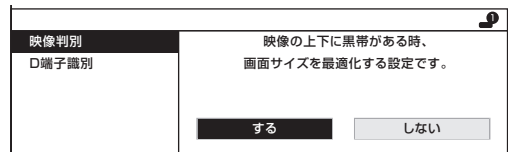
3

① **▲▼で設定したい項目を選び、決定を押す**

② **◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す**

(映像判別の画面例)

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

• 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

映像判別

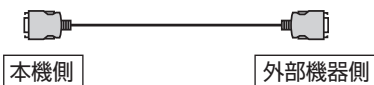
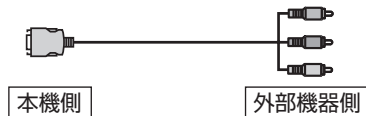
■ 受信している放送や外部入力されたソフトの映像の上下に黒い帯があるとき、画面サイズを自動的に「シネマ」にする機能です。
- 映像判別機能は、テレビを受信しているときおよび入力1～5のときに働きます。
- 入力が1125i、750pの信号に対しては働きません。
- デジタル放送の映像に対しては働きません。

S2対応

■ S2映像端子から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズで表示する機能です。
- S2対応機能は、入力3・4のとき（入力選択が「S端子」または「自動」でS2映像が表示されているとき）に働きます。
- S2対応を「する」に設定しても、S2映像端子から入力された映像によっては、最適な画面サイズにならない場合があります。

D端子識別

■ D4 映像端子と外部機器との接続に使う映像ケーブルの種類により、画面サイズの判定方法を変えることができます。
- D端子識別機能は、入力1・2のとき（入力選択が「D端子」または「自動」でD映像が表示されているとき）に働きます。

「する」： 外部機器との接続に使うケーブルがD端子ケーブルのときは、「する」に設定します。

「しない」： 外部機器との接続に使うケーブルがD-コンポーネント変換ケーブルのときは、「しない」に設定します。

HDMI識別

■ HDMI 端子から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズで表示する機能です。
- HDMI 識別機能は、入力5のときに働きます。

オートワイド機能が働かないようにするには

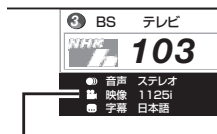
- オートワイド機能が働いているとき画面が大きくなったり小さくなったりすることがあります。
  これは表示している映像に最適な画面サイズを探そうとしているために起こる現象で、故障ではありません。
  気になる場合は、つぎの手順を行い、オートワイド機能が働かないようにしてください。

① メニューボタンを押し、メニュー画面を表示する。
② 左右カーソルボタンで「本体設定」を選ぶ。
③ 上下カーソルボタンで「オートワイド」を選び、決定ボタンを押す。
④ 画面に表示されているすべての項目（「映像判別」「S2対応」「D端子識別」「HDMI識別」のうち表示されているもの）を「しない」に設定する。
- 詳しい操作方法については、**144**ページをご覧ください。

⑤ メニューボタンまたは終了ボタンを押し、通常画面に戻す。

- ビデオ機器やゲーム機などをS2映像端子やD映像端子で接続した場合でも、機器やソフトなどによってオートワイド機能が働かない場合があります。

▼画面表示

BS テレビ 103
音声 ステレオ
映像 1125i
字幕 日本語

映像の種類	呼び方	画質
750p	750プログレッシブ	高精細
1125i	1125インターレース	高精細
525p	525プログレッシブ	高画質
525i	525インターレース	標準

画面表示の映像の種類を見れば放送中の映像の種類がわかるのね。

画面の位置を調整する

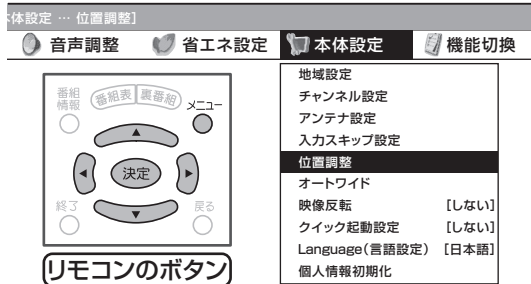
画面位置の調整のしかた

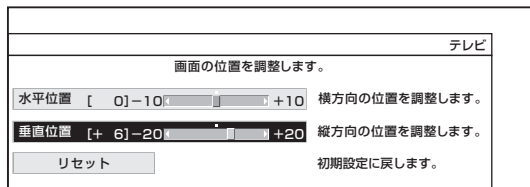
■ 画面の位置を調整することができます。

「水平位置」……画像が右寄り、または左寄りの状態にあるときに調整します。

「垂直位置」……画像が上がり過ぎ、または下がり過ぎの状態にあるときに調整します。

［例］ 画面の垂直位置を調整する

1 メニュー画面から「本体設定」ー「位置調整」を選び、決定を押す

2 ① ▲▼で「垂直位置」を選ぶ
② ◀▶で適切な位置に調整する

- 水平位置は、－10～0～＋10の範囲で調整できます。
- 垂直位置は、－20～0～＋20の範囲で調整できます。

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

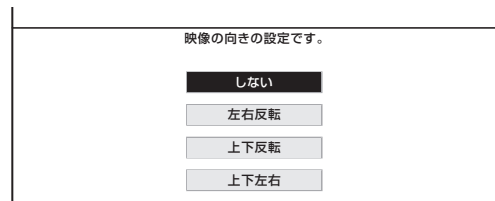
工場出荷時の設定に戻したいとき

- 手順2の①で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。

映像の向きを変える（映像反転）

■ 設置のしかたに応じて、映像の左右、上下、上下左右を反転して映すことができます。
映像を鏡に映してご覧になるときなどに便利な機能です。

1 メニュー画面から「本体設定」ー「映像反転」を選び、決定を押す

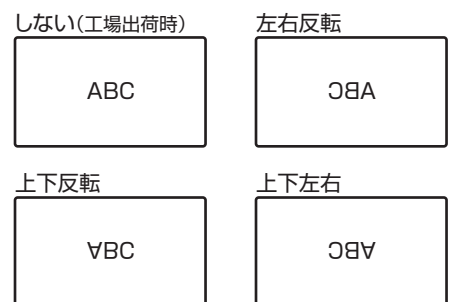
2 ▲▼で「しない」「左右反転」「上下反転」「上下左右」のいずれかを選ぶ

- 「しない」を選んだときは、反転しません。
- 「しない」以外を選んだときは、メニューも反転表示されます。
- 「左右反転」「上下左右」を選んだとき、音声は左右反転しません。

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

映像反転の表示のされかた

しない（工場出荷時）	左右反転
ABC	ƆBA
上下反転	**上下左右**
∀BC	ƆB∀

お好みの映像・音声で楽しむ

■ お好みの映像・音声を設定する方法には、次の2つがあります。
- AVポジションを選ぶ
- 映像・音声を個別の設定項目ごとに設定する

記憶されたお好みの映像・音声設定を選ぶ(AVポジション)

AVポジションとは

■ 部屋の明るさや再生ソフトの内容に合わせて、記憶されたお好みの映像・音声レベルに設定する機能です。

「ダイナミック」
くっきりと色鮮やかな映像で、スポーツ番組などを迫力あふれたものにします。(工場出荷時の設定です。)

「標準」
画質・音質の設定がすべて標準値になります。

「映画」
コントラスト感を抑えることにより、暗い映像を見やすくします。

「ゲーム」
テレビゲームなどの映像を、明るさを抑えて目にやさしい映像にします。

「PC」
PC用の画面モードです。(このポジションは入力5・6選択時のみ表示されます。)

「AVメモリー」
各入力ごとにお好みの調整内容を記憶させることができます。

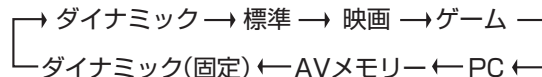
「ダイナミック(固定)」
くっきりと色鮮やかな映像で、スポーツ番組などを迫力あふれたものにします。(このポジションを選んだときは、映像・音声調整ができません。)

1 リモコンフタ内の AVポジション を押す
- 画面左下に現在のAVポジションが表示されます。

AVポジション:ダイナミック

AVポジション表示

2 表示が出ている間に再び AVポジション を押し、お好みの設定を選ぶ
- ボタンを押すたびに、AVポジションがつぎのように切り換わります。

→ ダイナミック → 標準 → 映画 → ゲーム → PC → AVメモリー → ダイナミック(固定) →(ダイナミックへ戻る)

- AVポジションは各入力ごとに別のものを選ぶことができます(例えば、テレビは「標準」、入力1は「ダイナミック」....など)が、「i.LINK」は「テレビ」と同じ設定になります。また、「AVメモリー」の設定も「テレビ」と同じになります。

手動で映像を調整する

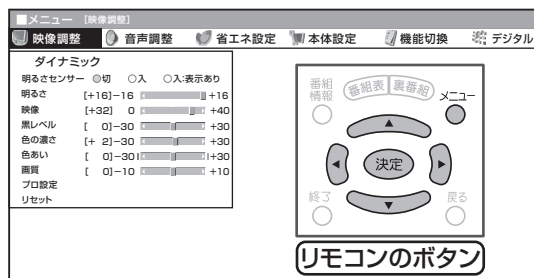
■「映像調整」とは、映像の濃淡や明るさ、色のぐあいなどを、お好みの状態に調整する機能です。
現在視聴している入力により、別の調整項目になっています。

■ AVポジションごとに、お好みの映像に調整し、調整内容を記憶させせることができます。映像調整は、さきにAVポジションを選んでから行ってください。（**147**ページ参照）

■ AVポジション「ダイナミック（固定）」では、映像調整ができません。

■「プロ設定」では映像の状態をお好みに応じてさらにきめ細かく調整できます。

1 メニュー画面から「映像調整」を選ぶ

リモコンのボタン

2

① [▲▼] で調整したい項目を選ぶ

② [◀▶] でお好みの設定にする

• ①で「プロ設定」を選んだ場合は [▲▼] でプロ設定の項目を選び、[決定] を押します。

工場出荷時の設定に戻したいとき

① 手順**2**の①で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。

② 左右カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押します。
「初期設定に戻しました。」と表示されます。
この場合、プロ設定もすべて工場出荷時の設定に戻ります。

映像調整の項目

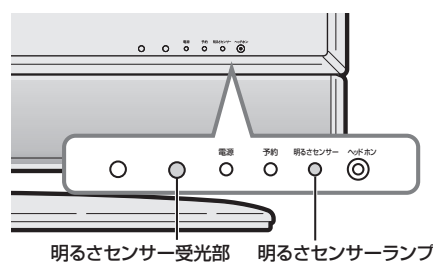
明るさセンサー

• 室内の照明状況など周囲の明るさに応じて画面の明るさが自動的に調整されるよう設定することができます。（明るさセンサー機能）
明るさセンサーの動作する明るさの範囲を手動で設定することもできます。（プロ設定項目の「明るさセンサー設定」**149**ページ参照）

• 放送や再生ソフトの映像内容に合わせ、画面をお好みの明るさに手動調整することができます。（映像調整の項目「明るさ」参照）

明るさセンサー ●切 ●入 ●入:表示あり

設定項目	設定内容
切	明るさセンサー機能が働かなくなります。
入	周囲の明るさが変化すると明るさセンサー機能が働いて、画面の明るさを自動調整します。
入:表示あり	自動調整中、明るさセンサー機能の効果が画面に表示されます。 明るさセンサー： ※メニュー表示中は表示されません。

• 明るさセンサー受光部の前にものを置いたりすると、明るさを感知できなくなります。
• 明るさセンサーを「入」または「入:表示あり」に設定すると、明るさセンサーランプが点灯します。

明るさ

- 放送番組や再生ソフトなど映像内容に合わせて、画面をお好みの明るさに手動調整することができます。

- 調整を行うと、明るさセンサー機能は「切」になります。

映像

- 映像の強弱を手動調整することができます。

黒レベル

- 画面を見やすい明るさに調整することができます。

色の濃さ

- 映像の色の濃さを手動調整することができます。

色あい

- 肌色を手動調整することができます。

画質

- 画面をお好みの画質に手動調整することができます。

プロ設定の項目

項　目	内　容	設　定
色温度	青みがかった白（高）にするか、赤みがかった白（低）にするかの調整です。	高/高-中/中/中-低/低
黒伸張	映像の暗い部分の強調度合いを調整し、奥行き感を変化させます。	する/しない
3次元設定※1	映像素材に応じた設定にすると、画質が改善されます。	標準/動画より/静止画より
モノクロ	白黒映像にします。	する/しない
フィルムモード※2	フィルム収録のDVDなど、元信号が24コマ/秒の映像を高画質に再生します。	する/しない
明るさセンサー設定※3	明るさセンサー「入」時の、稼働範囲の上限と下限をおこのみの値に設定できます。	最大値設定※4 −16～0～+16 最小値設定※5 −16～0～+16

※1 地上アナログ放送、ビデオ映像以外を視聴しているときは、プロ設定の「3次元設定」は選択できません。
※2 元がプログレッシブの映像（525p、750p）およびPC入力では、プロ設定の「フィルムモード」は選択できません。
※3 周囲の明るさにもよりますが、設定範囲が少ない場合は、明るさセンサーが働きません。
※4 最大値は最小値より小さい値にできません。
※5 最小値は最大値より大きい値にできません。

その他の映像関連の設定

■ [機能切換]メニューから、その他の映像関連の設定ができます。

共通操作

リモコンのボタン

省エネ設定　本体設定　機能切換　デジタル設定

項目	設定
映像オフ	
DNR	[しない]
入力4端子設定	[録画出力]
QS駆動	[する]
デジタル固定	[しない]
字幕表示設定	[しない]
番組名表示設定	[しない]

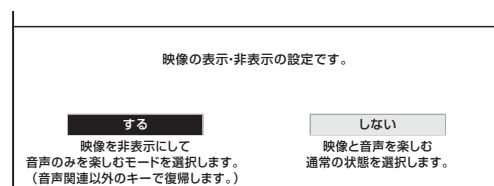
1 **メニュー画面から◀▶で「機能切換」を選ぶ**

2 **▲▼で設定したいメニュー項目を選び、決定を押す**

メニュー項目	設定画面

音声だけを楽しむ(映像オフ)

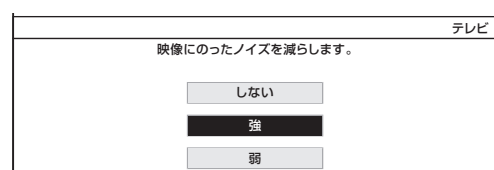
■ 映像を消して、音声だけを楽しむことができます。
- 映像オフを「する」にしているとき、オフタイマー残り時間などのメッセージが表示されると、映像が復帰します。
- 操作により映像が復帰したり、一度電源「切」の状態にすると、自動的に設定が「しない」になります。
- 映像を復帰させたいときは、音量調整、消音、音声切換え以外の操作を行ってください。

3 **◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す**

- 操作終了する場合はメニューまたは終了を押してください。

映像をすっきりさせる(DNR)

■ ビデオなどの再生映像を、すっきりさせる機能です。設定は「しない」「強」「弱」の3種類があります。
■ テレビ、ビデオ各入力ごとに個別に設定できます。

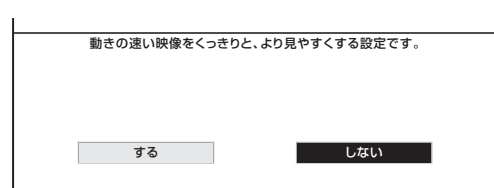
[例] DNRを「強」に設定する

3 **▲▼で「強」を選び、決定を押す**

- 操作終了する場合はメニューまたは終了を押してください。

動きの速い映像を見やすくする(QS駆動)

■ QS駆動とは、動きの速い映像をくっきりと、より見やすくする機能です。
(QS…クイックシュート)
■ 通常は「する」にしてご覧ください。

3 **◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す**

- 操作終了する場合はメニューまたは終了を押してください。

お好みの音声に調整する（音声調整）

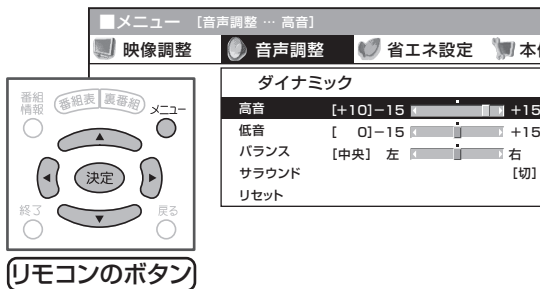
■「高音」「低音」「バランス」の3つの項目を、AVポジションごとに、お好みに合わせて調整することができます。
調整したいAVポジションを選んでから、音声調整の操作を行います。（**147** ページ参照）
※ AVポジション「ダイナミック（固定）」では、音声調整ができません。

音声調整の基本操作

［例］ AVポジション「ダイナミック」の「高音」を調整する

1 AVポジションを何回か押し、AVポジションを「ダイナミック」に設定する

2 メニュー画面から「音声調整」を選ぶ

3 ① ▲▼で「高音」を選ぶ
② ◀▶で、お好みの位置に調整する

リモコンのボタン

・続けて他の項目を調整したいときは、手順3をくり返します。

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

• 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

・ヘッドホンを接続しているときや入力4端子設定を「モニター出力（可変）」に設定しているときは、音声調整ができません。

工場出荷時の設定に戻したいとき
① 手順**3**の①で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。
② 左右カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押します。
「初期設定に戻しました。」と表示されます。

音声調整の項目

・お客様が実際にお使いの音量で調整してください。

高音

・お好みに合わせて、高音を調整することができます。

高音 [+10]−15 +15

低音

・お好みに合わせて、低音を調整することができます。

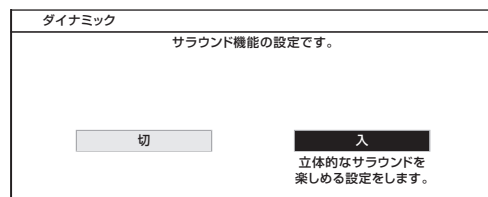
低音 [0]−15 +15

バランス

・お好みに合わせて、左右のスピーカー音声のバランスを調整することができます。

バランス [中央] 左 右

サラウンド

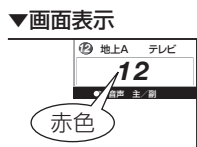
・2本のスピーカーで臨場感あふれるマルチチャンネルサラウンド空間を実現します。

・ヘッドホンで音声を聴いているときは、サラウンドの効果が得られません。
・モニター出力／入力4／（録画出力）端子からの音声出力、デジタル音声出力（光）端子からの出力では、サラウンドの効果が得られません。
・放送やDVDなどのコンテンツによっては、サラウンドの効果が得られないことがあります。その際はサラウンドを「切」にしてお楽しみください。

二重音声放送やステレオ放送を楽しむ

■ 二重音声放送やステレオ放送のとき、音声切換ボタンで音声モードを切り換えることができます。

チャンネル表示の色について

・二重音声放送やステレオ放送、モノラル放送は、チャンネル表示の色で区別することができます。(地上アナログ放送のみ)

▼画面表示

二重音声放送のとき

ステレオ放送のとき

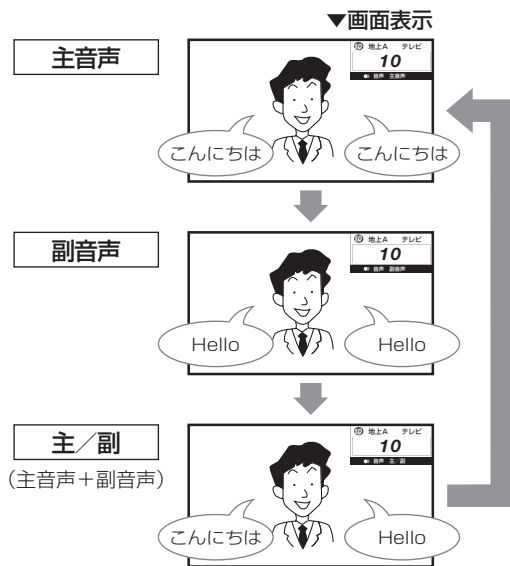
モノラル放送のとき

主音声と副音声について

・ニュースや洋画などの二ヵ国語放送で、吹き替えの日本語(主音声)と英語などの外国語(副音声)の2種類の音声が楽しめます。

二重音声放送の音声切換

リモコンフタ内の音声切換を押し、お好みの音声を選ぶ

・ボタンを押すたびに、つぎのように切り換わります。

ステレオ放送の音声切換

・ステレオ放送のときは、自動的に「ステレオ」になります。

雑音が多いときは、音声切換で「モノラル」にする

・画面右上のチャンネル表示内に「モノラル」と表示されます。
・「モノラル」にすると雑音が減って聞きやすくなることがあります。

・音声切換ボタンを押して「モノラル」にすると、ステレオ放送を受信してもモノラル音声になります。
ステレオ音声で聞くときは、再度音声切換ボタンを押して「ステレオ」に切り換えてください。
・デジタル放送は「モノラル」への切換えができません。
・デジタル放送視聴時の音声切換えについては、**79**ページをご覧ください。

便利な機能

ページ

省エネ機能を使う

■ 本機は省エネに役立つ機能を備えています。

指定した時間後に電源を切る（オフタイマー）

・「オフタイマー」を使うと、指定した時間後に電源を切ることができます。テレビを見ながらおやすみになるときなどに便利です。

1 オフタイマー を押す

・オフタイマーがすでに設定されている場合は、オフタイマーの残り時間が表示されます。設定されていないときは「切」と表示されます。

オフタイマー: 切

2 オフタイマー表示が出ている間に再び オフタイマー を押し、電源が切れるまでの時間を選ぶ

・オフタイマー を押すたびに、設定時間がつぎのように切り換わります。

→ 切（解除） → 0時間30分 → 1時間00分
2時間30分 ← 2時間00分 ← 1時間30分 ←

オフタイマーの残り時間を見るには

オフタイマー を押す

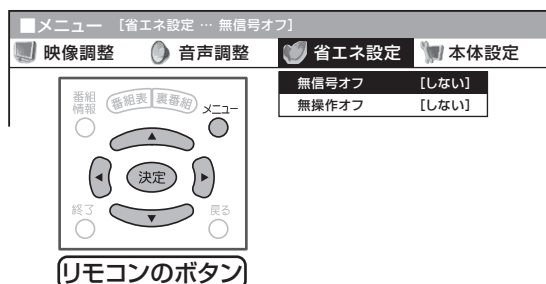
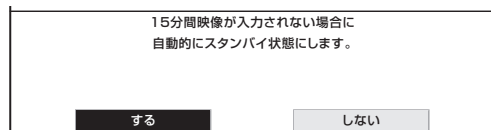
・残り時間が表示されます。

オフタイマー:残り 0時間15分

・しばらくすると表示が消えます。
・表示が出ている間に再び オフタイマー を押すと、残り時間が変わってしまいます。
・オフタイマーの残り時間が5分になると、残り時間が画面に表示されます。

放送終了後に電源を切る（無信号オフ）

・放送が終了するなど無信号状態になると、約15分後に電源が切れるようにします。
・工場出荷時は、「しない」に設定されています。

1 メニュー画面から「省エネ設定」−「無信号オフ」を選び、決定を押す

2 ◀▶で「する」を選び、決定を押す

・電源が切れる5分前から画面左下に残り時間が表示されます。

無信号オフ:残り	5分

操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

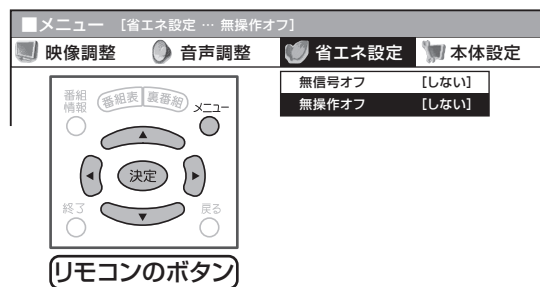
・1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

無信号オフ機能について

・放送が終了しても、他局の放送やその他の電波が混入するときや、ブルーバックなどのビデオ信号が入力されているときは、正しく動作しない場合があります。
・放送電波の状態などにより、放送を見ているときに無信号オフ機能が働いて電源が切れる場合は、設定を「しない」にしてください。
・入力6のときは、「パワーマネージメント」の設定となります。（**137**ページ参照）

操作しない状態のときに電源を切る（無操作オフ）

・操作しない状態が3時間以上経過すると、自動的に電源が切れるように設定できます。
・工場出荷時は、「しない」に設定されています。

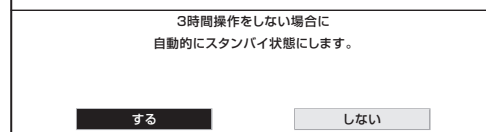
1 メニュー画面から「省エネ設定」−「無操作オフ」を選び、決定を押す

2 ◀▶で「する」を選び、決定を押す

操作終了する場合は

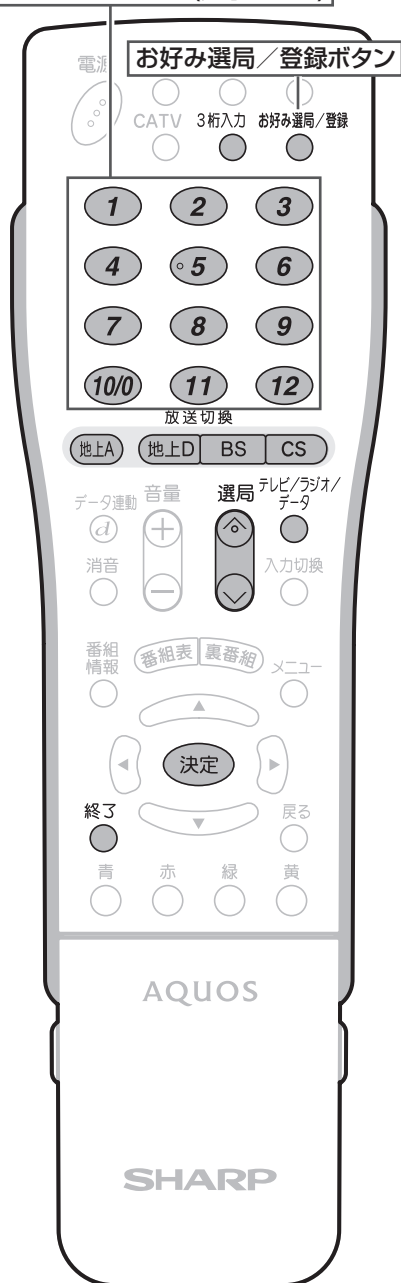
メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

・1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

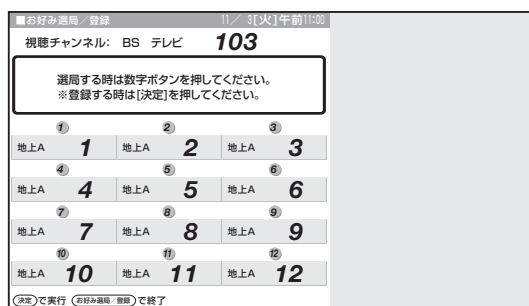
便利な機能

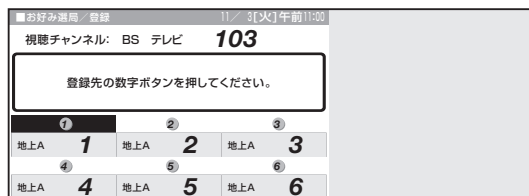
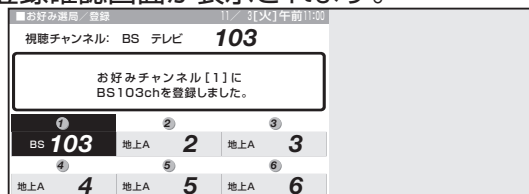
省エネ機能を使う

お好みのチャンネルを登録する

お好み選局／登録画面にチャンネルを登録する(お好み登録)

■ よく見るチャンネルをお好み選局／登録画面に登録できます。
■ ネットワーク(地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル)やメディア(テレビ、ラジオ、データ)を混在させた登録ができます。
※ お好み選局／登録画面は、工場出荷時の状態では、地上アナログ放送に設定されています。

[例] BSデジタルのテレビ放送の103チャンネルをお好み選局／登録画面の「1」(チャンネルボタン(1))に登録する

1 ① BS を押し、BSデジタル放送(テレビ)を選ぶ
② 103チャンネルを選局する

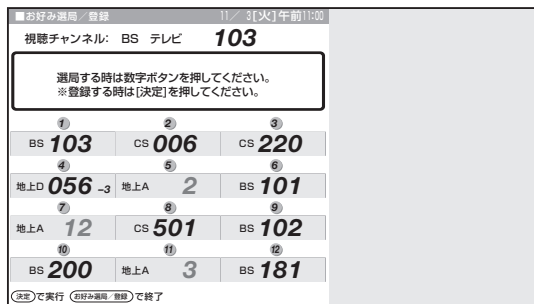
2 ① お好み選局/登録 を押す
・お好み選局／登録画面が表示されます。

② 決定 を押す

3 登録したいチャンネルボタン(1)(登録先のボタン)を押す

・登録確認画面が表示されます。

4 お好み選局/登録 または 終了 を押し、画面表示を消す
・お好み選局／登録ボタンまたは終了ボタンを押さなくても、しばらくすると画面表示は消えます。

お好み登録したチャンネルを確認する

■ お好み選局／登録画面(「1」～「12」)に登録されているチャンネルの内容を画面で確認することができます。

1 放送を視聴中に お好み選局/登録 を押す

・登録されているチャンネル内容の一覧が表示されます。

・内容を確認します。

2 お好み選局/登録 または 終了 を押し、画面表示を消す

お好み登録を変更する

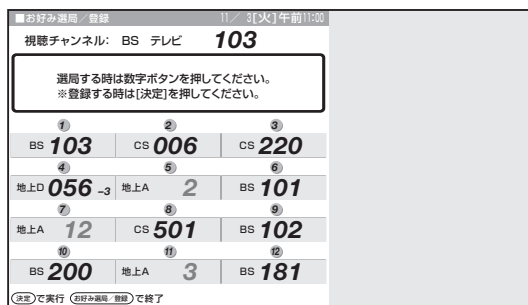
・お好み選局／登録画面に登録したチャンネルを変更するには、**156**ページの手順**1**～**4**の操作を行い、お好み登録されているお好み選局／登録画面に新たなチャンネルを登録しなおします。

お好み選局／登録画面からチャンネルを選局する(お好み選局)

■ お好み選局／登録画面に登録したチャンネルを選局します。

■ ネットワーク(地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル)やメディア(テレビ、ラジオ、データ)を切り換えることなく、チャンネルを選べます。

1 お好み選局/登録 を押す

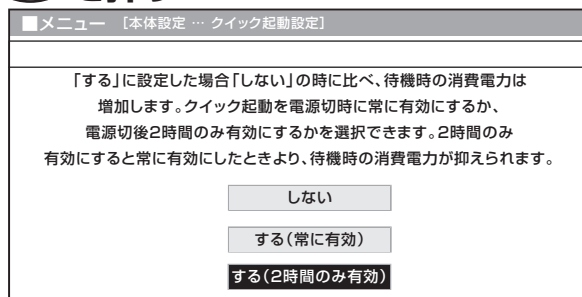
・お好み選局／登録画面が表示されます。

2 見たいチャンネルボタン(1 ～ 12)を押す

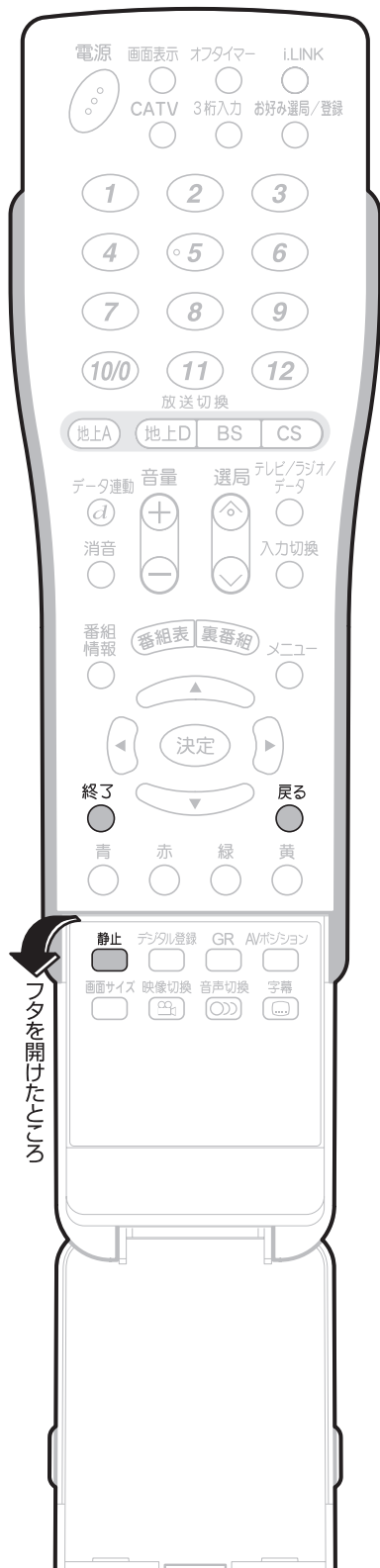
・選んだチャンネルの画面になります。

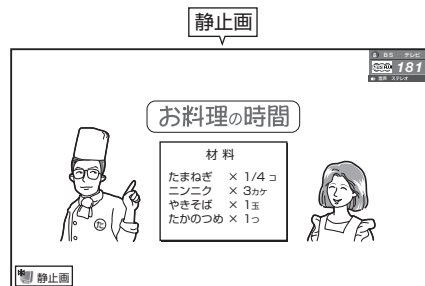
クイック起動機能を設定する

■ リモコンで電源を「入」にしたとき、起動時間を短縮してすぐに操作できる状態にする機能です。なお、この機能を使うと待機時の消費電力がアップしますので、あらかじめ同意の上、ご使用ください。

1 メニュー画面から「本体設定」ー「クイック起動設定」を選び、 決定 を押す

2 ▲▼◀▶ で設定したい項目を選び、 決定 を押す

画面を静止させてメモをとる

■ いま見ている放送や映像を静止することができます。料理番組などのメモをとったりするときに便利です。

映像を静止させたいところで、静止を押す

・ 視聴中の映像が静止画になります。

静止画を解除するには

戻るを押すか、終了または静止を押す

- 静止画表示中に選局や入力切換えをすると、動画に戻ります。
- 静止画表示中の画面サイズ切換えはできません。
- 静止画表示中にメニューボタンを押すと、動画に戻ります。
- 静止画表示中にi.LINKボタンを押すと、静止画が解除されます。
- 静止画表示後、30分経過すると自動的に動画に戻ります。

デジタル放送を快適に見るための設定

ページ

字幕や番組名表示の設定

字幕を表示させるための設定

■ 字幕のある番組で、字幕を表示するかしないかを選択できます。
■ 工場出荷時の状態では、「しない」に設定されています。

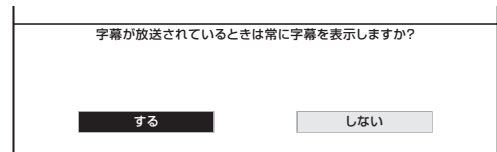
1 メニュー画面から「機能切換」ー「字幕表示設定」を選び、決定を押す

2 ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」…… 字幕のある番組では、つねに字幕を表示します。(リモコンの字幕ボタンを押しても、字幕表示を消せません。)

「しない」… リモコンの字幕ボタンで、字幕表示を入／切することができます。

操作終了する場合は

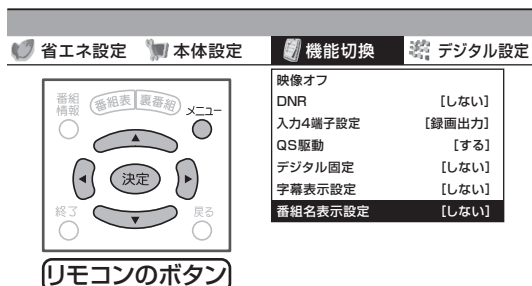
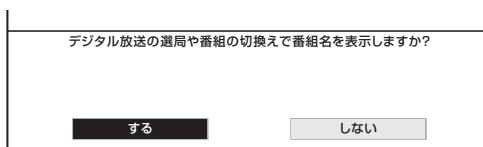
メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は戻る を押してください。

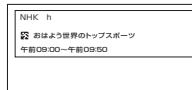
字幕ボタンについて

- 字幕表示設定を「する」にしたとき
  複数の字幕がある番組では、リモコン(フタ内)の字幕ボタンを押すと、字幕を切り換えられます。
- 字幕表示設定を「しない」にしたとき
  字幕のある番組では、リモコン(フタ内)の字幕ボタンを押すと、字幕表示の入／切、および複数の字幕の切換えができます。

番組名を表示させるための設定

■ 番組を選んで画面を切り換えたときなどに番組タイトルなどの表示をするかどうかを設定します。

1 **メニュー画面から「機能切換」ー「番組名表示設定」を選び、(決定)を押す**

2 **(◀▶)で「する」または「しない」を選び、(決定)を押す**

「する」…… 番組タイトルや放送時間などを表示します。

(表示例)

「しない」… 何も表示しません。

操作終了する場合は

(メニュー)または(終了)を押し、通常画面に戻す

• 1つ前に戻る場合は(戻る)を押してください。

安心して使うための設定

共通操作

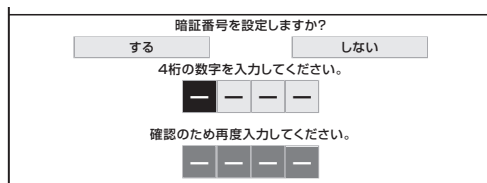
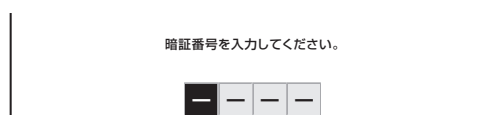
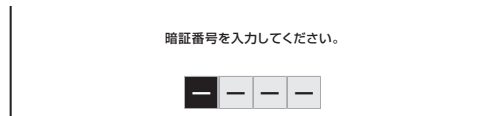
定　本体設定　機能切換　デジタル設定　お知らせ

デジタル音声設定　[PCM]
ダウンロード設定　[する]
番組表設定
通信設定
ビデオ連動録画設定
i.LINK設定
暗証番号設定
視聴年齢制限設定
PPV設定
双方向サービス設定
システム動作テスト

リモコンのボタン

1 メニュー画面から◀▶で「デジタル設定」を選ぶ

2 ▲▼で設定したいメニュー項目を選び、決定を押す

メニュー項目	
暗証番号設定 ■ 本機は、視聴する人の年齢制限や視聴料金の制限など、各種の制限を設けることができます。これらの制限を通過するときやPPV番組などを購入するときに暗証番号を使います。 ・ 暗証番号は必ずメモしてください。	**3** ① で「する」を選び、決定を押す ② 数字ボタン(1～10/0)で、暗証番号を入力する
視聴年齢制限設定 ■ 年齢制限のある番組の視聴を制限することができます。なお、年齢制限は4～20歳の範囲で設定できます。この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定(上記)をしておくことが必要です。	**3** 数字ボタン(1～10/0)で、暗証番号を入力する ・ 視聴年齢制限設定画面が表示されます。
PPV設定 **有料の番組の購入を制限する** ■ 暗証番号を入力しないとPPV番組(有料番組)を購入できないように設定できます。この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定(上記)をしておくことが必要です。	**3** 数字ボタン(1～10/0)で、暗証番号を入力する ・ PPV設定画面が表示されます。
有料の番組の購入金額を制限する ■ PPV番組(有料番組)の購入金額を制限します。設定した以上の金額の番組を購入するときは、暗証番号の入力が必要になります。この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定(上記)をしておくことが必要です。	**3** 数字ボタン(1～10/0)で、暗証番号を入力する ・ PPV設定画面が表示されます。

暗証番号を変更するとき

① メニュー画面から「デジタル設定」－「暗証番号設定」を選ぶ

- 暗証番号入力画面が表示されます。

② 数字ボタン（1～10/0）で、暗証番号を入力する

- 暗証番号を入力すると、**162**ページ**「暗証番号設定」**の手順**3**の画面になります。暗証番号を設定するときと同じ要領で設定しなおしてください。

暗証番号を忘れたときは

- 受信契約されている、有料放送の放送局（WOWOWやスターチャンネルなど）までご連絡ください。放送局で前の暗証番号を消去します。
  暗証番号の消去には手数料がかかります。（2006年7月現在）

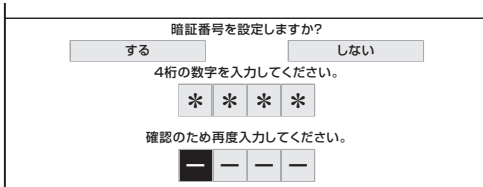
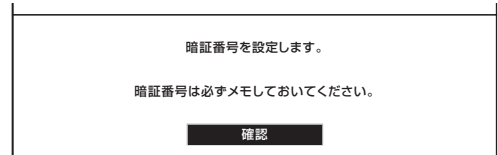
操作終了する場合は

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は戻る を押してください。

設定画面

4 確認のため、再度同じ番号を数字ボタン（1～10/0）で入力する

- 間違った番号を入力した場合は、手順**3**の②からやりなおしになります。

5 ① 暗証番号をメモする ② 「確認」で 決定 を押す

4 で年齢の入力欄を選ぶ

視聴制限年齢を入力してください。

－－ 歳以下を視聴制限する。

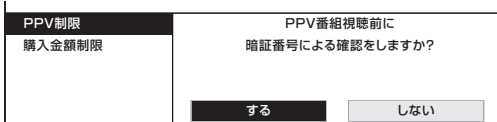
または、

無制限

5 制限する年齢を数字ボタン（1～10/0）で入力し、決定 を押す

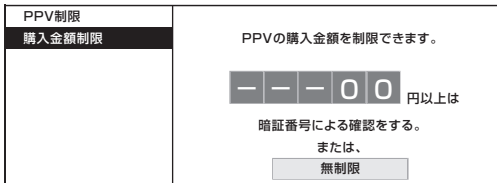
- 年齢制限を設けない場合は、「無制限」を選んで決定ボタンを押します。

視聴制限年齢を入力してください。

4 で「PPV制限」を選び、決定 を押す

5 で「する」または「しない」を選び、決定 を押す

「する」…… PPV番組の購入前に、暗証番号の入力が必要になります。

「しない」… PPV番組の購入前に、暗証番号の入力は必要ありません。

4 で「購入金額制限」を選び、決定 を押す

5 ① で購入金額の入力欄を選ぶ ② 購入金額の上限を数字ボタン（1～10/0）で入力し、決定 を押す

- 購入金額の制限を設けない場合は、「無制限」を選んで決定ボタンを押します。

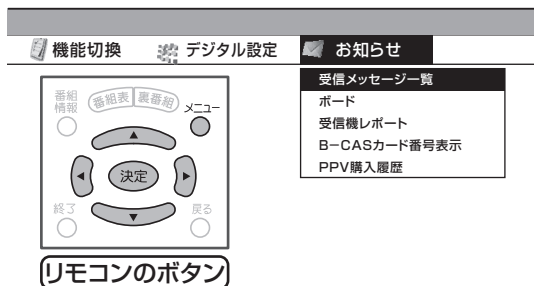
お知らせを見る

■ 受信契約した放送局から視聴者に向けて発信されるメッセージを見たり、有料放送に関するレポートやB-CASカード番号などを確認することができます。

お知らせを見るための基本操作

1 メニューを押し、メニュー画面を表示する

2 ① ◀▶でお知らせを選ぶ

リモコンのボタン

② ▲▼で見たい項目を選び、決定を押す

- 項目によっては、この後ネットワークを選ぶ手順になります。

3 見たい情報を▲▼で選び、決定を押す

［例］「ダウンロード成功のお知らせ」を見る

	受信日時	
未読		ダウンロード成功のお知らせ
未読	2/26［月］	●●●●●●●
未読	2/26［月］	●●●●●●●
未読	2/26［月］	●●●●●●●
未読	2/26［月］	●●●●●●●
未読	2/26［月］	●●●●●●●
未読	2/26［月］	●●●●●●●
未読	2/26［月］	●●●●●●●

4 ① 情報の内容を確認する
② ページを切り換えるときは「一覧へ」「前へ」「次へ」などを◀▶で選び、決定を押す

- 画面表示に従って操作してください。

お知らせの項目

項　目	内　容
受信メッセージ一覧	受信契約した放送局から発信されるメッセージを見ることができます。 受信メッセージがある場合は、画面右上のチャンネルサインに「お知らせ」と表示されます。
ボード	送られている、CS各ネットワークの掲示板（ボード情報）のタイトル一覧を表示して、ご覧になりたいタイトルを選び、メッセージを表示することができます。 ボード情報は、そのとき放送で送られているものを表示しますので、消去はできません。
受信機レポート	予約の失敗や変更に関するレポートやB-CASカードに関する情報、課金情報のアップロード（視聴履歴の送信）に失敗したときなど、受信機に関係したレポートを表示します。 アップロードに失敗したときは、「再発信」を選んで決定ボタンを押すと、アップロードしなおすことができます。
B-CASカード番号表示	受信機レポートで報告された不具合に関して、放送事業者のカスタマーセンターに連絡されるときに、お客さまの契約確認のためB-CASカードの番号を表示するものです。 **カード識別…** メーカー識別用のアルファベット1文字と3桁の数字からなります。 **カードID……** カード固有の番号です。
PPV購入履歴	購入した最新24個のPPV番組の購入日時、チャンネル、番組名、購入金額を画面に表示して確認することができます。

おしらせ

- 受信メッセージがある場合は、画面右上のチャンネルサインに「お知らせ」と表示されます。
- 「お知らせ」の表示がある状態で、未読の受信メッセージをすべて表示すると、「お知らせ」の表示が消えます。

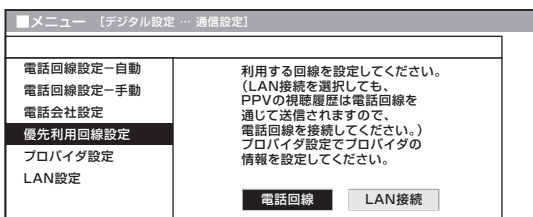
双方向通信を利用する

■ 双方向通信とは、デジタル放送の双方向サービスで利用される通信方式です。視聴者が番組上でショッピングしたり、クイズ番組に参加して楽しむことができます。
■ 双方向通信を利用するには、本機を「電話回線」または「LAN」に接続し、設定することが必要です。

※電話回線接続には電話料金がかかります。 ［例］クイズ番組に参加して、答えを送信するとき

- 光回線やADSLを使用する、インターネットを介したIP電話などの電話回線では、ご加入の通信会社によっては、デジタル放送の双方向サービスが受けられない場合があります。詳しくは、ご加入の通信会社へご確認ください。
- ADSL専用の契約（IP電話回線網の使用に限定した契約）の場合、双方向サービスへの接続ができない場合があります。
- 回線業者やプロバイダにより、必要な機器や接続方法が異なります。

接続の種類を選ぶ（優先利用回線設定）

■ 双方向通信を行うとき、電話回線、LANのどちらで通信するかの設定です。工場出荷時は「電話回線」に設定されています。
■ メニュー画面から「デジタル設定」－「通信設定」－「優先利用回線設定」を選んで設定します。

電話回線	電話回線設定（**66**ページ）とプロバイダ設定（右記）をしてください。
LAN回線	電話回線設定（**66**ページ）、プロバイダ設定（右記）、およびLAN設定（**167**ページ）をしてください。

双方向サービスの利用を制限する

- 双方向サービスのデータ送受信には、回線の利用料金がかかる場合があります。使用を制限するために、電話回線やLANへの接続をするかしないかの設定ができます。設定には暗証番号の入力が必要です。この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定（**162**ページ）をしておくことが必要です。

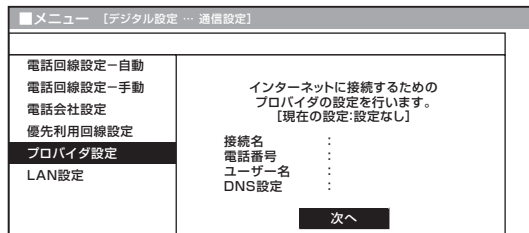
① メニュー画面から「デジタル設定」－「双方向サービス設定」を選ぶ

② 数字ボタンで暗証番号を入力し、以下の設定項目を選ぶ

電話回線を禁止する
電話回線とLAN接続を禁止する
禁止しない 禁止しない場合はデータ送信時に以下のアイコンを表示。 グレーのときは 回線コール中 ／ ブルーのときは 回線使用中

プロバイダ設定

■ すでに契約しているプロバイダを使って、地上デジタル放送の双方向サービスで双方向通信を利用する場合に必要な設定です。
■ 文字や数字の入力欄で決定ボタンを押すと、ソフトウェアキーボードが表示されます。
（ソフトウェアキーボード→**168**ページ）

① メニュー画面から「デジタル設定」－「通信設定」－「プロバイダ設定」を選ぶ

② 「接続名」「電話番号」「ユーザー名」「パスワード」「パスワード確認」を入力したあと、「自動設定」で「する」を選ぶ
③ 「自動設定」で「しない」を選んだときは「プライマリ」「セカンダリ」を入力する

プロバイダ設定

「接続名」
通常は、契約しているプロバイダの業者名を入力します。

「電話番号」
契約しているプロバイダのアクセスポイントの電話番号を入力します。

「ユーザー名」「パスワード」
プロバイダと契約した際に提供されたものを入力します。

IPアドレス設定

プロバイダと契約した際に提供されたものを入力します。
IPアドレスはデータのやりとりに使われる、3桁の数字4組で表された番号です。

「自動設定」
IPアドレスを自動で取得するかどうかを設定します。

「プライマリ」
1番めのIPアドレスを入力します。

「セカンダリ」
2番めのIPアドレスを入力します。

詳細な設定

「ヘッダ圧縮」「ソフトウェア圧縮」
通信速度を向上させるか、させないかの設定です。契約しているプロバイダがこれに対応してない場合は、「しない」に設定してください。

「無通信切断タイマー」
回線を切断する時間の設定です。その時間に通信がなければ、回線を切断します。

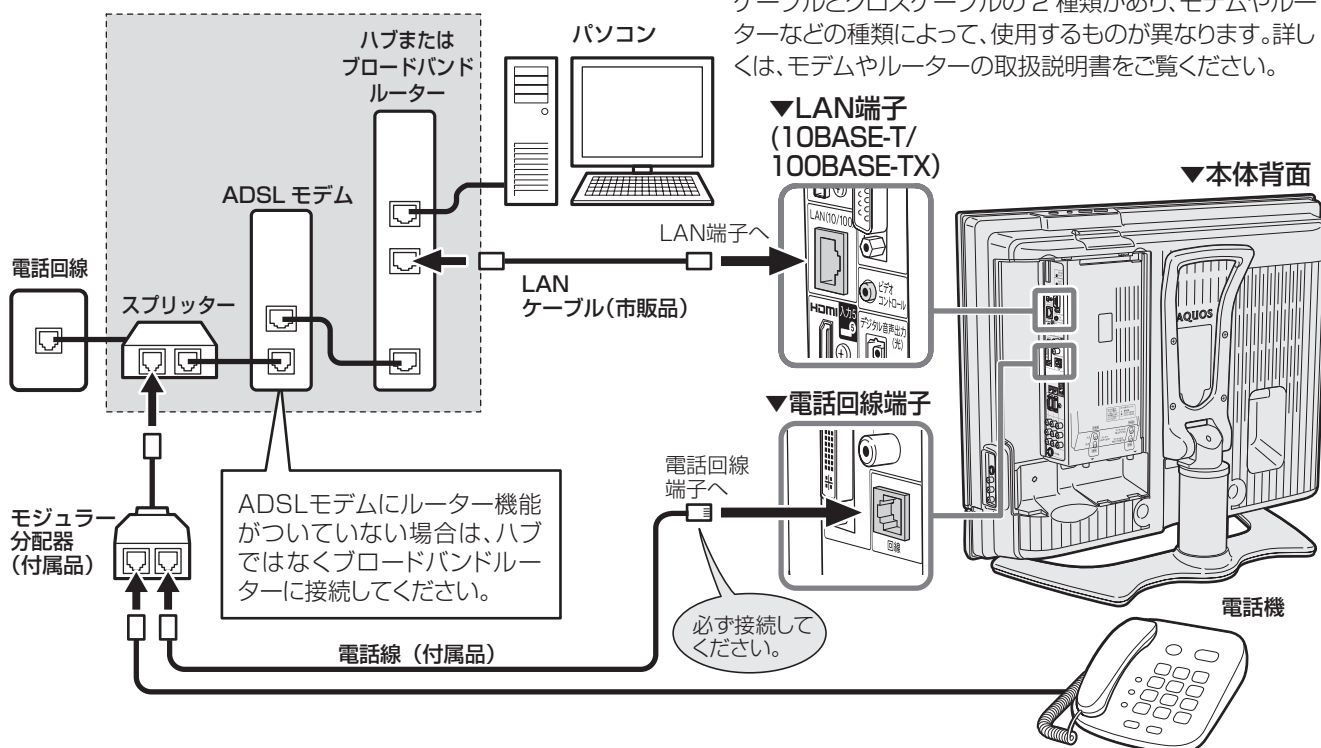
双方向通信を快適に楽しむ（LAN接続）

■ デジタル放送のデータ放送との双方向通信は、本機を電話回線につなぐとできますが、プロバイダを利用したLANを設定すれば、通信速度が向上し、データ放送をさらに快適に楽しむことができる場合があります。この場合、LAN接続と設定が必要となります。
■ パソコンなどのインターネット環境をお持ちでない場合は、つぎのような接続機器が必要になります。また、回線業者やプロバイダにより、必要な機器と接続方法が異なります。

（接続の一例です）

- ADSLの接続は、専門知識が必要なため、ADSL事業者にお問い合わせください。
- LAN接続した場合でも、電話回線のみで通信が行われることがありますので、必ず電話回線端子にも接続してください。

LANケーブルについて

- LAN ケーブルは、10BASE-T/100BASE-TX タイプのものをご使用ください。LAN ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの 2 種類があり、モデムやルーターなどの種類によって、使用するものが異なります。詳しくは、モデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。

接続後は、必ず、電話回線設定（66ページ）、プロバイダ設定（165ページ）、およびLAN設定（167ページ）を行ってください。

● ADSLモデム
本機やコンピュータなどをADSL回線に接続する際に必要となる、信号変換のための機器です。
公衆電話回線網を通じて送られてくるADSL信号をイーサーネットの信号に変換します。
ADSLの規格は事業者ごとに異なるため、キャリアを変更した場合や設置地点を変更した場合には、同じADSLモデムでは利用できないことがあります。

● ハブ
複数の機器をネットワークに接続するための集線機器です。

● ブロードバンドルーター
広帯域のデータ信号を他のインターネットに接続するための中継機器です。

● スプリッター
ADSLでは音声信号とデータが同じ回線の中を流れてくるため、これをそれぞれ電話機とADSLモデムとに分ける必要がありますので、スプリッターを接続し、そこから電話機とADSLモデムに信号を振り分けます。

インターネット環境をお持ちの場合は、LAN接続をすることにより、データ放送通信がより快適に利用できます。

LAN設定

■ LAN接続（**166**ページ）によってデータ放送との双方向通信を行う場合、プロバイダが指定したLANの設定が必要となります。

・LAN設定は専門知識が必要ですので、お買い上げの販売店やADSL事業者などにご相談ください。

■ メニュー画面から「デジタル設定」－「通信設定」－「LAN設定」を選び、設定します。

IPアドレスを設定する

・**IPアドレスの自動取得設定**
ブロードバンドルーターやルーター機能付きADSLモデムをお使いの場合は、通常DHCPでのIP自動取得が使えます。ご不明のときは、設置された方に確認するか、それぞれの機器の説明書をご覧ください。

「する」……IPアドレスを自動で取得します。（DHCPサーバーを利用します。）

「しない」…指定のIPアドレスを手動で入力します。

• 「しない」を選んだときは、ブロードバンドルーターの仕様を確認し、IPアドレスを画面の指示にしたがって入力してください。

DNSのIPアドレスを設定する

「する」……DNSのIPアドレスを自動で取得します。（DHCPサーバーを利用します。）

「しない」…指定のIPアドレスを手動で入力します。

• 「しない」を選んだときは、ブロードバンドルーターのIPアドレス（ブロードバンドルーターがDNSの機能を持つ場合）またはプロバイダから指示されたDNSのIPアドレスを入力してください。

プロキシサーバーの設定

• プロバイダからの指定があるときのみ、設定が必要です。

「する」……「する」を選んだときは、プロキシサーバーのアドレス、ポート番号を入力してください。

「しない」…プロキシサーバーを利用しません。

より詳細な設定

・LAN接続スピードの設定や、LANに接続するためのテストを行います。
通常は「しない」を選びます。

LAN接続スピードを設定する

• 通常は設定の必要はありません。通信がうまくいかないなどのときに、設定を変更して確認します。

LANに接続するためのテストを実行する

・テスト実行は、IPアドレスを自動で取得する設定のときのみです。IPアドレスを自動で取得しない場合は、「テスト実行」を選べません。

設定項目について

●**DHCP**：
IPネットワークにおいて、IPアドレスの割当てと各種の設定を自動で行うためのプロトコルです。

●**IPアドレス**：
TCP/IPネットワークに接続されたネットワーク機器に個別に割り振られた識別番号です。

●**ネットマスク**：
TCP/IPネットワークを複数の小さなネットワークに分割して識別管理する識別番号です。

●**ゲートウェイ**：
ネットワーク上で、異なる方式のデータを相互に変換して通信を可能にする機器の識別番号です。

LAN設定の内容を変更・消去する

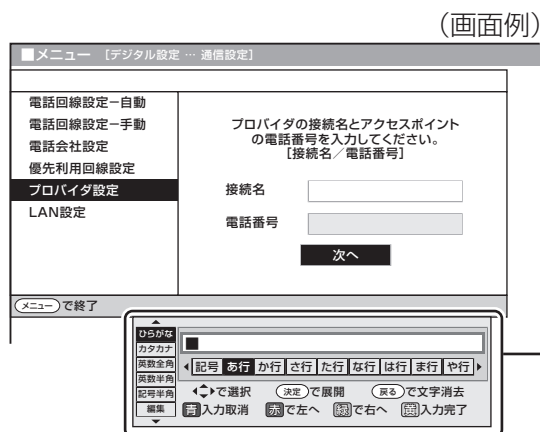
■ LAN設定を行ったあとで、メニュー画面から「デジタル設定」－「通信設定」－「LAN設定」を選び、設定の内容を変更・消去できます。

■ 変更するときは、「変更する」を選んだあと設定をやり直します。

■ 消去するときは、「初期化する」－「する」を選びます。

文字を入力する（ソフトウェアキーボード）

■ プロバイダ設定（**165**ページ）やLAN設定（**167**ページ）を行うときに文字入力の必要な欄で決定ボタンを押すと、画面にソフトウェアキーボード（文字入力画面）が表示されます。このソフトウェアキーボードを使って、各入力欄に必要な文字・数字・記号を入力します。

（画面例）

ソフトウェアキーボード

ソフトウェアキーボードは、入力表示（**117**ページ）を編集するときにも使用します。

ソフトウェアキーボード（文字入力画面）の使いかた

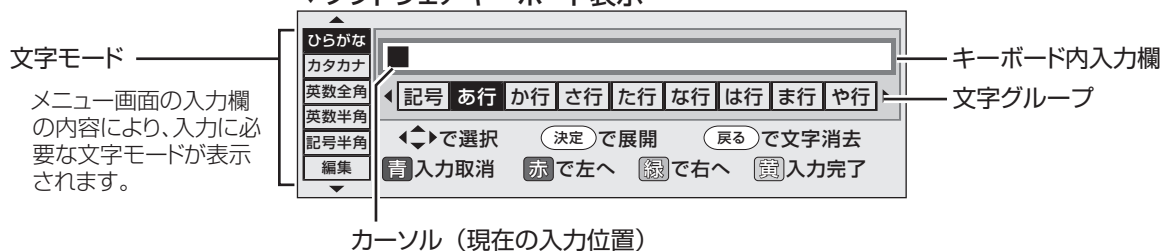
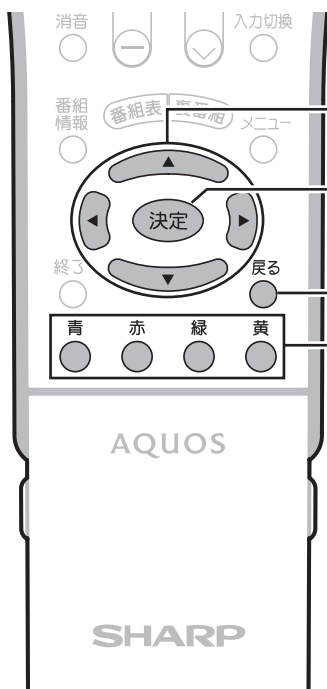
■ ソフトウェアキーボードは、カーソルボタン、決定ボタン、戻るボタン、カラーボタン（青・赤・緑・黄）を使って操作します。

▼ソフトウェアキーボード表示

文字モード

メニュー画面の入力欄の内容により、入力に必要な文字モードが表示されます。

キーボード内入力欄

文字グループ

カーソル（現在の入力位置）

▼リモコン

ソフトウェアキーボード（文字入力画面）操作に使うリモコンボタン

カーソルボタン：入力文字（文字モード・文字グループ）の選択をします。

決定ボタン：選択した文字グループの展開、または選択した文字の入力を確定します。

戻るボタン：キーボード内入力欄の入力位置（カーソル）の文字を1文字消します。

カラーボタン青：入力を取り消します。現在の入力をすべて取り消し、キーボードが消えます。

カラーボタン赤：キーボード内入力欄のカーソルを左へ移動します。

カラーボタン緑：キーボード内入力欄のカーソルを右へ移動します。

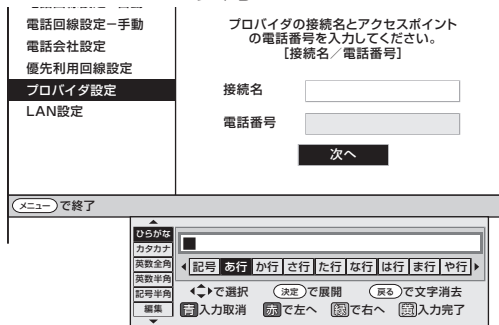
カラーボタン黄：キーボード内入力欄の入力を完了します。キーボードが消えます。

おしらせ

・文字モードの「編集」内の各キーは、カラーボタン、戻るボタンの機能と同じです。

文字を入力する

[例]　プロバイダ設定画面で文字入力をする

1 **プロバイダ設定(165ページ)の入力欄で(決定)を押し、ソフトウェアキーボードを表示する**

2 ① **で、文字モードを選ぶ**

② **で文字グループを選び、(決定)を押す**

• 選んだ文字グループが展開されます。

3 **で入力する文字を選び、(決定)を押す**

• キーボード内入力欄に決定した文字が表示されます。

• 続けて手順**2**〜**3**を行い、文字を入力します。

4 **黄を押し、入力を完了する**

• プロバイダ設定画面の入力欄に、完了した文字列が表示され、ソフトウェアキーボードが消えます。

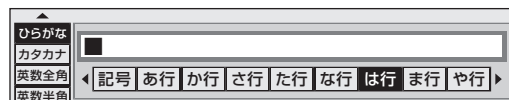
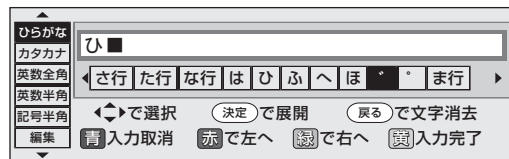
だく点「゛」や半だく点「゜」を付ける

[例]　「び」を入力する

1 ① **で文字モード「ひらがな」を選ぶ**

② **で「は行」を選び、(決定)を押す**

2 **で「ひ」を選び、(決定)を押す**

3 **で「゛」を選び、(決定)を押す**

• 「゜」を選んで決定ボタンを押すと、「ぴ」になります。

スペースを入力する

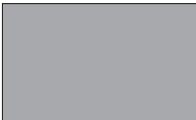
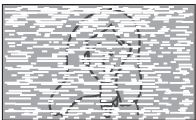
で文字グループから「空白」を選び、(決定)を押す

• 文字モードにより、半角スペースと全角スペースがあります。

• 入力中に文字を消去する場合は、カラーボタン赤(左へ)または緑(右へ)でカーソルを移動し、戻るボタンを押します。
• 入力をやめる場合は、カラーボタン青を押します。入力をすべて取り消し、ソフトウェアキーボードが消えます。

文字を入力する（ソフトウェアキーボード）（つづき）

入力文字の種類

入力文字一覧表

文字モード	文字グループ（展開表示）
ひらがな	記号 あ行 か行 さ行 た行 な行 は行 ま行 や行 ら行 わ行 空白

記号	ー 、。・「 」ー(全角ハイフン)	あ行	あいうえおぁぃぅぇぉ	か行	かきくけこ ゛
さ行	さしすせそ ゛	た行	たちつてとっ ゛	な行	なにぬねの
は行	はひふへほ ゛゜	ま行	まみむめも	や行	やゆよゃゅょ
ら行	らりるれろ	わ行	わをんゎ	空白	（全角スペース）

文字モード	文字グループ（展開表示）
カタカナ	記号 ア行 カ行 サ行 タ行 ナ行 ハ行 マ行 ヤ行 ラ行 ワ行 空白

記号	ー 、。・「 」ー(全角ハイフン)	ア行	アイウエオァィゥェォ	カ行	カキクケコ ゛
サ行	サシスセソ ゛	タ行	タチツテトッ ゛	ナ行	ナニヌネノ
ハ行	ハヒフヘホ ゛゜	マ行	マミムメモ	ヤ行	ヤユヨャュョ
ラ行	ラリルレロ	ワ行	ワヲンヮ	空白	（全角スペース）

文字モード	文字グループ（展開表示）
英数全角	数字 ABC DEF GHI JKL MNO PQRS TUV WXYZ 空白

数字	１２３４５６７８９０	ABC	ＡＢＣａｂｃ	DEF	ＤＥＦｄｅｆ
GHI	ＧＨＩｇｈｉ	JKL	ＪＫＬｊｋｌ	MNO	ＭＮＯｍｎｏ
PQRS	ＰＱＲＳｐｑｒｓ	TUV	ＴＵＶｔｕｖ	WXYZ	ＷＸＹＺｗｘｙｚ
空白	（全角スペース）				

文字モード	文字グループ（展開表示）
英数半角	数字 ABC DEF GHI JKL MNO PQRS TUV WXYZ 空白

数字	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	ABC	A B C a b c	DEF	D E F d e f
GHI	G H I g h i	JKL	J K L j k l	MNO	M N O m n o
PQRS	P Q R S p q r s	TUV	T U V t u v	WXYZ	W X Y Z w x y z
空白	（半角スペース）				

<table>
<tr><th>文字モード</th><th>文字グループ（展開表示）</th></tr>
<tr><td>記号半角</td><td>@ . , : ;_−¥ $%!? &#+* =/|￣ ”’ ^ ` ( ) <> [ ] { } 空白</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>@ . , :</td><td>@ . , :</td><td>;_−¥</td><td>; _ − ¥</td><td>$%!?</td><td>$ % ! ?</td></tr>
<tr><td>&#+*</td><td>& # + *</td><td>=/|￣</td><td>= / | ￣</td><td>”’ ^ `</td><td>” ’ ^ `</td></tr>
<tr><td>( )<></td><td>( ) < ></td><td>[ ]{ }</td><td>[ ] { }</td><td>空白</td><td>（半角スペース）</td></tr>
</table>

文字モード	文字グループ（展開表示）
編集	入力取消 左へ 右へ 入力完了 文字消去

※入力文字ではありません。各キーを選び決定ボタンを押すと、カラーボタン、戻るボタンの操作と同じ働きをします。

情報ページ

ページ

故障かな?と思ったら

■ つぎのような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。
なお、アフターサービスについては**183**ページをご覧ください。

	こんなときに	ここをお確かめください	ページ
全般	映像も音声も出ない	・電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 ・電源が「切」の状態になっていませんか。 ・テレビ(地上アナログ放送、CATV)やデジタル放送を見たいのに、ビデオ入力などに切り換えられていませんか。	33 34 103
	リモコンが動作しない	・乾電池の極性(⊕、⊖)が逆になっていませんか。 ・リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ・リモコンはリモコン受光部に向けてお使いください。	23
	映像は出るが音声が出ない	・音量調整が最小になっていませんか。 ・「消音」状態になっていませんか。 ・ヘッドホン端子にヘッドホンのプラグが差し込まれたままになっていませんか。 ・入力4端子設定が「モニター出力(可変)」に設定されていませんか。「モニター出力(固定)」にしてください。 ・D映像・S映像端子は映像用です。これらを使用するときは、音声端子も接続してください。	22 22 20 114 102
	音声は出るが映像が出ない	・映像オフが「する」になっていませんか。	150
	色がうすい 色あいが悪い	・色の濃さ、色あいは正しく調整されていますか。	149
	特定のチャンネルだけ映らない	・チャンネルの受信微調整がズレていませんか。	52·53
	画面が大きくなったり、小さくなったりする	・オートワイド機能が「する」になっていませんか。設定を「しない」に変更してください。	144
アンテナ	映像が出ず 雑音のみ出る	・アンテナ線が外れたり、ショートしたりしていませんか。 ・アンテナ線は正しく接続されていますか。	30~32
	画像にはん点が出る	・自動車、電車、ネオンなどからの雑音電波を受けていませんか。アンテナをできるだけ道路やネオンなどから離れた場所に立ててください。	17
	映像が二重になる (ゴースト)	・近くに山や大きな建物・樹木がある場合、それらの反射電波の影響も考えられます。 アンテナの向きや高さを変えてみてください。 ・GR設定を行ってみてください。	– 74
	色じま模様が出る	・近所のテレビからの妨害電波を受けていませんか。アンテナの向きや高さを調整すれば、妨害をある程度少なくすることができます。 ・付属のアンテナケーブルを使用していますか。古いケーブルは使わないでください。	– 10·30
	雪が降っているような画面になる	・アンテナ線は正しく接続されていますか。 ・屋外アンテナ線が切れたり、外れたりしていませんか。 ・アンテナの向きが変わったり、アンテナがこわれたりしていませんか。 ・平行フィーダー線の場合、本機から線をできるだけ離してみてください。	30~32 – – 30

	こんなときに	ここをお確かめください	ページ
デジタル放送関係	映像も音声も出ない	・アンテナ電源が「切」になっていませんか。 ・映像、音声のない放送ではありませんか。 ・ビデオ入力などに切り換えられていませんか。 ・B-CASカードは正しく挿入されていますか。	62 – 103 55
	画面に四角のノイズ（モザイク）が出る	・アンテナの向きがズレていませんか。 ・アンテナレベル（信号強度）を確認してください。 ・アンテナの前方に障害物はありませんか。 ・アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。	– 63 – 30～32
	WOWOWやスターチャンネルなどの有料放送が視聴できない	・B-CASカードは正しく挿入されていますか。 ・有料放送を視聴するための契約はしていますか。 ・電話回線の接続や設定は正しくされていますか。	55 38 64·66
	110度CSデジタル放送が受信できない	・アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。 ・ブースターや分配器等をご使用になっている場合は、110度CS帯域（2150MHz）まで対応した機器に交換する必要があります。	32
	地上デジタル放送が受信できない	・お住まいの地域で地上デジタル放送は開始されていますか。 ・地上デジタル放送の受信に必要なUHFアンテナが正しく設置されていますか。 ・アンテナ線は正しく接続されていますか。 ・お住まいの都道府県を地域選択で正しく設定していますか。 ・チャンネル設定は正しくされていますか。	– 39 30·31 56 58
	画面にノイズが出る	・VHF/UHFのアンテナケーブルがBS・110度CSアンテナケーブルと接近していませんか。	–
	特定のチャンネルだけ映らない	・契約していない有料放送ではありませんか。 ・アンテナレベル（信号強度）を確認してください。	38 63
	電子番組表（EPG）が表示されない 電子番組表（EPG）に表示されない番組がある	・地上デジタル放送の場合、視聴していないチャンネルは、電子番組表に情報が表示されません。番組表取得設定を「する」に設定すると、リモコンで電源「切」（待機状態）にしたときに各放送チャンネルの番組表情報を取得します。 ・電源を「入」にした後、最初に番組表を表示するときは、番組表データの受信に時間がかかります。しばらくお待ちください。	84 –
	ビデオコントローラーでの録画予約ができない	・ビデオコントローラーは正しく接続されていますか。 ・ビデオ連動録画設定は正しく設定されていますか。	110 111
	番組の予約をしても受信できない	・契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組などを予約していませんか。	–
その他	i.LINK接続されない	・接続先の機器の電源は入っていますか。 ・i.LINKケーブルが外れていませんか。 ・接続先はD-VHSビデオデッキ・AV-HDDレコーダー・Blu-ray Discレコーダー・HDV方式ハイビジョンビデオカメラですか。本機はD-VHSビデオデッキ・AV-HDDレコーダー・Blu-ray Discレコーダー・HDV方式ハイビジョンビデオカメラのみ接続が可能です。	– 118 118

■ 停電時に設定保持している項目と設定解除される項目

- テレビにおける設定内容（メニュー内設定項目、音量など）は保持されます。
- 番組予約（視聴予約／録画予約）が、予約動作開始時刻を経過しているときは消去されます。
- 停電前が下記の状態のものは解除されます。

・静止　・オフタイマー　・消音（消音ボタンによる）　・デジタル固定　・映像オフ

次ページへつづく

故障かな？と思ったら(つづき)

温度上昇時のお知らせ表示について

表示内容：

・画面の右下に「モニター温度」の文字が点滅表示されます。さらに温度が上昇すると、自動的に電源待機状態になります。

処置のしかた：

・温度が上昇して電源待機状態になったときは、ふだんどおりリモコンなどで電源を入れなおすことができますが、温度が上昇した原因を取り除かないと、またすぐに電源待機状態になります。
・本機の設置状態や場所が、温度が上がりやすい状態にないかご確認ください。本機背面に空いている通風孔がふさがれていると、温度が上がりやすくなります。
・本機の内部や通風孔にホコリがたまっていると、内部の温度が上がりやすくなります。外部から取り除けるホコリはこまめに取り除いてください。内部のホコリの除去については、お買い上げの販売店にご相談ください。

デジタル放送の受信ができなくなったり、リモコンや本体ボタンの操作ができなくなるなど、正常に動作しないときは

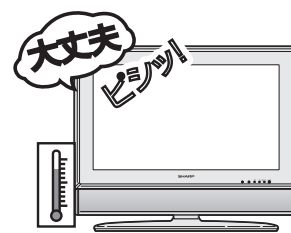
本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。こんなときは本体天面の電源スイッチで電源を「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いて1分間ほど放置した後、再度差し込み、動作を確認してください。

このようなときも故障ではありません

ときどき「ピシッ」と音がする

● 温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。
性能その他に影響はありません。

BS・110度CS共用アンテナへの積雪や豪雨などによる一時的な映像障害

● 衛星放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合にはまったく受信できなくなることがあります。これは気象条件によるもので、アンテナや本機の故障ではありません。
● 春分や秋分の前後20日程度は人工衛星が地球の陰(食)になるため、深夜一時的に電波が止まる場合があります。

本機で使用している特許など

本機は、MPEG2 AACに関する下記番号の特許を使用しています。

特許番号

5,848,391	5,291,557	5,451,954	5,400,433	5,222,189
5,357,594	5,752,225	5,394,473	5,583,962	5,274,740
5,633,981	5,297,236	4,914,701	5,235,671	07/640,550
5,579,430	08/678,666	98/03037	97/02875	97/02874
98/03036	5,227,788	5,285,498	5,481,614	5,592,584
5,781,888	08/039,478	08/211,547	5,703,999	08/557,046
08/894,844	5,299,238	5,299,239	5,299,240	5,197,087
5,490,170	5,264,846	5,268,685	5,375,189	5,581,654
5,548,574	5,717,821			

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。

この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロヴィジョン社の許可が必要です。また、その使用は、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。

デジタル放送の注意文など

■B-CASカードや放送の受信・視聴に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	参照ページ
B-CASカードを正しく装着してください。		B-CASカードを正しく挿入してください。	55
このB-CASカードは使用できません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	B-CASカードを抜き差ししてみてください。それでもエラーが表示される場合は、B-CASカスタマーセンターおよびご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	55
このカードは使用できません。 正しいB-CASカードを装着してください。	****	専用のB-CASカードを挿入してください。	55
このチャンネルは契約されていません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
このB-CASカードには必要な情報が有りません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
放送チャンネルではないため、視聴できません。	**E200**	このチャンネル(番組)は視聴できません。	–
天候の影響やアンテナの接続状況などにより、受信状態が悪くなっています。	**E201**	天気の回復をお待ちください。	–
アンテナ信号レベルが強すぎて、受信状態が悪くなっています。信号レベルを調整してください。	**E201**	アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の挿入が必要です。販売店などにご相談ください。	–
アンテナ信号レベルが強すぎて放送が受信できません。信号レベルを調整してください。	**E202**	アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の挿入が必要です。販売店などにご相談ください。	–
放送が受信できません。アンテナの接続状況や調整をご確認ください。	**E202**	アンテナ線を確認してください。 アンテナの設定が合っているか確かめてください。	30･32 62
現在放送されていません。番組表などで放送時間を確認してください。	**E203**	番組表などで放送時間を確かめてください。	–
○○○チャンネルが見つかりません。 番組表などでチャンネルを確認してください。	**E204**	番組表などでチャンネルを確かめてください。	–
アンテナ線がショートしているか、接続状況や設定に不具合があります。本体の電源を切ってから、アンテナとの接続を確認してください。	**E209**	本体の電源を切り、アンテナとの接続を確認してから電源を入れなおしてください。	30･32
○○○チャンネルのサービスは、この受信機では受信できません。	**E210**	選局されたチャンネルとは別のチャンネルを選局してください。	–
契約期限が切れています。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
このチャンネルは視聴条件により、ご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
受け付け時間を過ぎていますので購入できません。	****	番組の冒頭の限られた時間しか購入できない番組もあります。	–
電話回線を接続の上、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	電話回線の接続を確認のうえ、B-CASカードを抜き差ししてください。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	55･64
データの通信に失敗しました。	**E301**	電話回線の接続を確認して、メニューの「通信設定」を正しく行ってください。	64･66
データが受信できません。	**E400**	現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	–
対象地域外のため、データを表示できません。	**E401**	現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	–
この受信機では、データを表示できません。	**E401**	現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	–
データの表示に失敗しました。	**E402**	現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	–

次ページへつづく

デジタル放送の注意文など（つづき）

■i.LINKに関する注意文

注意文	内容・対処のしかた
現在選択している機器では正常に録画／再生できない可能性があります。	本機が対応していない機器、あるいはDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載していない機器を選択したときに表示されます。
i.LINK機器の接続が不正か、接続異常が発生しています。取扱説明書をお読みのうえ、接続しなおしてください。	i.LINKケーブルによる接続が異常なときに表示されます。**119**ページの「接続に関するご注意」をお読みのうえ、接続しなおしてください。
現在選択している機器は“録画／再生”できない状態です。他の機器から使用中でないか確認してください。	選択している機器が、すでに他の機器から使用されているときに表示されます。本機から使用するためには、他の機器を操作する必要があります。

■双方向通信に関するエラーメッセージ

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	参照ページ
番組で指定されたプロバイダへの接続に失敗しました。[C104]	**C104**	電話回線の接続を確認の上、「電話回線設定」の内容をご確認ください。	64･66
番組で指定されたプロバイダへの接続に失敗しました。[C105]	**C105**	電話回線の接続を確認の上、「電話回線設定」の内容をご確認ください。	64･66
番組で指定された情報センター※1への接続に失敗しました。[C006]	**C006**	電話回線の接続を確認の上、「電話回線設定」の内容をご確認ください。	64･66
アクセスできませんでした。[C204]	**C204**	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
サーバー証明書※2が不正のため、アクセスを中断します。[C208]	**C208**	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
サーバー証明書※2に問題があり、アクセスを中断します。[C209]	**C209**	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
双方向サービスを利用するには、双方向サービス設定で電話回線への接続を「禁止しない」を設定してください。	****	双方向サービス設定の電話回線への接続で「禁止しない」を選択してください。	165
登録してあるプロバイダへの接続に失敗しました。電話回線設定を確認してください。	****	電話回線設定を確認してください。	66･165
まだルート証明書※3を受信していません。セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	****	アクセスしないことをお勧めします。	–
サーバー証明書※2の信頼性が確認できません。セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	****	アクセスしないことをお勧めします。	–
まだ新しいルート証明書※3を受信していません。セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	****	アクセスしないことをお勧めします。	–

※1 情報センター……双方向通信において、お客さまからのデータを受けとるセンター。
※2 サーバー証明書…暗号化通信に使われる暗号鍵。Webサーバーに保存される。有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。
※3 ルート証明書……暗号化通信に使われる復号鍵。放送波で伝送され、受信機に保存される。有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。

リセットボタンについて

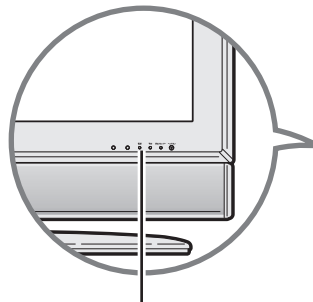
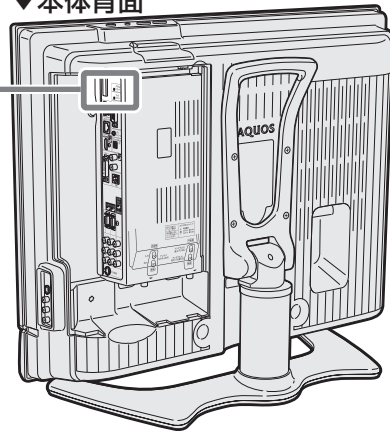
テレビリセットボタン

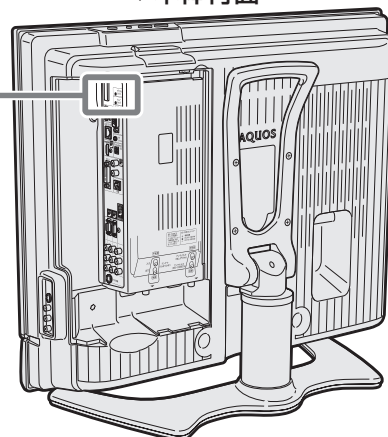
■ 複雑な操作などをしてふだん使っている状態に戻せなくなったりした場合などには、チャンネル設定とメニューのデジタル関連の設定項目以外を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

■ 本機が動作している状態のとき(電源ランプが緑色点灯中)に本体背面のテレビリセットボタンを1秒以上押しつづけてください。画面が数秒間消えた後、地上アナログ放送の1チャンネルになります。

※以下の項目を工場出荷状態に戻すことができます。

･静止画	･映像反転
･番組表／裏番組表	･映像オフ
･位置調整	･入力4端子設定
･音量	･画面サイズ
･音声選択	･デジタル固定

- AVポジションは「ダイナミック(固定)」になります。
- チャンネル設定の内容は変更されません。

デジタルリセットボタン

■ 本機を使用中に、強い外来ノイズ(過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など)を受けた場合や誤った操作をした場合など、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。このようなときは、本体背面のデジタルリセットボタンを押してから操作をやりなおしてください。

おしらせ
- リセット直後はデータ取込みのため、画面表示には多少時間がかかります。
- 壁掛け設置などで、デジタルリセットボタンが押せない場合は、電源コードの抜き差しをしてください。

ダウンロードを行う

■ ダウンロード機能とは、本機内のソフトウェアを書き換えて、機能アップや機能改善等を行うためのもので、その方法には2種類あります。
1つは自動的にダウンロードを行う方法で、もう1つはお客様が必要に応じ、手動でダウンロードを行う方法です。
なお、お買い上げ時は利便性を考えてダウンロードの選択は「自動」に設定されています。

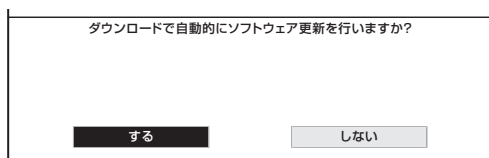
ダウンロードの可能な環境について

- ダウンロードはBSデジタル放送および地上デジタル放送で実施されます。デジタル放送を直接受信できない環境ではダウンロードできません。
  ケーブルテレビのセットトップボックスを利用してデジタル放送を受信している場合もダウンロードできません。

1 メニュー画面から「デジタル設定」ー「ダウンロード設定」を選び、決定を押す

リモコンのボタン

2 で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」……自動ダウンロードでソフトウェアの更新を行います。(工場出荷時の設定)
「しない」…ソフトウェアの自動ダウンロードを行いません。

手動でダウンロードを行うとき

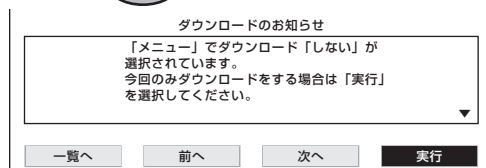
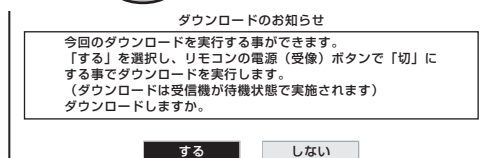
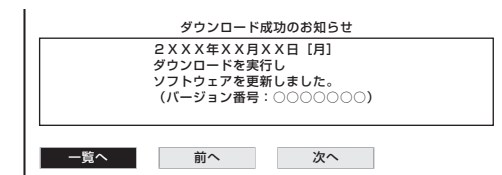
- 自動ダウンロードを「しない」に設定した場合、手動でダウンロードを行うことができます。

① メニュー画面から「お知らせ」ー「受信メッセージ一覧」を選び、決定を押す

② で「ダウンロードのお知らせ」を選び、決定を押す

③ 画面の表示内容を確認してから、で「実行」を選び、決定を押す

④ 画面の表示内容を確認してから、で「する」を選び、決定を押す

ダウンロードのお知らせ
今回のダウンロードを実行する事ができます。
「する」を選択し、リモコンの電源（受像）ボタンで「切」にする事でダウンロードを実行します。
（ダウンロードは受信機が待機状態で実施されます）
ダウンロードしますか。
する　しない

- ダウンロードが成功すると、「お知らせ」の「受信メッセージ一覧」の中に、ダウンロードが成功した旨のメッセージが書き込まれます。
- お知らせを見る場合は、**164**ページ「お知らせを見る」の操作を行ってください。

- ソフトウェアの受信(ダウンロード)には、数分程度の時間がかかります。その間は、デジタルリセットボタンの操作、電源プラグの抜き差しを行わないでください。ダウンロードが失敗する場合があります。
- ダウンロードによって、設定内容が工場出荷時の状態に戻ることがあります。その場合は、設定しなおしてください。
- ダウンロードによって、予約の情報がなくなる場合があります。そのときは、再度、予約設定を行ってください。
- **ダウンロードは、本機の電源が待機状態(電源ランプが赤色点灯)のときに実行されます。リモコンの電源ボタン等で、電源待機状態にしてください。**

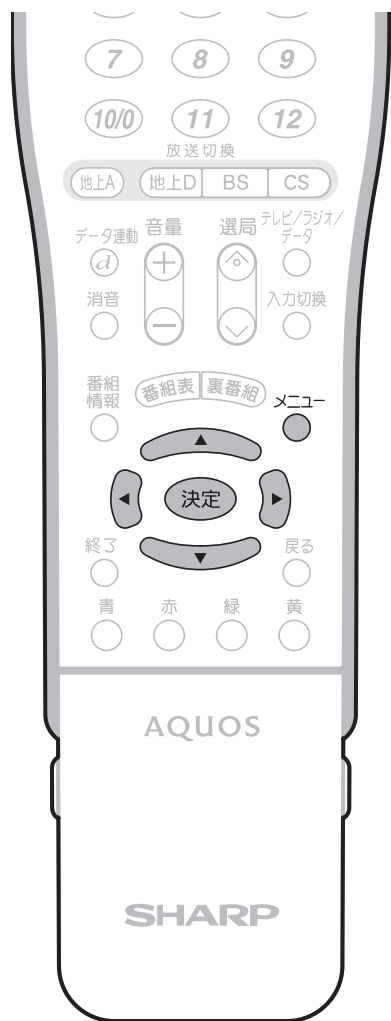
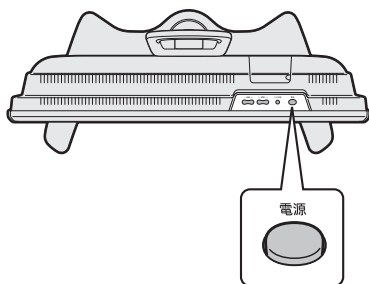
本機を譲渡・廃棄するときは

個人情報の初期化について

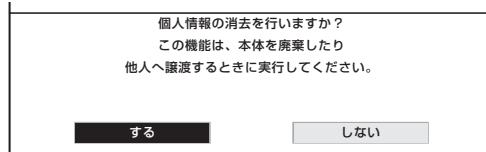
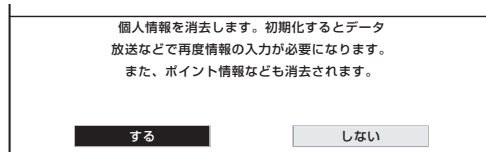
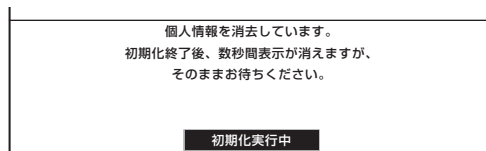
■ 本機には、放送局とデータの送受信を行うために入力した、お客さまの個人情報があります。
本機を他人に譲渡したり、廃棄したりする際には、個人情報の初期化を行い情報を消去してください。

● お客さまが設定した情報内容(チャンネル設定、予約、各調整値、LAN設定、暗証番号など)がすべて初期化されます。

▼本体天面

電源

データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客さまの登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

1 メニュー画面から「本体設定」ー「個人情報初期化」を選び、(決定)を押す

2 (◀▶)で「する」を選び、(決定)を押す

3 (◀▶)で「する」を選び、(決定)を押す

- 表示が「初期化実行中」(点滅)に変わります。
初期化には、しばらく時間がかかります。

- 初期化が終了すると、画面が数秒間消え、メニューが解除されます。

4 本体天面操作部の(電源)を押し、電源を切る

メニュー項目一覧

映像調整※1 ※2
明るさセンサー
切、入、入:表示あり
明るさ
−16〜標準〜+16
映像
0〜+40
黒レベル
−30〜0〜+30
色の濃さ
−30〜0〜+30
色あい ※3
−30〜0〜+30
画質
−10〜0〜+10
プロ設定
リセット
する、しない
色温度
高、高−中、中、中−低、低
黒伸張
する、しない
3次元設定
標準、動画より、静止画より
モノクロ
する、しない
フィルムモード ※4
する、しない
明るさセンサー設定
最大値設定:−16〜0〜+16、最小値設定:−16〜0〜+16
音声調整※1
高音
−15〜0〜+15
低音
−15〜0〜+15
バランス
左30〜中央〜右30
サラウンド
切、入
リセット
する、しない
省エネ設定
無信号オフ
する、しない
無操作オフ
する、しない
本体設定
地域設定 ※5
チャンネル設定 ※5
アンテナ設定 ※5
入力スキップ設定
入力表示選択 ※6 ※7
位置調整
オートワイド ※8
映像反転
クイック起動設定
Language（言語設定）
個人情報初期化
地域選択
地域／都道府県選択画面
郵便番号設定
郵便番号設定画面
地上アナログ
地上デジタル
BSデジタル
CSデジタル
自動
する、しない
追加
する、しない
地域番号
する、しない
個別
する、しない
自動
する、しない
追加
する、しない
個別
電源･受信強度表示
電源連動、入、切
周波数設定
周波数設定画面
信号テスト−地上D
地上D信号テスト画面
信号テスト−BS
BS衛星信号テスト画面
信号テスト−CS
CS衛星信号テスト画面
入力5（HDMI）
する、しない
入力6（DVI）
する、しない
入力1、入力2、入力3、入力4、ビデオ1、ビデオ2、ビデオ3、ビデオ4、ビデオ、
コンポーネント1、コンポーネント2、コンポーネント、D端子1、D端子2、D端子、CATV、CS、
DVD、ゲーム、ムービー、D-VHS、HDD、DVR、BD、ユーザー設定
水平位置
−10〜0〜+10
垂直位置
−20〜0〜+20
リセット
映像判別
する、しない
S2対応 ※9
する、しない
D端子識別 ※10
する、しない
しない、左右反転、上下反転、上下左右
しない、する（常に有効）、する（2時間のみ有効）
日本語、English
する、しない
機能切換
映像オフ
する、しない
DNR ※11
しない、強、弱
入力選択 ※7
自動、D端子、S端子、ビデオ映像
入力4端子設定
録画出力、モニター出力（固定）、モニター出力（可変）、入力
QS駆動
する、しない
デジタル固定 ※5
する、しない
字幕表示設定 ※5
する、しない
番組名表示設定 ※5
する、しない

デジタル設定

- デジタル音声設定 ※5 → PCM、AAC
- ダウンロード設定 ※5 → する、しない
- 番組表設定 ※5
  - 番組表取得設定 → する、しない
  - 表示範囲設定 → 拡大、広角
  - ジャンルアイコン設定 → 標準、薄く、注目
- 通信設定 ※5
  - 電話回線設定−自動
  - 電話回線設定−手動
    - 電話回線種別 → 20pps、10pps、トーン
    - 外線発信番号 → なし、あり
    - ダイヤルトーン検出 → する、しない
  - 電話会社設定
    - 発信者番号通知 → 設定しない、186、184
    - 事業者番号
    - 解除番号設定 → する、しない
  - 優先利用回線設定 → 電話回線、LAN接続
  - プロバイダ設定
    - 接続名(ISP名)
    - 電話番号（アクセスポイント）
    - ユーザー名
    - パスワード
    - DNS(自動設定、プライマリ、セカンダリ)
    - ヘッダ圧縮、ソフトウェア圧縮
    - 無通信切断タイマー
  - LAN設定
    - IPアドレス設定
    - DNSアドレス設定
    - プロキシサーバー設定
    - 詳細設定
- ビデオ連動録画設定 ※5 → ビデオ連動録画設定画面
- i.LINK設定
  - i.LINK自動切換 → する、しない
  - 録画モード設定 → する、しない
  - 電源待機設定 → する、しない
- 暗証番号設定 ※5 → 暗証番号設定画面
- 視聴年齢制限設定 ※5 → 無制限、XX歳以下
- PPV設定 ※5
  - PPV 制限 → する、しない
  - 購入金額制限 → 無制限、XXX00円以上
- 双方向サービス設定 ※5 → 電話回線を禁止する、電話回線とLAN接続を禁止する、禁止しない
- システム動作テスト ※5 → システム動作テスト画面

お知らせ

- 受信メッセージ一覧 → 受信メッセージ一覧画面
- ボード → ボード画面
- 受信機レポート → 受信機レポート画面
- B-CASカード番号表示 → B-CASカード番号表示画面
- PPV購入履歴 → PPV購入履歴表示画面

※1 AVポジションごとに設定できます。また、AVポジションごとに工場出荷時の設定が異なります。
※2 AVポジションが「ダイナミック(固定)」になっているときは設定できません。
※3 「プロ設定」の「モノクロ」が「する」に設定されているときは選択できません。
※4 PC入力時およびプログレッシブ信号入力時には選択できません。
※5 テレビ視聴時のみ表示されます。
※6 入力1〜6選択時のみ表示され、それぞれで設定できます。
※7 現在選択されている入力により、表示項目が異なります。
※8 デジタル放送視聴時には選択できません。
※9 入力3･4選択時のみ表示されます。
※10 入力1･2選択時のみ表示されます。
※11 各入力系統で設定できます。

- 条件によりメニュー項目に⃠マークがつき、灰色で表示される場合がありますが、その項目は選択することができません。

次ページへつづく

入力5または入力6選択時のメニュー項目一覧

映像調整※1 ※2

- 明るさセンサー：切、入、入:表示あり
- 明るさ：−16～標準～+16
- 映像：0～+40
- 黒レベル：−30～0～+30
- 色の濃さ：−30～0～+30
- 色あい ※3：−30～0～+30
- 画質：−10～0～+10
- プロ設定
  - 色温度：高、高−中、中、中−低、低
  - 黒伸張：する、しない
  - モノクロ：する、しない
  - フィルムモード ※4：する、しない
  - 明るさセンサー設定：最大値設定:−16～0～+16、最小値設定:−16～0～+16
- リセット：する、しない

音声調整※1

- 高音：−15～0～+15
- 低音：−15～0～+15
- バランス：左30～中央～右30
- サラウンド：切、入
- リセット：する、しない

省エネ設定

- 無信号オフ ※5：する、しない
- パワーマネージメント ※6：しない、モード1、モード2
- 無操作オフ：する、しない

本体設定

- 入力スキップ設定
  - 入力5(HDMI)：する、しない
  - 入力6(DVI)：する、しない
- 入力解像度 ※6：※7 1024×768、1280×768、1360×768
- 自動同期調整 ※6：する、しない
- 入力表示選択：(自動)入力5、入力5、入力6、ビデオ5、ビデオ6、ビデオ、HDMI、DVI-I、DVD、DVR、HDD、BD、PC、ユーザー設定
- 位置調整 ※5
  - 水平位置：−10～0～+10
  - 垂直位置：−20～0～+20
  - リセット
- 画面調整 ※6
  - 水平位置：0～180
  - 垂直位置：0～100
  - クロック周波数 ※8：0～180
  - クロック位相 ※8：0～40
  - リセット
- オートワイド ※5
  - 映像判別：する、しない
  - HDMI 識別：する、しない
- 映像反転：しない、左右反転、上下反転、上下左右
- クイック起動設定：しない、する(常に有効)、する(2時間のみ有効)
- Language（言語設定）：日本語、English
- 個人情報初期化：する、しない

機能切換

- 映像オフ：する、しない
- DNR：しない、強、弱
- HDMI 動作切換 ※5
  - 信号種類：RGB、YCbCr 4:4:4、YCbCr 4:2:2
- 入力選択 ※6：自動、デジタル、アナログ
- 入力4端子設定：録画出力、モニター出力(固定)、モニター出力(可変)、入力
- QS駆動：する、しない

デジタル設定

- i.LINK設定
  - i.LINK自動切換：する、しない

お知らせ

- 受信メッセージ一覧 → 受信メッセージ一覧画面
- ボード → ボード画面
- 受信機レポート → 受信機レポート画面
- B-CASカード番号表示 → B-CASカード番号表示画面
- PPV購入履歴 → PPV購入履歴表示画面

※1 AVポジションごとに設定できます。また、AVポジションごとに工場出荷時の設定が異なります。
※2 AVポジションが「ダイナミック(固定)」になっているときは選択できません。
※3 「プロ設定」の「モノクロ」が「する」に設定されているときは選択できません。
※4 PC入力時およびプログレッシブ信号入力時には選択できません。
※5 入力5選択時のみ表示されます。
※6 入力6選択時のみ表示されます。
※7 入力信号の種類により、表示項目が異なります。
※8 PCをアナログ接続しているときのみ表示されます。

- 条件によりメニュー項目に⃠マークがつき、灰色で表示される場合がありますが、その項目は選択することができません。

保証とアフターサービス よくお読みください

保証書（別添）

■ 保証書は、「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

■ **保証期間**
お買いあげの日から1年間です。
保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
※本機を分解すると、保証が無効になります。

ご不明な点や修理に関するご相談は

■ 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間

■ 当社は、液晶カラーテレビの補修用性能部品を、製品の製造打切後、8年保有しています。
■ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは　出張修理

■「故障かな？と思ったら」（**172**ページ）を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- 品　　　名：液晶カラーテレビ
- 形　　　名：LC-26GH1／LC-26GH2
- お買いあげ日（年月日）
- 故 障 の 状 況（できるだけくわしく）
- ご　　住　　所（付近の目印も合わせてお知らせください）
- お　　名　　前
- 電　話　番　号
- ご訪問希望日

便利メモ

お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電話（　　）　　—

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

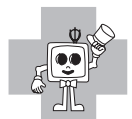
修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

愛情点検

●長年ご使用のテレビの点検をぜひ！（熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。）

故障や事故防止のため、スイッチを切りコンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

- 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は .... **修理相談センター** へ
- 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は .... **お客様相談センター** へ

修理相談センター

● 修理相談センター（沖縄・奄美地区を除く）

■受付時間　＊月曜～土曜：午前 9 時～午後 6 時　＊日曜・祝日：午前 10 時～午後 5 時　（年末年始を除く）

0570 - 02 - 4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
（注）PHS・IP 電話からは、下記電話におかけください。

		<東日本地区>	<西日本地区>
○ PHS・IP 電話でのご利用は....................	（一般電話）	043 - 299 - 3863	06 - 6792 - 5511
○ FAX を送信される場合は.........................	（ＦＡＸ）	043 - 299 - 3865	06 - 6792 - 3221

○ 沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ **持込修理および部品購入のご相談** は、上記「修理相談センター」のほか、
下記地区別窓口にても承っております。

■受付時間　＊月曜～土曜：午前 9 時～午後 5 時 30 分（祝日など弊社休日を除く）
〔但し、沖縄・奄美地区〕は……＊月曜～金曜：午前 9 時～午後 5 時 30 分（祝日など弊社休日を除く）

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒 1 条 7 丁目 3-17
東北地区	仙台サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東 3-1-27
関東地区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒331-0812	さいたま市北区宮原町 2-107-2
	宇都宮サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前 4-2-41
	東京テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	北区東田端 2-13-17
	多摩サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台 5-5-4
	千葉サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台 295-1
	横浜テクニカルセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原 1-2-23
東海地区	静岡サービスセンター	0543-44-5781	〒424-0067	静岡市清水区鳥坂 1170-1
	名古屋サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王 3-5-5
北陸地区	金沢サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚 4-103
近畿地区	京都サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町 48
	大阪テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南 3-7-19
	阪神サービスセンター	06-6422-0455	〒661-0981	尼崎市猪名寺 3-2-10
中国地区	広島サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原 2-13-4
四国地区	高松サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町 6-2-8
九州地区	福岡サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田 2-12-1
沖縄・奄美地区	那覇サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙 2-10-1

お客様相談センター

0120 - 078 - 178

○ フリーダイヤルがご利用いただけない場合は…

	TEL	FAX	住所
東日本相談室	TEL 043 - 351 - 1821	FAX 043 - 299 - 8280	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬 1-9-2
西日本相談室	TEL 06 - 6792 - 1582	FAX 06 - 6792 - 5993	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町 3-1-72

■受付時間　＊月曜～土曜：午前 9 時～午後 6 時　＊日曜・祝日：午前 10 時～午後 5 時　（年末年始を除く）

- FAX 送信される場合は、お客様へのスムーズな対応のため、形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。
- 所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。（06.04）

おもな仕様

品名		液晶カラーテレビ	
形名		LC-26GH1	LC-26GH2
液晶パネル	画面サイズ	26V型 (横565mm×縦318mm／対角648mm)	
	駆動方式	TFT(薄膜トランジスタ)アクティブマトリクス駆動方式	
	画素数	1,366(水平)×768(垂直)画素	
アンテナ入力		VHF/UHF 75Ω不平衡型、BS-IF 75Ω不平衡型、地上デジタル75Ω不平衡型	
スピーカー		6.5cm 丸形 4個	
音声実用最大出力(JEITA)		総合20W (10W+10W)	
使用電源		AC100V･50/60Hz	
消費電力		143W (待機時電力:0.08W、クイック起動「する」時電力:34W)	
年間消費電力		• 区分名:BEE　• 受信機型サイズ:26V • 年間消費電力量:122kWh／年[標準時※1]	
接続端子		ビデオ入力4系統4端子(入力4はモニター出力／録画出力兼用)、 S2映像入力2系統2端子、D4映像入力2系統2端子、HDMI端子、 モニター出力1系統1端子(入力4／録画出力兼用･S2映像付き)、DVI-I端子(音声入力端子付き)、 デジタル音声出力(光)1系統1端子、アンテナ(VHF･UHF)入力･出力端子、 ヘッドホン接続端子、AC入力端子、コントロール(RS-232C)端子 i.LINK(TS)2端子、録画出力1系統1端子(入力4／モニター出力兼用･S2映像付き)、 電話回線端子、LAN端子(10BASE-T/100BASE-TX)、ビデオコントロール端子、 アンテナ入力(BS･110度CS)端子、アンテナ入力(地上デジタル)端子	
受信チャンネル		地上アナログVHF1～12ch･UHF13～62ch、CATV13～63ch、 BSデジタル000～999ch、110度CSデジタル000～999ch、 地上デジタル000～999ch (CATVパススルー対応)	
BS･110度CS チャンネル受信仕様	変調	時分割多重mPSK	
	トランスポート	MPEG2 システム	
	映像	MPEG2 (MP@HL)	
	音声	MPEG2 AAC	
	限定受信システム	ARIB CASシステム	
	受信周波数帯域	11.71GHz～12.75GHz	
	IRD受信周波数帯域	1032MHz～2071MHz	
地上デジタル チャンネル受信仕様	変調	直交周波数分割多重(OFDM)	
	トランスポート	MPEG2 システム	
	映像	MPEG2 (MP@HL)	
	音声	MPEG2 AAC	
	限定受信システム	ARIB CASシステム	
	受信周波数帯域	93MHz～767MHz	
	CATVパススルー対応	UHF帯、ミッドバンド(MID)帯、スーパーハイバンド(SHB)帯、VHF帯	
キャビネット		プラスチック	
外形寸法	ディスプレイ部のみ	幅682×奥行126×高さ514(mm)	幅832×奥行126×高さ435(mm)
	スタンド装着時	幅682×奥行267×高さ565(mm)	幅832×奥行267×高さ506(mm)
本体質量	ディスプレイ部のみ	約14.5kg	約14.5kg
	スタンド装着時	約17kg	約17kg
使用温度		0℃～40℃	

■ 製品改良のため仕様の一部を予告なく変更することがあります。

■ 液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素があります。0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが故障ではありません。

■ JIS C 61000-3-2適合品
JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部:限度値－高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計･製造した部品です。

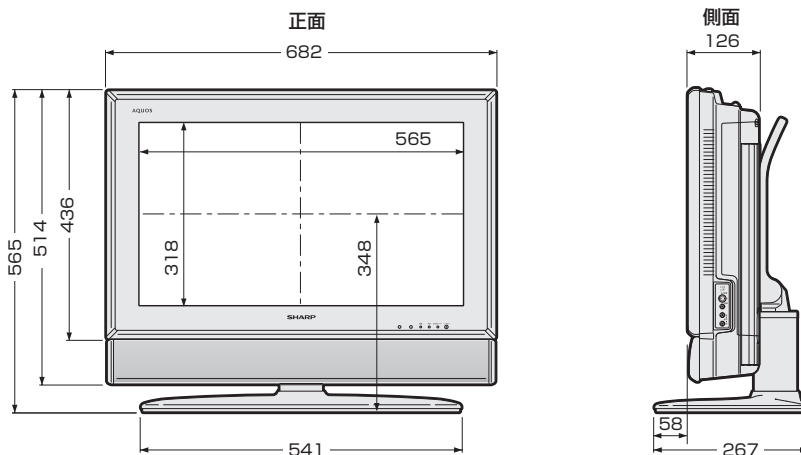
■ 年間消費電力量とは: 省エネ法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間(4.5時間)を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。

■ 年間消費電力量の区分名とは、「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」では、テレビに使用される表示素子、アスペクト比、画素数、受信可能な放送形態及び付加機能の有無等に基づいた区分を行なっている。その区分名称を言う。

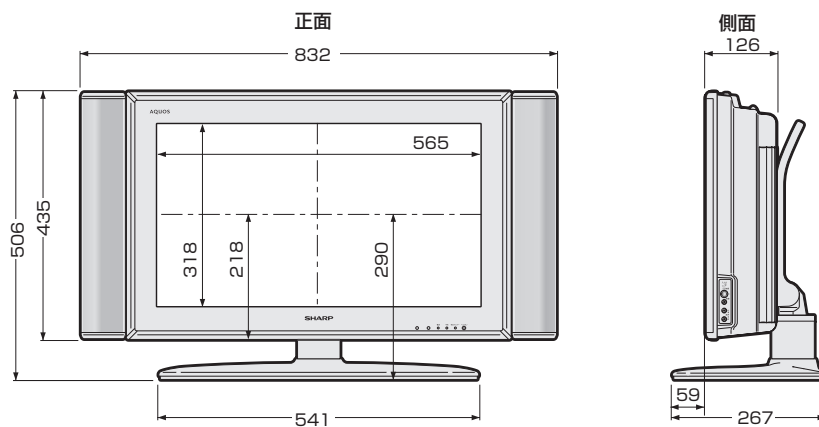
※1:一般的にご家庭で使用する際のメーカー推奨の映像モード。(本機では、AVポジション「標準」の場合です。)

寸法図

LC-26GH1

(単位：mm)

本体質量約14.5kg

LC-26GH2

本体質量約14.5kg

別売品について

■ 液晶カラーテレビ専用の別売品をとりそろえております。お近くの販売店でお買い求めください。

（2006年7月現在）

No.	品　名	機種名
1	壁掛け金具	AN-110AG1
2	アンテナ整合器	AN-300RF
3	アンテナ延長ケーブル	AN-C10RF

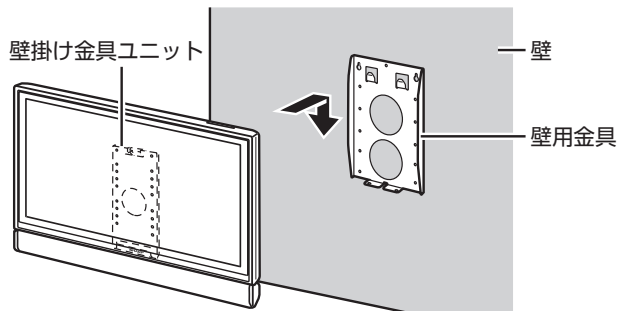
No.	品　名	機種名
4	AVワイヤレス伝送システム	AN-AV400
5	フロアースタンド	AN-26FS4

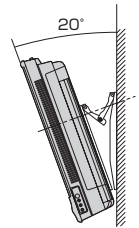
・本機に適合する別売品が、新しく追加発売になることがありますので、ご購入の際には、最新のカタログで適合性や在庫の有無をご確認ください。

壁掛け設置のしかた

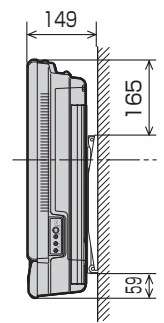
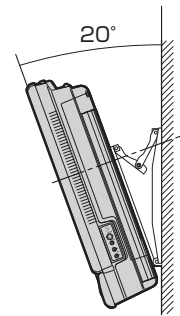
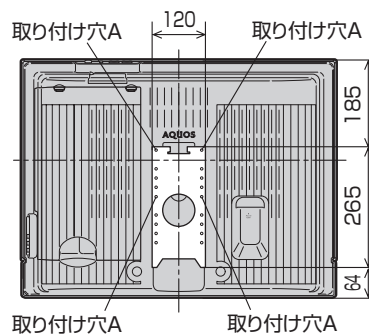
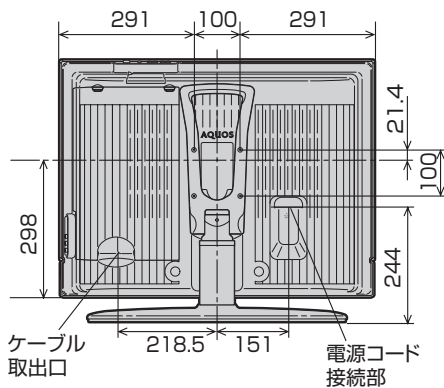
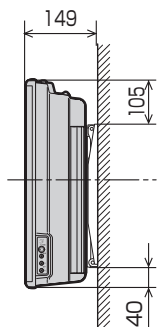
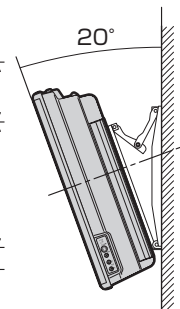
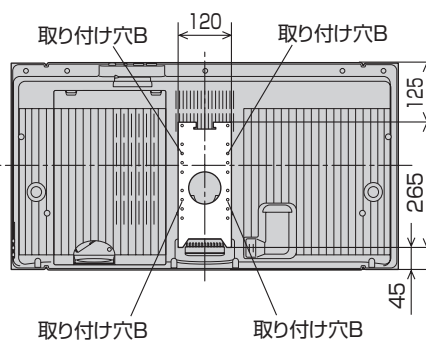
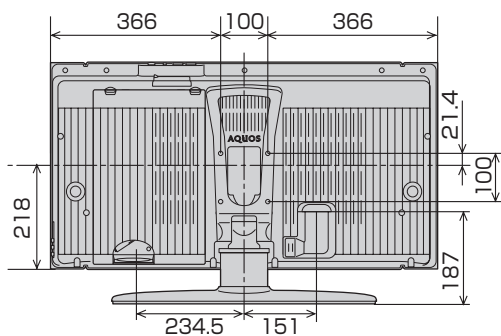
■ 本機を別売の壁掛け金具（AN-110AG1）を使って壁掛け設置して使用することができます。その場合は、必ず付属のスタンドを外してください。スタンドの外しかたは**27**ページをご覧ください。
■ 取付け方法など詳しくは、別売品に付属の取扱説明書をご覧ください。

- **液晶カラーテレビの設置には、特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付け工事業者にご依頼ください。お客さまご自身による工事は一切行わないでください。**
  取付け不備、取扱い不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。

〈壁掛け金具（AN-110AG1）〉
（詳しくは壁掛け金具の取扱説明書をご覧ください。）

※ 本機に取り付ける金具について：
LC-26GH1：金具の刻印「A」の位置を本体背面の取付け穴に合わせてください。
LC-26GH2：金具の刻印「B」の位置を本体背面の取付け穴に合わせてください。
取付けビスは、必ず壁掛け金具（AN-110AG1）に同梱のテレビ取付用ビス（M4、長さ10mm）をご使用ください。

取付け時の角度について
- 壁に掛けて使う場合の取付け角度は、20度までです。それ以上は傾けないでください。
- 取付け角度調整をするときは、本体をゆっくりと傾けてください。

壁掛け金具取り付け時の寸法

（単 位:mm）

LC-26GH1
本体質量約17kg

LC-26GH2
本体質量約17kg

用語の解説（よく使われるテレビ用語です）

■ 110度CSデジタル放送
BSデジタル放送の放送衛星（BS）と同じ東経110度に打ち上げられた通信衛星（CS）を利用した新しいデジタル放送です。細かいジャンルに特化した多数の専門チャンネルの中から見たいチャンネルを購入して視聴する仕組みになっています。一部、無料放送もあります。

■ 1125i
走査線1125本、インターレース方式。デジタルハイビジョンの高画質です。

■ 16:9
デジタルハイビジョン放送の画面縦横比です。従来の4：3映像に比べ、視界の広い臨場感のある映像が楽しめます。

■ 525i
走査線525本、インターレース方式。地上アナログ放送（VHF/UHF）やBSアナログ放送と同等の画質です。

■ 525p
走査線525本、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンに近い画質です。

■ 750p
走査線750本、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンの高画質です。

■ AAC（Advanced Audio Coding）
デジタル放送の信号は大容量のため、圧縮技術が必要ですが、AACは、デジタル音声圧縮方式の1つです。少し未来のデータを予測し圧縮効率を上げる技術を採用しており、高音質であるのにかかわらず、高圧縮、マルチチャンネル化が可能です。

■ B-CASカード（ビーキャスカード）
各ユーザー独自の番号などが記載されている、BS／110度CS／地上デジタル放送視聴用ICカードのことです。
ユーザー登録し、B-CASカードを受信機に挿入すると、双方向サービスの利用が可能となり、放送局からのメッセージを受信できるようになります。また、有料放送の視聴を希望される場合やNHKとの受信確認、そして、今後予定されている各種双方向サービスを希望される場合などにも登録済みカードが必要になります。（B-CASカードを挿入しないと、すべてのデジタル放送が映りません。）

■ BSデジタル放送
2000年12月から本格サービスが開始された新しい衛星放送で、従来のBS（アナログ）放送に比べ、より高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。さらに、BSデジタル放送では、高品位のデジタル音声放送（BSラジオ）、ニュース・スポーツ・番組案内などの情報提供、オンラインショッピングやクイズ番組への参加が可能なデータ放送など、多彩なサービスを行います。

■ CATV（ケーブルテレビ）
ケーブル（有線）テレビ放送のことです。放送サービスが実施されている地域で、ケーブルテレビ局と契約することによって、放送を受信できます。それぞれの地域に密着した情報を発信しているのが特徴です。最近では多数のチャンネルや自主放送を行う都市型のケーブルテレビ局も増えています。

■ D端子
高画質映像信号用コネクタの通称です。従来、輝度信号（Y）と色差信号（C_B/P_B、C_R/P_R）を3本のケーブルで接続（コンポーネント接続）していたのを1本のケーブルで接続できるようにしたのがD端子ケーブルです。輝度・色差信号のほかにも、映像フォーマットを識別する制御信号を送ることができます。走査線数と走査方式によってD1～D5の規格があり（本機はD4に対応）、数字が大きいほど、より高画質な映像に対応できます。

■ EPG（Electronic Program Guide）
デジタル放送で送られてくる番組情報のデータを使って画面で見られるようにした電子番組表のことです。

■ HDMI（High Definition Multimedia Interface）
ハイビジョン映像信号、マルチチャンネルオーディオ信号、双方向伝送対応のコントロール信号を1本のケーブルで接続できるAVインターフェースです。

■ i.LINK（アイリンク）
i.LINK端子を持つ機器間でデジタル映像やデジタル音声などマルチメディア系のデータの双方向通信を行ったり、接続した機器を操作したりできるシリアル転送方式のインターフェースです。接続はi.LINKケーブル1本で行うことができます。i.LINKはIEEE1394の呼称で、IEEE（米国電子電気技術者協会）によって標準化された国際規格です。現在、100Mbps、200Mbps、400Mbpsの転送速度があり、それぞれS100、S200、S400と表示されます。

■ MPEG(Moving Picture Experts Group)
デジタル放送の信号は大容量のため、圧縮技術が必要ですが、MPEGは、デジタル動画圧縮技術の符号化方式の1つです。一般に「エムペグ」と読みます。MPEG2は、「動き補償」「予測符号化」などの技術を使って画像データを圧縮するもので、圧縮レートは画像の内容により可変ですが、だいたい40分の1に圧縮することができます。

■ NTSC(National Television System Committee)
日本でも採用している現行のカラーテレビ放送方式の標準規格のことです。現在、日本、アメリカのほか、韓国、カナダ、メキシコなどで採用しています。この規格は、毎秒30フレーム(フィールド周波数60Hz)、走査線数525本のインターレース方式です。

■ PCM(Pulse Code Modulation)
アナログの音声信号をデジタル信号に変換する方式の1つ。音楽CDは、この方式を利用しています。

■ PPV(Pay Per View)
「ペイパービュー」と読みます。番組単位で購入契約が必要な有料番組のことです。

■ S1/S2映像
セパレート(S)映像信号に、画面比率4:3で上下に黒帯のあるワイド映像(レターボックス)や、もと16:9の映像を横方向に圧縮して4:3にした映像(スクイーズ)を自動判別する信号を加えた映像信号のことです。映画サイズの番組やビデオソフトを見るときは、自動的にレターボックスは「シネマ」に、スクイーズは「フル」になります。

■ インターレース(飛び越し走査)
NTSC方式のテレビやビデオの画像表示では、525本の走査線のうち、まず奇数番めの走査線(262.5本)を1/60秒で描きます(この1画面を1フィールドといいます)。つぎに偶数番めの走査線(262.5本)を1/60秒で描きます。これで、合わせて走査線525本の1枚の完全な画像(フレーム)をつくっていく方式です。「525i」「1125i」の「i」はインターレース(interlaced)を表します。

■ 液晶パネル
液晶を封入したパネルの電極間に電気を流すと、映像として見えるように開発された表示素子です。環境に配慮した低消費電力で動作する利点があります。

■ お知らせ
BS/110度CS/地上デジタル放送局から視聴者へメッセージを送るサービスです。

■ コンポーネント接続
映像信号を輝度信号(Y)と色差信号(CB/PB、CR/PR)の3つのコンポーネント(構成部分)に分離して伝送する接続方法です。コンポーネント映像端子は3つの端子に分かれているので、接続には3つのプラグに分かれた専用コード(コンポーネントケーブル)を用います。通常の映像端子による接続に比べ、色のキレが良く、チラツキのない画質が得られます。

■ コンポジット接続
通常の映像端子(ビデオ端子)を使って映像信号を伝送する接続方法です。映像端子は1つのみで、ふつう黄色で表示されており、形状は音声端子と同じです。コンポジット接続による映像･音声端子の接続では、黄･白･赤の3色に分かれたAVケーブルを使うのが一般的です。

■ 地上デジタル放送
2003年12月から東京･大阪･名古屋の3大都市圏の一部地域で開始され、その他の地域では2006年末までに開始が予定されている新しい放送です。ゴーストのない高品質映像、デジタルハイビジョン放送、データ放送や双方向サービス、多チャンネルといった、これまでの地上アナログ放送にはなかった特長をもっています。

■ ハイビジョン放送
デジタルハイビジョンの高画質放送のことです。従来の地上アナログテレビ放送が525本の走査線で表示しているのに対し、デジタルハイビジョン放送は750本や1125本の走査線を使用しているため、より緻密で高画質な映像を楽しめます。BSデジタル放送では、番組によって「デジタルハイビジョン映像」と「デジタル標準映像」という異なる画質で放送されています。

■ プログレッシブ(順次走査)
飛び越し走査(「インターレース」の項を参照)をしないで、すべての走査線を順番どおりに描く方法です。525pの場合、525本の走査線を順番どおりに描きます。インターレース方式に比べ、チラツキのないことが特徴で、文字や静止画を表示するときなどに適しています。「525p」「750p」の「p」はプログレッシブ(progressive)を表します。

■ プロバイダー
一般にはインターネットサービスプロバイダー(ISP)のことをいいます。インターネットのBMLコンテンツ(デジタル放送で使用されるデータ放送言語)を使った双方向サービスが楽しめます。

索引

エコロジークラスでいきましょう。シャープ。

液晶カラーテレビ LC-26GH1 LC-26GH2

この製品は、こんなところがエコロジークラス。

省エネ 「明るさセンサー」を活用

周囲の明るさに応じて液晶画面の明るさを自動的に調整する「明るさセンサー」機能がついています。この機能を「入」にすると周囲が暗いときには、自動的に画面を暗くするので、省エネになります。

上手に使って、もっともっとエコロジークラス。

◎外出やおやすみのときは本体の電源を切って

リモコンで液晶テレビの電源を切っても、少量の電力を消費しています。こまめに本体の電源を切ることにより、更に効果的な省エネになります。

※ただし、録画予約、衛星ダウンロードを行う場合は、リモコンで電源を切って下さい。

● 製品についてのお問合せは…

お客様相談センター	フリーダイヤルがご利用いただけない場合は		
0120 - 078 - 178	東日本相談室	TEL 043 - 351 - 1821	FAX 043 - 299 - 8280
	西日本相談室	TEL 06 - 6792 - 1582	FAX 06 - 6792 - 5993

≪受付時間≫ 月曜～土曜：午前9時～午後6時　日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

● 修理のご相談は… 184ページ記載の『お客様ご相談窓口のご案内』をご参照ください。

● シャープホームページ http://www.sharp.co.jp/

シャープ株式会社

本　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
AVシステム事業本部　〒329-2193　栃木県矢板市早川町174番地

★この印刷物は環境に配慮した植物性大豆油インキを使用しています。
★この取扱説明書は再生紙を使用しています。（古紙配合率 100%）

TINS-C624WJZZ
06P07-JA-MK Ⓐ